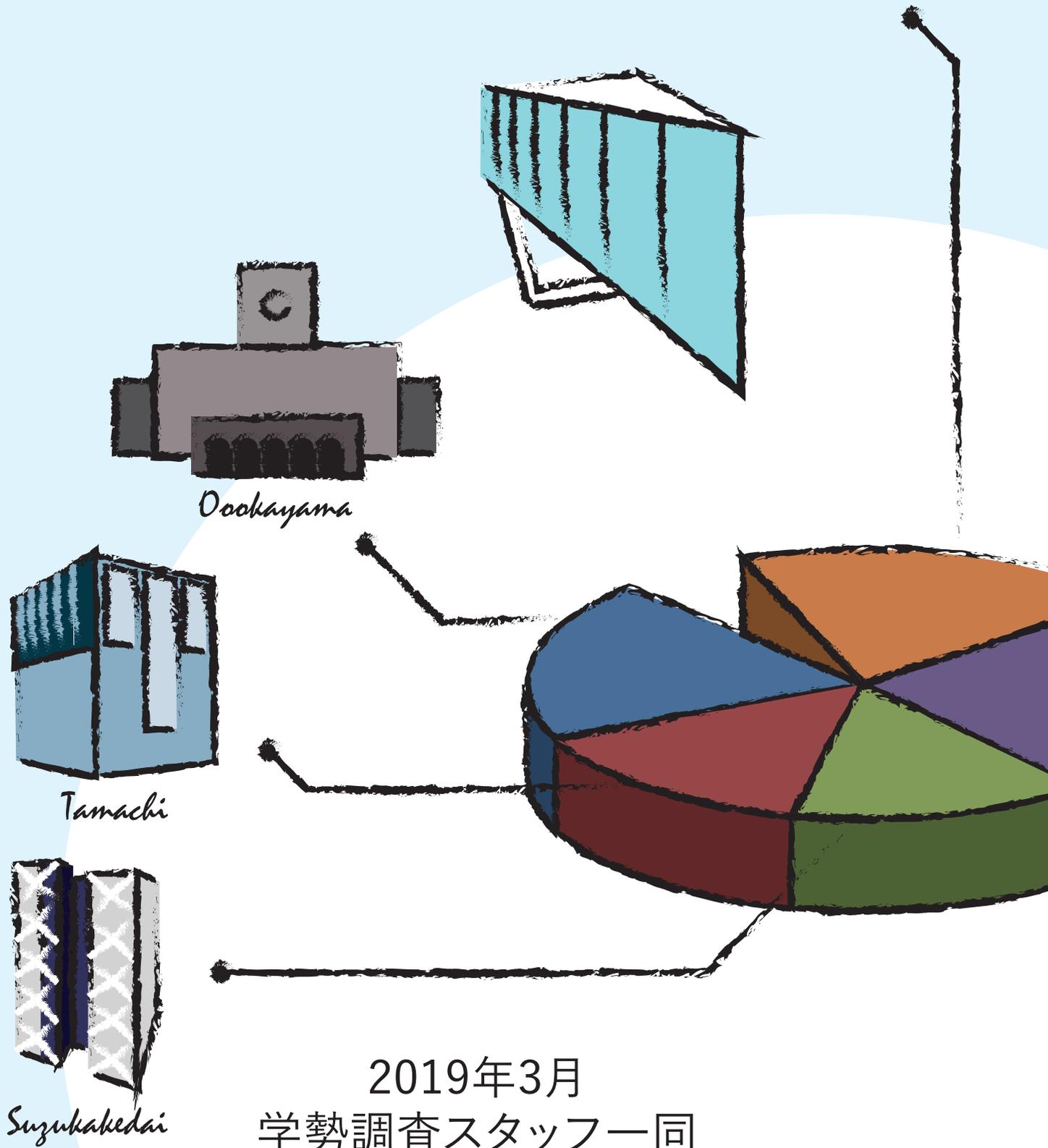


学勢調査2018提言書



学勢調査 2018 提言書

2019 年 3 月

東京工業大学
学勢調査 2018 スタッフ一同



代表からの挨拶

私は学勢調査 2016 に続き、今回の学勢調査 2018 でも代表を勤めることになりました。学勢調査 2016 は教育改革の揺籃期に行われ、多くの混乱の声が寄せられました。学勢調査 2018 が行われた時期は教育改革開始から 2 年が経ち、学生も大学のシステムに慣れてきた頃でした。回答には学生の非常に高い順応能力や教職員の並々ならぬ努力が伺えると同時に、その中で寄せられた批判の声というのは精練されたものが多く、我々に様々な困難な課題を鮮烈に突きつけるものでした。実効的なソリューションを提案するという性質上、提言書には学生の声の全てが現れているわけではありませんが、我々はキャンパスミーティングという大学の部局と直接コミュニケーションを取れる場などを通して可能な限り学生の声伝える努力をしています。これに加え、背景に教育改革の存在がある提言も多く行っています。学勢調査 2018 の活動が種々の課題を解決する助けとなれば幸いです。

また今回の学勢調査 2018 には世の中の動向を意識した提言が多く盛り込まれています。日本や世界全体の動向は目眩く変わっており、日本や世界全体の動向が大学のシステムを変えるということが少なくありません。その中で大学の対応が後手に回れば、大学はその対応を問われたり、学生に沿わない急造のシステムを生んでしまったりする要因となります。常に世の中の動きに目を向け、学生の声を取り入れやすくする環境を整えることが重要であると考えています。これをもって自ら進んでシステムを刷新し続け、東工大自身がリーダーシップを備えた大学であり続けられれば、学生の志を育む格好の土壌となることでしょう。この期待を込めて、我々は様々な動向に対する学生の声を込めて提言書を作成しました。

学勢調査 2018 にご回答くださった学生の皆様に感謝の意を表します。アンケートに回答してくださった学生の熱意こそが我々の原動力となっています。不甲斐ない点は多々あるとは思いますが、これからもご協力頂ければ幸いです。キャンパスミーティングに対応してくださった学内各部局の方々には無理難題を押し付けることもあんなか真摯に対応していただきありがとうございます。学勢調査 2018 の学生スタッフおよび教職員 WG メンバーの皆様には大変お世話になりました。今回の学勢調査は初参加の学生スタッフが多く、初めは進行に不安もありましたが、優秀なメンバーに恵まれ、想像を超える成果となりました。私の未熟な行動には見事なフォローを、陳腐な態度には斬新な意見をくださりありがとうございました。この場を借りて心より感謝申し上げます。

学勢調査 2018 代表
理学院 物理学系 物理学コース修士 1 年
児島 佑樹

目次

学勢調査 2018 提言書	1
代表からの挨拶	1
目次	2
1. 学勢調査概要	3
1.1. 調査目的	3
1.2. 調査母体	3
1.3. 調査時期・調査対象・調査事項	3
1.4. 調査方法・分析方法	3
1.5. 回答者の属性と推移	3
1.6. 全体会議の記録	4
1.7. キャンパスミーティング	5
1.8. 公表と報告	5
2. 学習関連	6
3. 施設関連	14
4. サービス関連	35
5. 調査資料集	45
5.1. 基本情報	45
5.2. 大学関連	50
5.3. 学習関連	52
5.4. 施設関連	62
5.5. サービス関連	69
5.6. 設問一覧	74
5.7. Questions of Student Survey 2018 (English)	80
謝辞	85
学勢調査 2018 学生スタッフ	86
学勢調査 2018 WG 教職員スタッフ	87

1. 学勢調査概要

1.1. 調査目的

本学の大学運営は国立大学法人化を経て学長のリーダーシップの下で自主的・自律的に行われています。大学運営とそのサービスの受け手である学生が切り離されている場合、大学のシステムと学生のニーズにはずれ違いが生じやすくなります。そのため、良い大学運営を目指す上で、学生の声を汲み上げることが重要となっています。

本調査では学生スタッフが調査項目を考え、調査結果を解析し、提言を行い、本提言書を学長に奉呈することで、今後の大学運営の判断材料となることを目的としています。

1.2. 調査母体

学生支援センター自律支援部門に置かれている学勢調査 2018WG が学生スタッフを募集し、アンケート調査を実施いたしました。

1.3. 調査時期・調査対象・調査事項

本調査は、2018年6月11日～同年7月11日に実施しました。本調査では本学に在籍している全学生を対象としました。

調査事項については、「5. 調査資料集」に掲載しましたので、そちらをご参照ください。

1.4. 調査方法・分析方法

本調査は、本学の学生を対象に、教務 WEB システムのアンケート機能を利用して行われました。個人は特定できないようアンケート結果を集計しています。

調査項目は学生スタッフが設問検討会議での検討を重ね決定しました。回答データも学生スタッフがデータ分析を行い、議論を重ね、その結果に基づき本提言書を作成いたしました。

1.5. 回答者の属性と推移

学勢調査 2018 の回答者は 2619 人となり、これまでに行われた学勢調査と比べ、過去最高の回答者数となりました(図 1.5.1)。回答者数が大きく増えた原因として、質問数の大幅な削減により学生が回答しやすくなったこと、実施時期を 10 月～11 月から 6 月～7 月に変更したこと、広報活動強化により積極的に回答を促したことが考えられます。回答者の男女比率については男性 2094 人、女性 439 人、非回答 54 人と、男性が多数を占めています。

1. 学勢調査概要

まず、この結果は本学における男女比率（男性 8876 人，84%，女性 1724 人，16%）を反映したものとなっています。

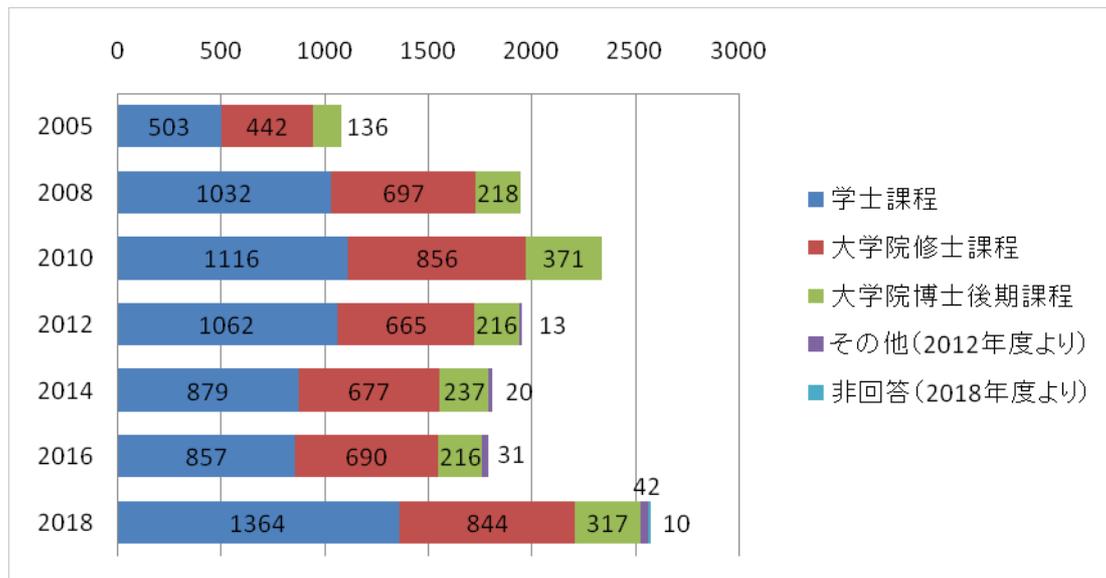


図 1.5.1 学勢調査回答者数の遷移

1.6. 全体会議の記録

● 設問検討会議

計 6 回にわたり調査項目の検討を実施し、不必要調査項目の削除、新調査項目の選定を行いました。学勢調査 2018 設問検討会議の日時・議題は以下の通りです。

- 第 0 回 2017 年 11 月 29 日（水） 学勢調査オリエンテーション
- 第 0 回 2017 年 12 月 06 日（水） 学勢調査オリエンテーション
- 第 1 回 2017 年 12 月 06 日（水） 学勢調査 2016 の復習
- 第 2 回 2017 年 12 月 13 日（水） 項目検討—大学・学習関連
- 第 3 回 2017 年 12 月 20 日（水） 項目検討—施設・生協関連
- 第 4 回 2018 年 01 月 10 日（水） 項目検討—サービス関連
- 第 5 回 2018 年 01 月 17 日（水） 項目検討—基本・新規質問
- 第 6 回 2018 年 01 月 24 日（水） 調査項目全体確認

● 提言書作成会議

計 9 回にわたり、提言書作成に関する議論等を行いました。学勢調査 2018 提言書作成会議の日時・議題は以下の通りです。

- 第 0 回 2016 年 07 月 04 日（水） 学勢調査オリエンテーション
- 第 0 回 2016 年 07 月 11 日（水） 学勢調査オリエンテーション
- 第 1 回 2018 年 09 月 05 日（水） 提言書作成の進め方と予定

- 第2回 2018年09月19日(水) 回答解析の分担作業
- 第3回 2018年10月10日(水) 自由記述解析のグループワーク
- 第4回 2018年10月22日(月) 提言案作成の指針決め
- 第5回 2018年11月05日(月) 解析結果の検討1
- 第6回 2018年11月15日(木) 解析結果の検討2
- 第7回 2018年12月03日(月) 提言案の検討・選別1
- 第8回 2018年12月13日(木) 提言案の検討・選別2
- 第9回 2019年01月07日(月) 提言案の議論・調整

1.7. キャンパスミーティング

キャンパスミーティングとは、調査結果ならびにそれに基づいて作成された提言案について、本学の事務局各部局へ質問書を提出し、学勢調査スタッフと各部局教職員の方々との意見交換を行うものです。キャンパスミーティングを行うことにより、大学と学生の間での情報不足による誤解を避け、双方の実態や価値観を照らし合わせることで、相互理解を促進させ、より現実的で実効性のある提言案を作成することができます。今回、ご協力いただいた事務局担当ならびに教職員の方は以下の通りです。ご多用の中、キャンパスミーティングにご協力いただきまして誠にありがとうございました。

- | | | |
|---------------|----|------------------|
| — 生命理工学院 | …… | 生命科学基礎の講義について |
| — 総務部人事課 | …… | 本学の勤務報告書について |
| — 学務部教務課 | …… | 本学の教育とそのサービスについて |
| — 学務部学生支援課 | …… | 学生生活全般について |
| — 研究推進部情報図書館課 | …… | 図書館について |
| — 研究推進部情報基盤課 | …… | キャンパス無線LANについて |
| — 施設運営部安全企画室 | …… | 防災訓練について |
| — 東京工業大学生協本部 | …… | 食堂について |

1.8. 公表と報告

本提言書は、学長への奉呈後、インターネットの学勢調査専用サイトおよび冊子で公表されます。冊子は大岡山とすずかけ台の両キャンパス図書館で閲覧できます。

※学勢調査専用サイト：<http://www.siengp.titech.ac.jp/gakuseichousa/>

学勢調査2018データを利用する際には、学内外に関わらず、事前に学生支援センター自律支援部門 [gakuseichousa1\[at\]jim.titech.ac.jp](mailto:gakuseichousa1@jim.titech.ac.jp) へご連絡ください。

2. 学習関連

学生の意見

- 公欠制度の創設を希望する、次のような意見が寄せられました(同様意見 16 件)。
 - 学会等による授業の欠席の取り扱いを各教員に任せるのではなく、公欠としてこれを認めた上で大学院として快く送り出してほしい。
 - 出張等でやむを得ず欠席する場合の対応など改善してください。
- 授業への出席のため研究活動が圧迫されていると感じる学生の声として、次のような意見が上がっています(同様意見 29 件)。
 - クォーター制によって教員や大学院生の出張が困難になっている。研究や学会のために 2 週間以上の長期で出張することも多々ある人が多いのに、クォーター制では授業の欠席回数が 2 学期制の倍になったり履修したい科目が取りづらくなったり、弊害も見られる。
 - 大学院文系科目では 2 回欠席すると単位取得不可とされているものがあるが、学会などでの研究発表による欠席もその 1 回に含まれているため、文系科目の履修が困難である。

現状分析

1. 研究・学習に関する現状分析

教育改革によりクォーター制を導入した本学では、多くの授業が 1 週間に 2 回行われます。そのため、1 週間大学を休むと 2 回の授業を欠席することになります。一方で、文系教養科目などのいくつかの講義では、2 回授業を欠席すると単位取得が認められない場合があり、1 週間大学を離れることは現行制度では難しくなります。これにより、本学では学生の学会参加や実験のための出張が制限されています。この点に関して改善を望む学生から 16 件の意見が寄せられています。図 2-1.1 に示すように、本学学生の多くは、「専門を極める」ことや「研究を行う」ことを目的として入学しています。研究の遂行や研究成果の発信がしやすい環境づくりは、本学学生の希望と一致しています。

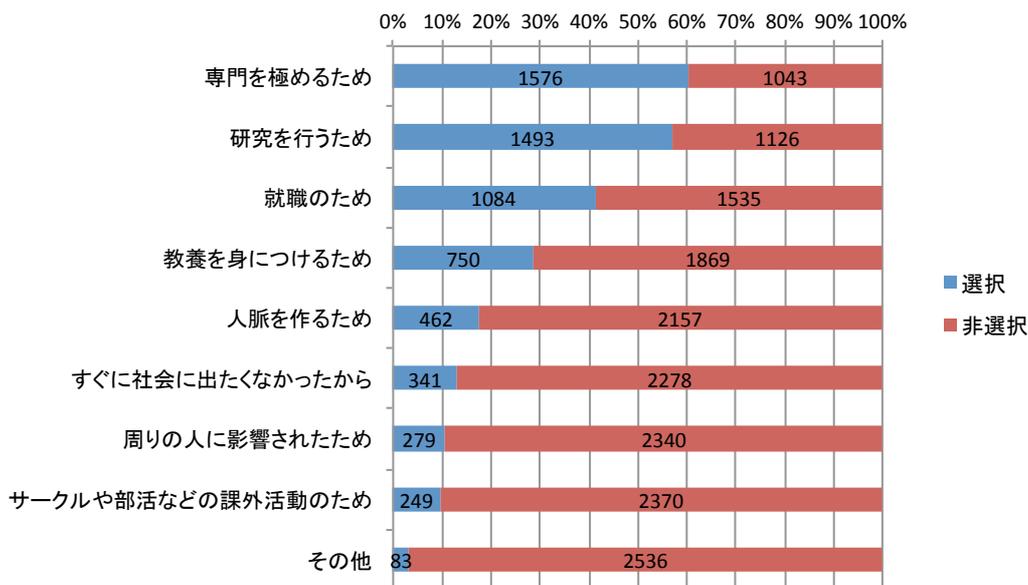


図 2-1.1 大学に進学を希望した理由

2. 本学における感染症への対応の現状

本学では、**感染症に関する公欠・公休制度は存在しません**。学校保健安全法では、表 2-1.1 に上げる感染症を罹患した場合の出席停止期間が定められています。しかし、本学では出席停止期間は公欠と認められません。そのため、感染症を罹患しているにもかかわらず、単位取得のために授業を出席する学生が少なからずいるようです。

表 2-1.1 感染症発生報告対象となる疾患一覧¹

分類	分類根拠	該当感染症	*参考(学校保健安全法施行規則第19条による出席停止期間)
第1種	発生はまれであるが発症すれば重篤な感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARSコロナウイルスによるもの)、鳥インフルエンザ(H5N1)	完全に治癒するまで
第2種	飛沫感染(しぶき感染)または飛沫核感染(空気感染)し、流行拡大のおそれがある感染症	インフルエンザ(鳥インフルH5N1を除く)	発症した後5日間を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで
		百日咳	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌剤治療が終了するまで
		麻疹(はしか)	解熱後3日を経過するまで
		流行性耳下腺炎(ムンプス)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現5日経過し、全身状態が良好になるまで
		風疹(三日ばしか)	発疹が消失するまで
		水痘(水ぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで
		咽頭結膜熱(プール熱)	主要症状消失後2日を経過するまで
		結核	医師により感染のおそれがないと認められるまで
第3種	放置すれば流行拡大の可能性がある感染症	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症(O-157等)、腸チフス、パラチフス、流行性結膜炎、急性出血性結膜炎、その他(ノロウイルス等による感染性胃腸炎、溶連菌感染症、ウィルス性急性肝炎、マイコプラズマ肺炎)	医師により感染のおそれがないと認められるまで
		その他	学校内の感染対策上、把握が必要と判断される感染症

(*出席停止期間を参考にして自宅休養することが望ましい。自宅休養期間は公欠、公休としてはみなされない。)

3. 本学における公欠制度の現状

これまで本学では公欠制度は存在しませんでした。2016年度の学勢調査では、

1. 学会参加と講義が重なる場合、課題などを与えて講義内容を学習できるよう配慮する。
2. 学生が1.の課題などを完遂した場合、成績に不利が無いようにする。

という「公欠制度」を提言しました。しかし、担当部局からは

「各授業科目の実施内容にも関係しますので、一律での公欠制度の導入は困難と考えています。」、「期間の短い欠席については、個別に授業担当教員にご相談願います。」

との回答があり、学会参加に関する公欠制度はまだ導入されていません。

一方で、ボランティア参加に関しては、2020年東京オリンピックでは「公欠制度」と同等の特別措置が導入されます。特別措置の具体的な内容は、

1. ボランティア活動に従事する場合、期末試験を除き、各クォーターにおける同一授業の不参加が通算して2回(週1回の授業の場合は1回)以内の場合は、欠席扱いとしません。
2. ボランティア活動により授業に出席できなかった場合、当該授業の自学自習が可能となるよう東工大オープンコースウェア OCW/OCW-i を活用して、教材等を入手してください。また、授業担当教員へお問い合わせください。

¹東京工業大学 保健管理センター「感染症発生報告の対象となる疾患一覧」：
https://www.titech.ac.jp/enrolled/health/pdf/infection_01.pdf

2. 学習関連

3. 期末試験を欠席する場合については、ボランティアに参加する前に、修学上の配慮の有無を授業担当教員へ問い合わせてください。ただし、特段の配慮を受けられない場合もあることに留意してください。

となります。上記の特別措置は、各授業科目の実施内容に関係せず、一律導入されます²。

これらの現状を踏まえ、教務課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 東京オリンピックにボランティアとして参加する場合の特別措置は、各授業の実施内容に関係せずに一律導入されるということで間違いありませんか。

A1. 全科目一律に導入されます。

Q2. 学勢調査 2016 の提言では、「各授業科目の実施内容にも関係しますので、一律での公欠制度の導入は困難と考えています。」との回答を受けております。今回の特別措置は、この問題を解決しているということでしょうか。

A2. 今回の東京オリンピックボランティアなど大学の認める特定のボランティア活動に限り(欠席の影響を配慮する)“特別措置”を認めています。特別措置の適用範囲を拡大することは公欠制度の導入と同義であり、それなりの準備が必要です。実験科目等を欠席してしまうと、それを補う手段を講じるのは困難です。

Q3. 本学では、感染症の場合も出席停止に関する公欠は無いと認識しております。インフルエンザやはしかなどの感染症に罹患した場合も出席して良いということでしょうか。

A3. 自宅待機など医師の指示に従ってください。ただし、欠席した場合は公欠にはなりません。授業の欠席に対する対応は、個別に教員と相談してください。出席してよいという訳ではありません。

Q4. 感染症を罹患した際の大学の指示・医師の指示による欠席が、公欠と認められない理由を教えてください。

A4. (明瞭な回答は得られませんでした。)

Q5. 特別措置と同等の制度を公欠として、学校保健安全法で定められた感染症罹患による欠席を対象に導入する上で問題点はありますか。

A5. 授業科目によっては欠席者に対する代替措置を実施することが困難な場合があります。また、代替措置を実施し、単位を認定して良いか授業担当教員が判断できない場合があります。一律の導入には、慎重な議論が必要です。また、公欠の適用範囲・適用期間の基準をどのように決めるか検討が必要です。

Q6. 感染症に関しては、公欠の適用基準・公欠期間の基準として学校保健安全法があります。感染症罹患者に対する公欠制度の導入を検討して頂けますか。

A6. 検討の必要性はあると考えます。

² 教務課一斉メール 2018年11月21日配信

提言

本学には現在公欠制度が存在しません。これは、感染症の拡大防止の観点からも不十分な対応と思われます。現状では、インフルエンザ等の感染症による欠席の取り扱いは、個々の授業担当教員に委ねられています。そのため、欠席に対する対応が一律ではなく、授業間で対応が不平等となる可能性が生じています。また、公欠制度が存在しないことで、感染症に罹患した場合も単位取得のために学生が授業に出席してしまう可能性があります。

また、学会発表は、学生のプレゼンテーション能力を向上させるだけでなく、科学技術の発展という観点からも重要であると言えます。しかしながら、研究活動に関する公欠制度が存在しない本学では、学生の学会発表が制限されています。

大学として出席点をつけない方針であるならば、授業欠席に対する代替措置の実施は可能であると考えられます。授業内で実施される達成度評価のための演習は、レポートに置き換えが可能です。一方で、実験科目の欠席は、「物理学実験第一」や「物理学実験第二」のように予備日を設けることで対応の対応を取ることができると考えます。

このような状況を改善するべく、例えば次のような「公欠制度」の創設を提言します。

学校保健安全法施行規則第 18 条³の定める感染症罹患のための出席停止について医師の診断書が提出された場合や、主指導教員の認める学会参加・実験のための出張によって当該授業を欠席する場合は、

1. 期末試験を除き、各クォーターにおける同一授業の不参加が通算して 2 回(週 1 回の授業の場合は 1 回)以内の場合は、欠席扱いとしない。3 回以上の欠席の場合は、授業担当教員の裁量で対応を決定する。
2. 授業に出席できなかった学生に対し、授業担当教員は自学自習が可能となる教材*を提供する。
3. 期末試験を欠席する学生に対しては、追試、課題提出による評価等の修学上の配慮を行う。

*上記の「自学自習が可能となる教材」としては、授業の録画などの映像教材が効果的であると考えます。授業の録画が困難である場合は、教育革新センターの機材を活用することで、映像資料を作成することができます。

³ 電子政府の総合窓口 e-Gov 「学校保健安全法施行規則」：

http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=333M50000080018

学生の意見

- 成績の分布を示したほうがやる気につながるので提示してほしい(同様意見 3 件)。
- 教員によって点数の取りやすさに差が出ていることに不満がある(同様意見 4 件)。

現状分析

本学で学生が成績評価として与えられる指標は学修の評価(以下、点数)と GPA/GPT の 2 項目です。本学が定めている GPA は、

$$(\text{GPA}) = \frac{(\text{点数}) - 55}{10}$$

より算出されます。このように GPA は点数にのみ依存する値であり、受講者全体での相対的な位置付けを表す指標ではありません。したがって学生は自分の成績に関して受講者全体での相対的な位置づけを把握することができず、講義に対して意欲的に取り組んだ際にも成績の向上を実感することが困難な現状となっています。

また今回の学勢調査では、同一の授業科目であっても教員によって採点基準が異なるため成績評価が不平等ではないかという意見が見受けられました。しかしながら、現状では実際に点数の分布が異なるかを判断できないため、同一科目にて成績評価が不平等であるか判断をつけることができません。

さらに「東京工業大学における成績に対する確認及び不服申立てに関する要項⁴」では学生が成績に対して確認を求める際には、授業担当教員に直接確認を依頼するか、教務課を通じて授業担当教員に確認を依頼する旨が記載されています。現状のシステムでは学生が成績評価を不平等であると考えた場合にも、同一科目の成績分布に過度な偏りがあるかの確認を授業担当教員のみが行うため公平性に欠けてしまう危険性がある現状となっています。

北海道大学では、「成績評価の公平性を確保し、学生及び第三者に対する説明責任を果たす」という方針に則り、WEB 上に成績分布の公開を行っています⁵。また、成績評価の妥当性を検討し、成績に過度な偏りがないか審査するシステムを設けています。そして、「2 年間にわたる検討・調整の結果、『成績評価の極端な片寄り』はかなり改善されたように見える」と報告しています⁶。

これらの現状を踏まえ、教務課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 学生の成績状況を成績分布として公開することは大学のプライバシーポリシーなどの観点で問題はありますか。

A1. 成績を分布に変換するなど適切に匿名化を行っていれば、成績分布の公開に問題はありません。

Q2. 成績評価の判断基準や成績分布に過度な偏りがあるかなどの判断は講義の担当教員に一任しているのでしょうか。

A2. 偏りがあった場合の対応について専門科目は系やコースで、教養科目は実施委員会で方針を決めている場合があり、例えば英語科目は実施委員会として方針を定めており、委員会内で確認を行っていますが、特に方針を定めていない場合は授業担当教員に一任ということになります。どういう科目が方針を定めているかについて全ては把握できていません。

⁴ 国立大学法人東京工業大学規則集「東京工業大学における成績に対する確認及び不服申立てに関する要項」：
http://www.somuka.titech.ac.jp/reiki_int/reiki_honbun/x385RG00001083.html

⁵ 北海道大学「成績分布 WEB 公開システム」：<http://educate.academic.hokudai.ac.jp/seiseki/GradeDistSerch.aspx>

⁶ 新潟大学大学教育開発研究センター 大学教育研究年報

「北大における『成績評価基準の明示と厳格な成績評価の実施』をめぐる論議」：
<http://dspace.lib.niigata-u.ac.jp/dspace/handle/10191/2318>

提言

以上の現状を踏まえて、以下の2点を提言します。

- **OCW 上での成績分布の掲載**

GPA の平均値と点数の分布を成績公開と同時期に OCW に掲載することを提言します。成績分布の公開により、受講者は自分の相対的な位置付けを把握し、より学習意欲が向上することが見込めます。また、OCW に掲載することで次年度以降の学生には、講義を履修登録する際の参考材料となります。

- **同一科目における成績分布に、過度な偏りがないかを第三者が監査する制度の導入**

同一科目における成績分布をもとにして公平な成績評価が行われたかどうかを監査する制度の導入を提言します。成績分布に関する判断を授業担当教員や委員会のみが行う現在のシステムでは同一科目における成績評価の不公平を是正することが困難なため、第三者が成績分布に過度な偏りがあるかどうかを監査することで、公平性が保たれた成績評価が可能になると考えられます。

学生の意見

- 400 番台と 500 番台という区別をわざわざつけて必修単位数を設けているにも関わらず、学生が十分に履修できるだけの科目数が用意されていなくて非常に不満である。
- 抽選で希望の科目が履修できない（同様意見 41 件）。

現状分析

現在、修士課程での文系科目は、400 番台から 2 科目、500 番台から 1 科目の合計 3 科目の受講が必修となっています。学修案内⁷には全科目における 400・500 番台の定義付けがそれぞれなされていますが、文系科目における 400・500 番台についての区分けの基準や定義は明記されていません。そのため、400・500 番台の区分けに意義を感じられない学生がいると考えられます。また、文系教養科目受講の抽選に外れ、科目を希望通りに履修できない学生もいます。400・500 番台の区分けを取り払えば学生にとってより自由な履修選択が可能になると考えられます。

これらの現状を踏まえ、教務課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 文系科目における 400・500 番台の区分けは明記されていますか。

A1. 学修案内には全科目について 400 番台と 500 番台はそれぞれ「発展科目」、「自立科目」として定義付けられています。文系科目独自の基準は設けていませんが、それに沿って科目コードを設定しています。

Q2. 文系科目は 400 番台から 2 科目、500 番台から 1 科目を履修することが修了要件となっていますが、そのことが文系科目を自由に受講することが出来ない要因となっているのではないのでしょうか。

A2. 取りたい文系科目を取れないという意見について回答を述べます。まず、文系科目数は年々増加しており、平成 31 年度についても新設の科目も予定しています。また、文系科目の履修予約制度ですが、修士課程 2 年生の希望科目が通りやすいように設計しています。修士課程 1 年の時に取り残した科目があったとしても、修士課程 2 年の時に取れるように配慮しています。

全科目について 400・500 番台の区分けがなされています。しかしながら、学修案内には 500 番台の科目で「学生が身につける力」として「専門周辺分野、他専門分野の深い知識を英語で修得する」、「主専門に加え、副専門の系統立った専門知識を身につける」と設定され、専門科目向けの記述となっています。文系教養科目は専門科目のように特定の領域を扱う科目群ではなく広域的な教養を扱う科目群です。文系教養科目に特化した区分けの明確な基準がなく曖昧な点が混乱を招く原因となっていることが考えられます。文系教養科目に注目した 400・500 番台の区分けの基準を取り決めるか、400 番台と 500 番台を統合することで混乱は解決すると考えられます。また、科目数は増加傾向にあります。大岡山キャンパスやすずかけ台キャンパスのどちらかのキャンパスでしか開講していない科目が多いため、科目選択に制限がかかっています。遠隔配信の授業を増やし、両キャンパスで受講することが出来るようになれば、履修の幅が格段に増え不満解消に繋がると考えられます。

提言

以上の現状を踏まえて、以下の 2 点を提言します。

- 学修案内に文系教養科目における 400 番台と 500 番台の区分けの基準を特別に取り決めるか、400 番台と 500 番台を統合する。
- 科目選択におけるキャンパス間の不利益を軽減するために、座学を中心とした文系教養科目については遠隔配信を実施する。

⁷ 東京工業大学 「H30 年度大学院学修案内 履修案内」：
https://www.titech.ac.jp/guide/guide_30/graduate/pdf/01-01.pdf

学生の意見

- 高校で生物を履修しておらず、学部1年生の間に詳しく基礎的な生物の学習をしたいが、現在の生命科学基礎の内容では不十分であると感じる。第7類1年生だけが履修するような生物の講義を設けてほしい（第7類1年生）。
- 生物利用のA0入試での入学者にとって、一般入試と同条件の物理と数学の講義は難しすぎる。物理の補講はあるものの、授業で分からなかったところを質問する形式では根本的な解決にはならない。基礎から教えてもらえるような環境がほしい。
- 1年次に理工系教養科目をとることになるが、例えば生命科学の授業など興味がないうえにテスト前だけ適当に暗記して終わりというような学生が多いと思われるので、そうであるならばわざわざ必修にせず、例えば自分の専門とする科目への時間にするなどもっと有効に使えられる。
- 生命科学の講義を必修科目とする必要性を感じない。第7類の学生はともかく、他類の学生の大半には睡眠の時間にしかたっておらず邪魔でしかない。内容も必修故か高校生以下の難易度でしたので退屈だった。

現状分析

現在、学部1年生は類に関わらず生命科学基礎が必修となっており、1Qに「生命科学基礎第一1」、2Qに「生命科学基礎第一2」の合計2単位分の取得が必須となっています。成績は毎講義時の小テストと期末試験で評価されます。2単位分という比較的負担の少ないと思われる講義でありながら、第7類で受験時に生物非選択だった学生・生物選択だった学生、そして第7類以外の学生からも講義内容や講義の存在そのものへの不満が寄せられています。

これらの現状を踏まえ、教養科目群（生命科学）実施委員会委員長、教養科目群教育協議会委員長である本郷裕一先生に質問し、以下のような回答を頂きました。

大学の方針として混合クラスの長所を重視しているため、類別クラスにはできません。そのため、各類間で異なるニーズを完全に満たすことは難しいと考えています。より多くの学生の学修意欲向上のため、最初の講義の時間に「なぜ生命科学が必修なのか」の明確な説明をしようと考えています。学修相談室の利用を増やすため、積極的活用を呼びかけていこうと考えています。

提言

生命科学は、今後より大きく発展することが見込まれる学問の一つであり、他分野との融合がその鍵になってくると考えられます。したがって、科学を学ぶすべての学生が生命科学に触れることはとても有意義なことであると考えられます。注目すべき点は、学生に生命科学学習の必要性や重要性が伝わりきっていないことです。

- 学生に「生命科学学習の必要性」をより理解してもらえるよう、現在実施されている初回のデモンストレーションを継続していただく。
- 初回の講義で、生命科学において興味を持っている事象などについて学生に対してアンケートを実施する。以降の講義において、生命科学の基礎知識について講義しつつ、アンケートの回答に基づいた内容もおりませる。

3. 施設関連

学生の意見

- 食堂に関する意見は主に次の4つに分類できます。
 1. メニュー関連の意見（野菜のメニューやハラルメニューについて）（同様意見 73 件）。

同じメニューに飽きてしまったことやハラルメニューの増加を望む声が目立っていました。

 - ・ 種類を増やしてほしい。3ヶ月でもう飽きてしまう。
 - ・ If they could include more vegetarian friendly meals that would be lovely.
 - ・ It would be good if Ookayama campus had more halal dishes like Suzukakedai campus. TheSuzukakedai menu is more delicious and varied for me.
 2. 混雑に関する苦言（同様意見 75 件）。

第1食堂、第2食堂だけでなく、すずかけ台キャンパスでも昼食時の混雑をどうにかしてほしいという意見がみられました。

 - ・ 注文するために並ぶ行列が長い。
 - ・ 回転率が悪く、注文してから席に座るまでの待機時間が長い。
 - ・ 座席数が混雑時の人数に対し噛み合っていない。
 3. 立地の問題（同様意見 37 件）。

緑ヶ丘地区、石川台地区は生協食堂から遠いため、以下のような意見が多くなったと考えられます。

 - ・ 緑ヶ丘地区から食堂を利用するには不便。
 - ・ 南地区、石川台地区にも学食が欲しい。
 4. 飲食店が欲しいという要望（同様意見 60 件）。

すずかけ台キャンパス、田町キャンパスに新しい飲食店が欲しいという意見が多く見られました。

 - ・ 他大学に比べて昼食の場所の選択肢が少なすぎる。外部の業者も学内に誘致してほしい。
 - ・ すずかけ台キャンパスは駅周辺に飲食店がないので、大学内に飲食店がほしい。

現状分析

食堂に関する学生の意見から、分類された4つの事柄について現状を説明します。

1. メニューについて

メニューの種類が少ないという意見がありましたが、これについては2014年度、2016年度の学勢調査でもヘルシーメニューの充実やハラルメニューの充実に関して様々な提言がなされてきました。これに対する大学の対応⁸は、例えばハラルメニューの拡大については「ハラル推奨メニューの提供に当たり調理のオペレーションが全く異なるために、単純にメニューの拡大は困難です。一方で、毎週メニューの変化を付けて提供しております。ムスリムでない学生も、既に多く利用しています。」でした。ベジタリアンの方のメニューについてもメニューの拡大を望むことは同じような理由で難しいと考えられますが、現在ではいろんな野菜が売られています。

⁸学勢調査 2016 「大学の対応」（24 ページより）：

http://www.siengp.titech.ac.jp/gakuseichousa/2016/2016_gakusei_follow.pdf

大学生協として様々な企画とともに季節に応じた期間限定のメニューを考えるなど工夫も見受けられます。しかしながら、そうしたメニューの種類よりも学生のニーズの方が多様化してきているのもまた事実です。

2. 混雑について

大岡山キャンパスの生協第1食堂、第2食堂だけでなく、すずかけ台キャンパスの生協食堂でも昼食時の混雑は問題です。メニューの種類についてと同様に、この混雑解消に向けても過去の学勢調査で提言しています。これに対し、大学生協は「生協としてもできる限りの対応をしていく予定です。」と回答していましたが、昼食時には依然として長蛇の列ができています。

3. 生協食堂の立地について

生協の学食が遠いという意見が緑ヶ丘地区、石川台地区で主に生活している学生からあがりました。現在は、生協の弁当販売を両地区で行っており、生協に行かなくても昼食が手に入るよう工夫されています。しかし、生協の弁当販売は学食に比べて種類が少なく、メニューも変わりにくいため、飽きてしまう学生も多いようです。

4. 新しい飲食店について

新たに飲食店が欲しいという要望は大岡山キャンパス、すずかけ台キャンパス、田町キャンパスのすべてのキャンパスでありました。しかし、いずれのキャンパスも飲食店を誘致するだけの空間が確保できる状況ではありません。

また、生協食堂を利用している学生は非常に多く（図 3-1.1、図 3-1.7）、特に大岡山地区、すずかけ台キャンパスで活動している学生の利用頻度が高く（図 3-1.2、図 3-1.5、図 3-1.7）、混雑の原因となっています。一方で、緑ヶ丘地区や石川台地区、田町キャンパスでは生協食堂から遠い、あるいは生協食堂がないことから利用率が大岡山地区、すずかけ台キャンパスに比べて少ないことがわかります（図 3-1.3、図 3-1.4、図 3-1.6）。

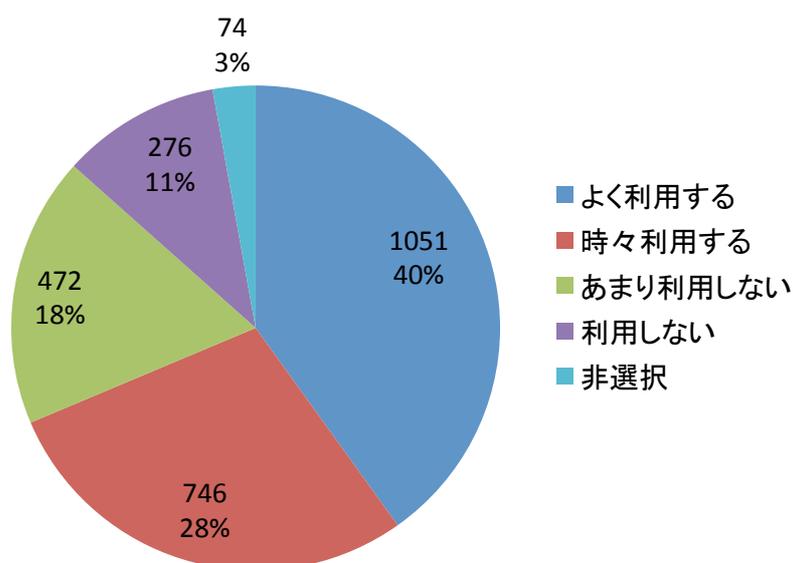


図 3-1.1 生協食堂の利用頻度について

3. 施設関連

大岡山地区(1780人)

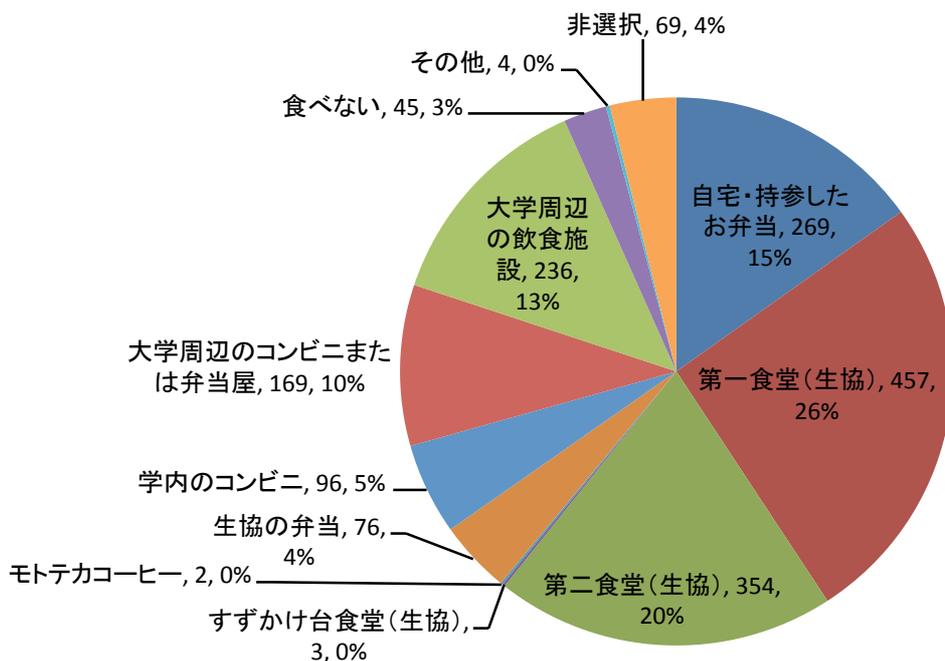


図 3-1.2 大岡山地区における平日の昼食の利用場所について
(表題の括弧内の数字は回答者数)

緑ヶ丘地区(141人)

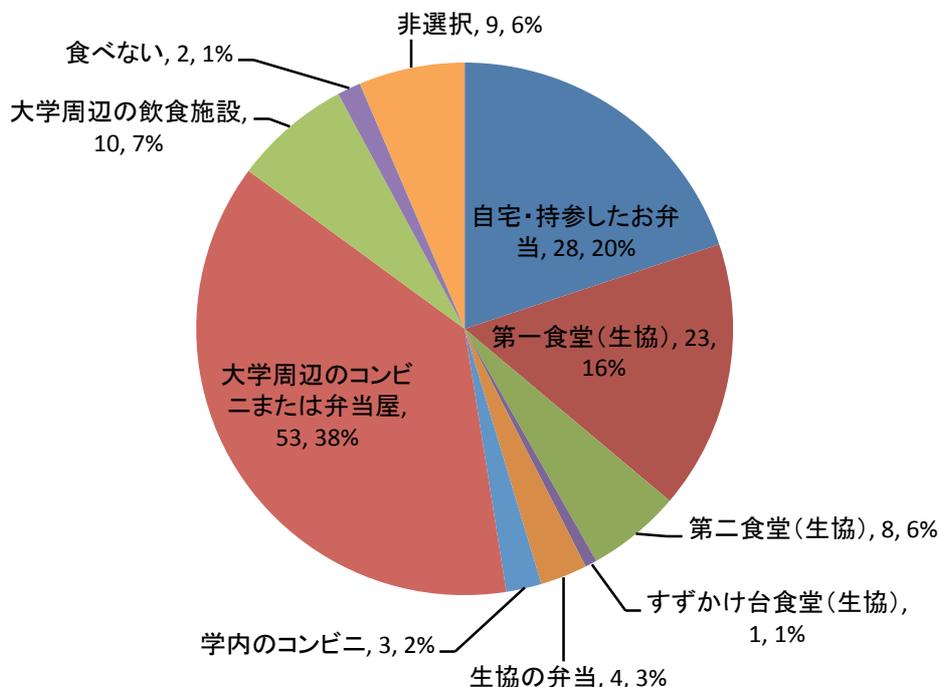


図 3-1.3 緑ヶ丘地区における平日の昼食の利用場所について
(表題の括弧内の数字は回答者数)

石川台地区(194人)

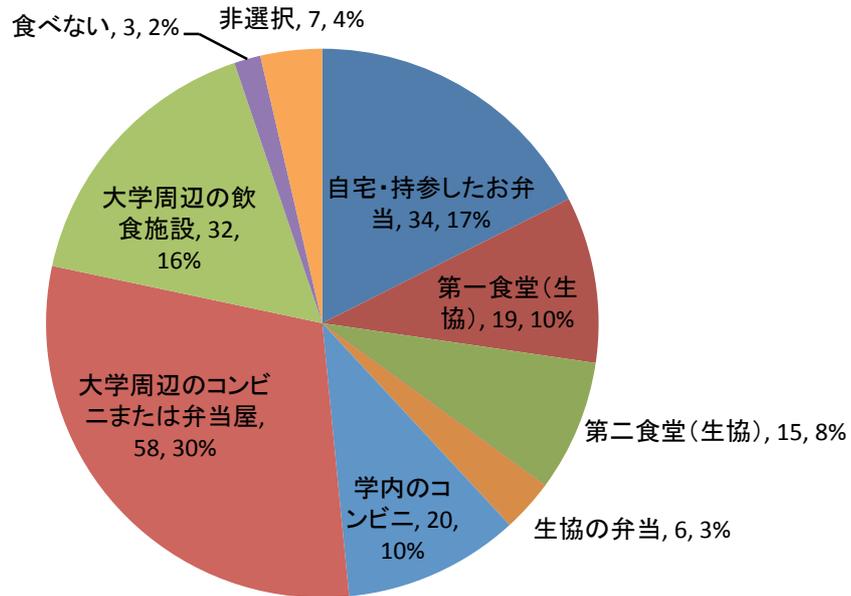


図 3-1.4 石川台地区における平日の昼食の利用場所について
(表題の括弧内の数字は回答者数)

すずかけ台キャンパス(442人)

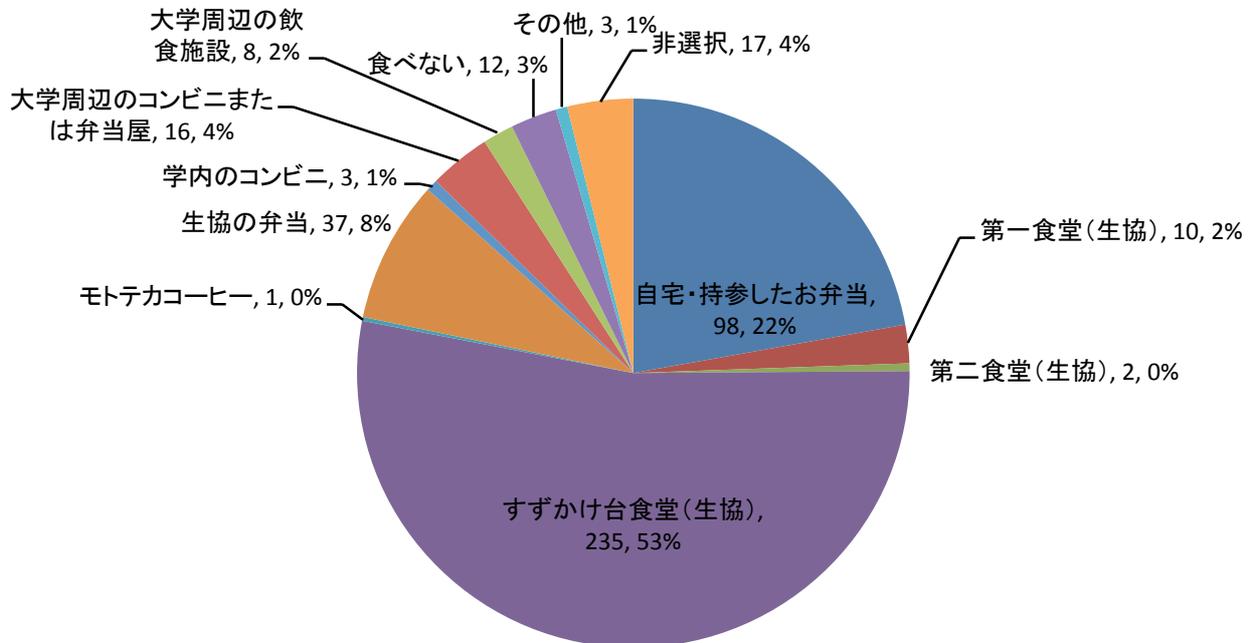


図 3-1.5 すずかけ台キャンパスにおける平日の昼食の利用場所について
(表題の括弧内の数字は回答者数)

田町キャンパス(35人)

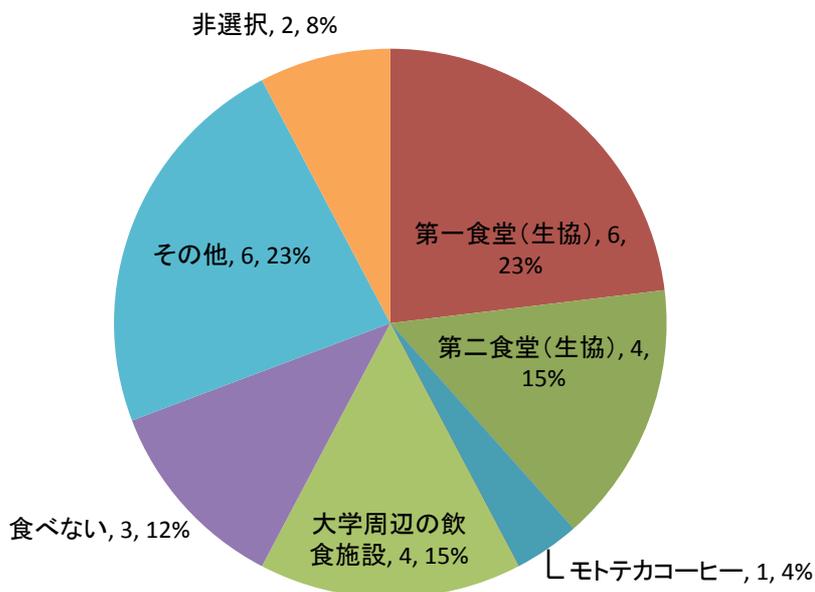


図 3-1.6 田町キャンパスにおける平日の昼食の利用場所について
(表題の括弧内の数字は回答者数)

全体(2619人)

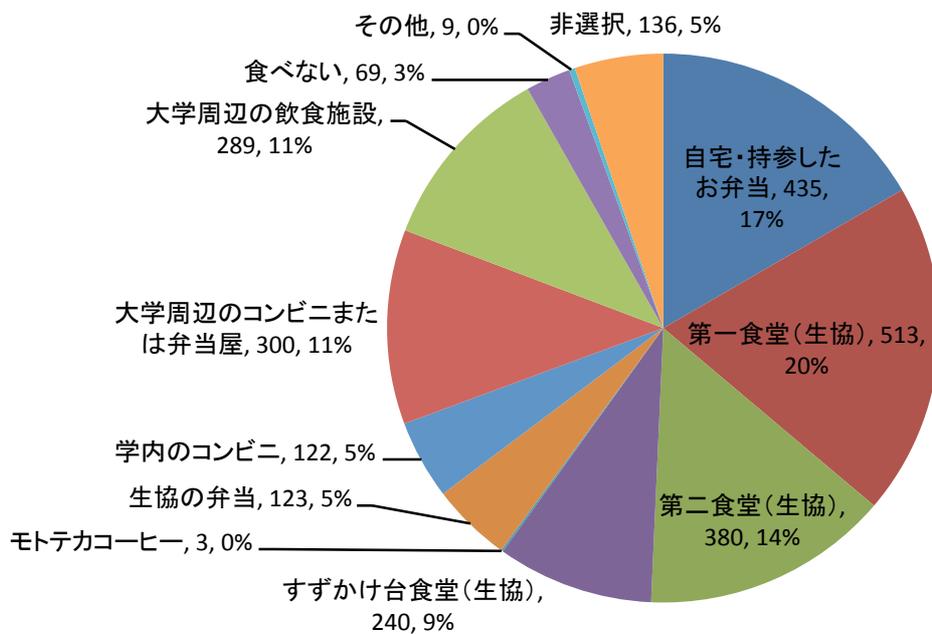


図 3-1.7 平日の昼食の利用場所について
(表題の括弧内の数字は回答者数)

これらの現状を踏まえ、学生支援課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. キッチンカーをキャンパス内に誘致することは可能ですか。

A1. いくつかの条件を満たすことで誘致は可能です。

Q2. 条件の概要を教えてください。

A2. 現在、学内で飲食の販売を行っている生協とセブンイレブンの理解を得ること、キッチンカーの駐車スペースを確保すること、キッチンカーを誘致して来てくれる業者を見つけること、の三点です。

Q3. キッチンカーの駐車スペースを確保することは難しいのでしょうか。

A3. 担当者と調整すれば駐車スペースの確保は難しくありません。キッチンカーが学内の電気やガス等を使わずに営業を行う場合は、特に制約を受けることもありません。

Q4. キッチンカーで購入したお弁当のごみはどうするのでしょうか。

A4. キッチンカーにごみ箱を設置してもらい、そこに捨てるようにしてもらおうような契約をすることになると思います。

また、大学生協とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 現在、生協食堂の混雑を緩和するため、回転率を上げるために何か対策は行われていますか。

A1. 第1食堂では、外で声かけを行い、空いているレーンに行きたい学生ができるだけ行列に並ばずに進めるよう工夫しています。また、第1食堂の2階も利用してもらい、混雑を抑えています。

提言

学生・教職員ともに昼食の新たな選択肢となるように学外からキッチンカーを誘致することを提言します。

キッチンカーの誘致が出来れば、生協食堂やお弁当のメニューに飽きることはなくなり、昼食の選択肢が広がります。キッチンカーを大岡山キャンパスややすずかけ台キャンパスに呼ぶと、食の選択肢が広がるだけでなく、混雑している生協食堂よりも早く昼食が手に入るというメリットから普段は生協食堂を利用している学生がキッチンカーで昼食を購入すると、食堂の混雑緩和にもつながります。また、生協食堂から遠い緑ヶ丘地区や石川台地区、生協食堂のない田町キャンパスにキッチンカーを呼ぶことの恩恵は大変大きいと予想されます。

さらに、ムスリム、ベジタリアン向けの料理や女性向けの料理を販売しているキッチンカーを誘致できれば、生協食堂では応えきれない学生のニーズに応じたメニューを提供することも可能です。実際に上智大学ではハラル弁当をキッチンカーで販売したことがあるそうです⁹。

また以下に紹介する他大学の事例のように、曜日ごとに場所を移動するなど、特定の曜日だけキッチンカーに来ていただくことも交渉次第では可能であると考えます。

参考（他大学の事例）

● 横浜国立大学の例¹⁰

- ・キッチンカーがキャンパス内に一日3台来ています。来ている車は、曜日や週によって変わります。
- ・誘致に成功している要因としてはキャンパスの周りに飲食店がないこと、大学全体で文理併せて学生・教職員の人数が多いため、多くの需要が見込まれることが挙げられます。
- ・B級グルメのような感覚で楽しめるように見えます。
- ・曜日や週によって来ている車が異なるため、毎日メニューが変わり飽きないように見えます。

⁹一般社団法人ハラル・ジャパン協会「上智大学、学内にてハラル弁当の販売開始」：
<http://www.halal.or.jp/halalnews/halal/1879/>

¹⁰横浜国立大学「食堂等の営業案内について 移動販売車」：
<http://www.ynu.ac.jp/campus/support/diningroom.html>

3. 施設関連



● 東京大学の例¹¹

- ・キッチンカーが駒場キャンパスと本郷キャンパスにそれぞれ来ており、出店数は本郷キャンパスの方が多くなっています。
- ・駒場キャンパスでキッチンカーが出店している場所はメインキャンパスから離れたところに2台ありました。その地区には食堂とキッチンカーのどちらもあるため、食事の選択肢が幅広いように見えます。キッチンカーは多くの方が利用していました。
- ・本郷キャンパスは、5か所で出店されています。それぞれのキッチンカーはキャンパス内に散らばっており学生・教職員のニーズにあった出店となっているように見えます。



キッチンカー誘致の参考となるサイト

- ・ネオ屋台村（東京大学への出店業者） <https://www.w-tokyodo.com/neostall/>
- ・ケータリング乃会 <http://cateringnokai.jp/>
- ・軒先新聞 <http://jikankasi.com/>

¹¹ ネオ屋台村「所在地と出店スケジュール」：<https://www.w-tokyodo.com/neostall/space>

学生の意見

- 喫煙場所に関して次の意見が寄せられました。
 - 喫煙場所を密閉してほしい（同様意見 38 件）。
 - 喫煙場所周辺のおいが臭い，受動喫煙をしてしまう（同様意見 99 件）。
- 不満のある喫煙場所の場所として次の場所があげられました。
 - 本館裏西側駐輪場脇の喫煙場所（図 3-2.1 の⑤に該当）（同様意見 59 件）。
 - 南 2 号館の階段下の喫煙場所（図 3-2.1 の⑦に該当）（同様意見 24 件）。
 - 石川台 1 号館入口前の喫煙場所（図 3-2.1 の⑬に該当）（同様意見 18 件）。

現状分析

学生の喫煙場所利用率は 4%と非常に低くなっており，33%の学生が喫煙場所の位置に不満を感じていることが分かりました（図 3-2.2）。現在，本学キャンパス内には喫煙場所がいくつか設置されています（図 3-2.1）。その中には図 3-2.3 のように人通りの多いところに解放された状態で喫煙場所が設置されているところがあります。そのため，喫煙場所付近の通行者は意図せず受動喫煙をしてしまい，深刻な健康被害を受ける可能性があります。

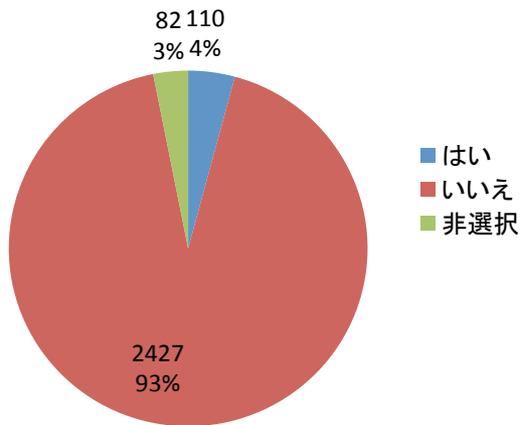


図 3-2.1 大岡山キャンパス指定喫煙場所¹²

¹² 「大岡山キャンパス指定喫煙場所」 : <http://www.gsmc.titech.ac.jp/kituen/kituenmap-o.pdf>

3. 施設関連

(a) 学内の喫煙所を利用しますか



(b) 喫煙所の位置は適切だと思いますか

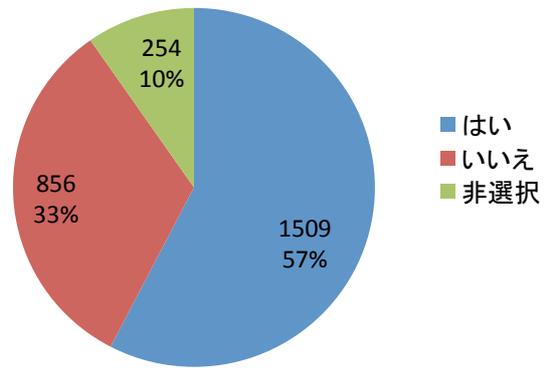


図 3-2.2 喫煙場所の利用率 (a) と喫煙場所の位置を適切だと思うか (b)



図 3-2.3 第二食堂横の喫煙場所 (図 3-2.1 の⑤に該当)

これらの現状を踏まえ、人事課労務室及び安全企画室とのキャンパスミーティングを実施して、以下の回答を頂きました。

- Q1. 学勢調査 2016 で、喫煙場所に壁を設置することについて、「検討する」と回答されていましたが現状どのようになっていますか。
- A1. 壁の設置は喫煙場所の設置されている場所の環境によって効果が異なり、費用も掛かるので、喫煙場所の移設や縮小についても、去年の秋ごろから検討しています。また、日本たばこ産業株式会社の方に相談し、専門的な意見を求めているところです。
- Q2. 本館裏西側駐輪場脇の喫煙場所や石川台 1 号館入口前の喫煙場所について、移設を検討していると回答されていましたが、どうなっていますか。
- A2. 前述した通り、検討している最中です。また、特定の喫煙場所に関しては、その喫煙所の設置場所を管理する部局が移設・廃止等の案を作成し、キャンパスマネジメント本部総合安全管理部門で決定することになります。移設先によっては、その場所を管理する部局との調整も必要になり、また、移設先での新たな健康問題が発生しないか、といったことが課題になっています。
- Q3. 受動喫煙防止対策助成金¹³を利用することはありますか。
- A3. 東京工業大学は助成金の対象外なので、利用することはできません。

提言

学内喫煙者がいることを考慮して喫煙場所がキャンパスに点在しているのは止むを得ないと考えます。しかし、現状分析に書いたとおり、受動喫煙による学生健康被害は深刻な問題になっており、対処が必要な状態です。

そこで、受動喫煙のリスクを最小に抑えつつ、喫煙者に負担をかけないために、特に上で挙げられた喫煙場所（⑤本館裏西側駐輪場脇・⑦南 2 号館階段下・⑬石川台 1 号館入口前）について、煙が拡散しないように密閉型にしたり、あるいは人通りの少ない場所に移設したりするといった処置を施すことを提言します。

¹³厚生労働省「受動喫煙防止対策助成金」：

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000049868.html>

学生の意見

- トレーニングルームの時間外利用について次の意見が寄せられました（同様意見 20 件）。
 - トレーニングルームの開館時間をもう少し延してほしい。
 - Gym is too small and the opening time is not reasonable. Extending to late evening or early morning would be very appreciated.

現状分析

現在、トレーニングルームは大岡山キャンパスで平日 10:00～17:45、土曜日 10:00～14:45 に使用可能です。また、すずかけ台キャンパスでは平日 11:30～14:30 と 15:30～18:15 に利用可能で、休日は使用できません。基本的に本学学生なら利用時間内はいつでも無料で利用できます。また時間外でも許可をもらい部活動利用している団体もいます。体育の授業でトレーニングルームが使用されている場合は、その授業が優先とされるため授業外の学生は利用出来ません。プールの利用に関しては有料ですが、その利用時間は火曜日と金曜日に限り 19:00 まで延長されています。

大岡山キャンパスのトレーニングルームの現在の開館時間では、10 時限目以降の授業を履修している学生はトレーニングルームを利用できません（図 3-3.1）。

また、学生の意見として他にもトレーニングルームの器具が古いから新しいものに変えてほしいという要望もありました。

平成30年度 後学期(第3・第4クォーター)

学士課程時間割表

Undergraduate Course Timetables

- 2018 Fall Semester (3rd and 4th Quarter) -

東京工業大学

Tokyo Institute of Technology

* 時間割表の追加・訂正等は掲示及び東工大 HP の時間割のページに掲載するので注意してください。

Any changes to timetables will be posted on the bulletin board and the Institute website.

* タイムテーブル/Time Table

時限 Period	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
時間 Time	9:00	10:45	13:20	15:05	16:50	18:30	9:45	11:30	14:05	15:50	17:35	19:15
	10:30	12:15	14:50	16:35	18:20	20:00						

図 3-3.1 平成 30 年度後学期 学士課程時間割表¹⁴

¹⁴ 東京工業大学 「平成 30 年度後学期 学士課程時間割表」：

https://www.titech.ac.jp/enrolled/life/pdf/undergraduate_timetables/H30F/02.pdf

これらの現状を踏まえ、学生支援課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

- Q1. トレーニングルームの利用時間延長は、利用料金を有料化することで可能になりますか。
- A1. 可能だと思います。ただ、具体的な金額の設定、運用方法、学生の需要などについて議論するのに時間がかかります。また現在、公認サークルとは器具の使い方や後片付け・掃除といった約束事をしてもらうことで、時間外でも（補助員の方がいなくても）利用可能にしています。これは、公認サークルが一般の利用者と利用時間帯をずらすことによってお互いがトレーニングしやすくするためのものです。
- Q2. 大岡山キャンパスのトレーニングルーム利用時間が17：45までだと授業終了後に少ししかトレーニングできない利用者や、そもそも授業のためにトレーニングできない利用者もいると思うのですが、なぜ平日は17：45までなのでしょう。
- A2. 現在トレーニングルームの運営は体育の授業の補助として雇われた従業員によって行われています。その補助員との契約は勤務時間が18：00までとなっているため、片づけ等の時間を考慮して利用時間を17：45までとしています。
- Q3. 具体的に何人くらい時間外利用者がいれば、時間外利用することが可能になるのでしょうか。
- A3. 具体的には決めかねますが、おそらく利用者が10人以下ですと時間外にトレーニングルームを開けることは難しいでしょう。

提言

トレーニングルーム利用について、時間外は有料化して利用できるようにすることを提言します。

はじめは時間外利用の需要がどれほど見込めるかわからないため、プール施設のように特定の曜日に限り時間外利用（例えば19：00まで）を可能にするなど試験的に実施することを提言します。

また、時間外利用において利益が見込められればトレーニングルームの器具を新しくする元手にもつながると考えます。

参考（他大学の事例）

- ・名古屋大学（図3-3.2）
一般学生の利用時間は20：00までとなっています。

曜日	月	火	水	木	金	土・日	祝日
9:00		授業により 使用不可					
10:30	授業により 使用不可		授業により 使用不可				
12:00	一般学生及び教職員使用時間						
12:50							
13:00	授業により 使用不可	授業により 使用不可	授業により 使用不可	授業により 使用不可			
14:45	授業により 使用不可	授業により 使用不可	保健センター 使用のため 使用不可				
16:15							
18:30	一般学生使用時間						
20:00							

注1:青色の時間帯は使用許可申請をしなくても使用できますが、総合保健体育科学センターの都合により使用できない事もあります。
注2:土日のフリーウェイトルームは使用不可になります。

図3-3.2 名古屋大学のトレーニング室の時間割¹⁵

¹⁵ 名古屋大学 「2018年後期 トレーニング室の使用時間」：

<http://www.htc.nagoya-u.ac.jp/ground/schedule18Fall.pdf>

3. 施設関連

・北海道大学(図 3-3. 3)

トレーニング体育館の利用時間は平日 22 : 00 までとなっています。

利用案内 USER GUIDE

開館日・休館日

トレーニング体育館 (平日) 7 : 00~22 : 00、 (土・日・祝祭日) 9 : 00~22 : 00	
開館時間 部室・ミーティングルーム 9 : 00~22 : 00	
※開館時間は準備・片付けを含めた入館から退館の時間。	
休館日 年末年始 (12/28~1/4)、定期点検日、定期清掃日等	
各種申請 事務受付時間 平日 : 10 : 15~17 : 00	
※休館日時等は、「カレンダー」にて随時確認下さい。	

北海道大学
スポーツトレーニングセンター
〒060-0817
北海道札幌市北区北17条西13丁目
TEL 011-706-5590

トレーニング体育館

利用対象	北海道大学に所属する学生及び教職員
利用手続き	利用する際は、入館時に玄関内設置の「利用簿」に記入すること。
利用時持参物	運動に適した服装 室内用運動靴 タオル等
利用上の 注意事項	利用者は次の事項を遵守下さい。施設・備品・用具等を破損した場合、「当センター 事務室」へ必ず届け出なければなりません。弁償の責任は、本人が負う場合があります。

図 3-3. 3 北海道大学のトレーニング体育館の利用可能時間¹⁶

¹⁶ 北海道大学 「利用案内 - スポーツトレーニングセンター」 :
<https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/userguide.pdf>

学生の意見

- お祈りをする場所がほしいという意見が主に留学生の方から寄せられました（同様意見 25 件）。
 - I hope Tokyo Tech provide praying room which accessible during praying time.
 - It is necessary to provide prayer room for Moslem Students.

現状分析

ここではまずは、イスラム教に関する基礎知識と本学のムスリムの学生の現状についてそれぞれ説明します。

1. イスラム教に関する基礎知識^{17,18}

イスラム教は、世界三大宗教のひとつであり、その信者は多く、東京工業大学にもイスラム教徒（以降、ムスリムと呼ぶ）の方がいます。イスラム教には、五行という5つの義務行為（信迎告白・礼拝・断食・喜捨・巡礼の五つの具体的な行い）が義務付けられておりますが、ここでは提言の趣旨に合わせ五行の中の礼拝について説明します。

礼拝（アラビア語では「サラート」と言います）はムスリムの方にとって重要な行いと言われております。ムスリムの方は毎日決まった時間に5回のお祈りを行い、澄んだ心で真摯に神（アッラー）と向き合うことで、神の恩恵に預かるとされております。

- ・ ファジャル (Fajar) ・ ・ ・ ・ ・ 明けがたから日の出まで
- ・ ゾフウル (Zohar) ・ ・ ・ ・ ・ 正午から昼すぎまで
- ・ アッサル (Asar) ・ ・ ・ ・ ・ 昼すぎから日没まで
- ・ マグリブ (Maghr ib) ・ ・ ・ ・ ・ 日没直後
- ・ イシャ (Isha) ・ ・ ・ ・ ・ 就職前

5回のお祈りには上のような名称があります。礼拝の時間は毎日、場所や季節によって細かく変化します。また、日の出、日の入り、正午は礼拝してはいけなかったりと、礼拝の方法にも多くのルールが定められております。礼拝の前には手や口などを清めるウドゥーを行わなければいけません。イスラム教の礼拝は家の中でも、職場でも、田畑でも、どこでやってもかまいません。しかし、時間的に余裕があれば近くの本屋（礼拝堂）に行き、集団礼拝（複数人で礼拝すること）に参加しなければなりません。

イスラム教の礼拝は、1日5回の礼拝とは別に特定の行事にも礼拝を行います。その代表的なものがサラート・ジュモアと呼ばれる、金曜日の礼拝のことです。イスラム教では、金曜日は特別な日とされており、この日は集団礼拝に参加することになっております。この礼拝は、男性は全員参加が義務となっており、女性は任意参加となっております。

イスラム教の礼拝をどこまで厳密にやるかは宗派により異なるようです。しかしながら、お祈りはムスリムの方にとっては習慣ともいえるほど生活に密着したものです。この点が、キリスト教や仏教といった宗教と大きく異なる点であると考えます。

¹⁷日本アマディムスリム協会 ナレッジサイト :

<http://www.ahmadiyya.jp/%E3%82%A4%E3%82%B9%E3%83%A9%E3%83%A0%E6%95%99/%E7%A4%BC%E6%8B%9D/>

¹⁸ムスリムマーケット「ムスリムにとって金曜日が大切な理由とは？」 :

<http://muslim-jp.com/islam/fridayprayer.html>

3. 施設関連

2. 本学のムスリム学生の現状

本学の留学生の数は増加しており（図 3-4.1）、2018 年度には 1995 年度からおよそ 1000 人も多い 1664 人の留学生が在籍しています。そのため、イスラム教徒の学生数も留学生の増加とともに一定数いると考えられます。大岡山周辺には日本福音ルーテル大岡山教会というキリスト教会が存在しますが、イスラム教徒のための礼拝所は存在しません。また、すずかけ台キャンパス周辺にはキリスト教会もムスリムのための礼拝所もない状態です。

また、大岡山キャンパスに通っているムスリムの留学生等の意見から、現在ムスリムの方の礼拝はキャンパス内で行なわれてはいるものの、建物の屋上等の場所を一時的に貸し切った状態で行う等しているようで、環境は決して良いとは言えません。加えて、礼拝所がないことはムスリムの留学生を受け入れる準備が整っていないとみなされることにもなり、留学生の入学者数の減少に繋がる可能性があります。

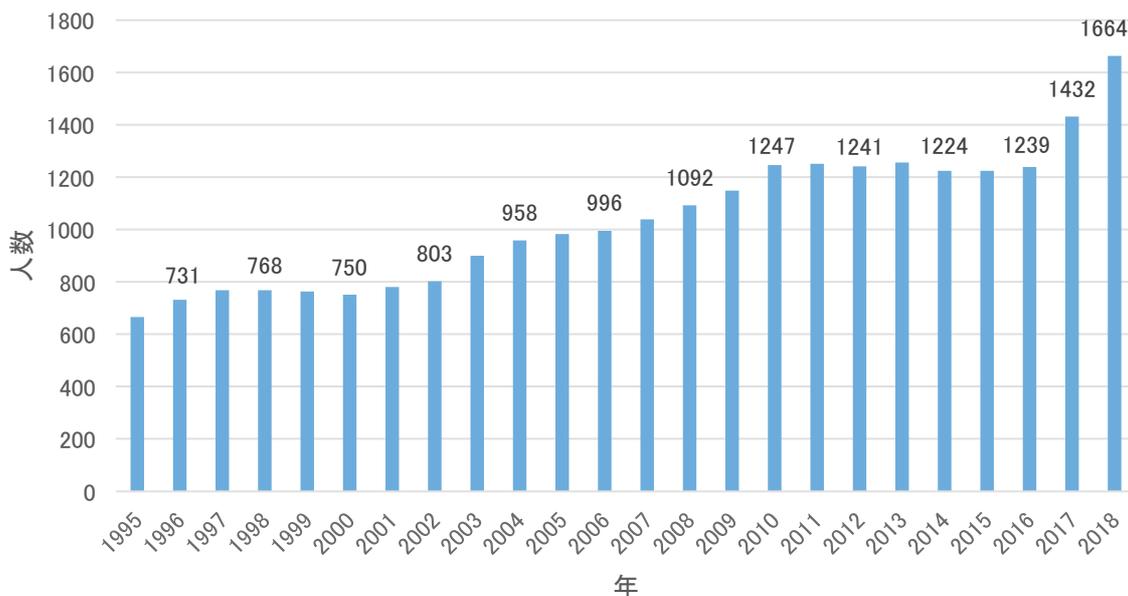


図 3-4.1 東工大の留学生者数の推移¹⁹

これらの現状を踏まえ、学生支援課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 礼拝所はなぜ大学内に設置されていないのでしょうか。

A1. 教育基本法の中に「国及び地方公共団体が設置する学校は、特定の宗教のための宗教教育その他宗教的活動をしてはならない。」という文言があり、これに則っているからです。

Q2. グローバル化を推進し留学生を多く受け入れる本学ならば留学生が生活しやすい環境を提供する必要があると思うのですが、実際に留学生に対してお祈りなどについての情報提供は行っていますか。

A2. お祈りの場所は公式に存在しないため、そうした情報も提供しておりません。

Q3. 礼拝所の設置は可能ですか。

A3. 他の国立大学でも設置が進められているので宗教を特定しなければ可能かと思われれます。東工大としてもこれから留学生を増やしていこうと思っておりますので礼拝所または瞑想室等の設置を検討していきます。

Q4. Taki Plaza など具体的に礼拝所の設置場所は検討中ですか。

A4. 現時点で、礼拝所を作るという議題が挙がったばかりなのでこれから検討していきます。ただし、Taki Plaza には礼拝所設置に優先して学生のイベントスペースなどを確保する必要がありますので、Taki Plaza 内に礼拝所を設置することは困難であると認識しています。

¹⁹ 東京工業大学 「東工大について 統計データ」：<https://www.titech.ac.jp/about/disclosure/facts.html>

提言

学内に礼拝所を設置することを提言します。

現状分析「2. 本学のムスリム学生の現状」では本学への留学生の減少可能性について危惧しましたが、逆に言えば、礼拝所を設置することで留学生の受け入れが増加し、本学の目指すグローバル化に貢献することができると思われます。また、イスラム教徒ではない学生が礼拝の習慣を目にすることで学生の異文化理解を促進させることもできるのではないのでしょうか。

キャンパスミーティングでもあがりましたが、法律上国立大学では特定の宗教ための活動を認めることができません。しかしながら、下の参考にも示すように、他の国立大学は特定の宗教を認めない形で礼拝所を設置しています。多様性を受け入れるための環境を作る、大学の柔軟性が求められます。

参考（他大学の事例）

- 京都大学²⁰
- 「Prayer room」という名前で、在学生・教職員向けに礼拝所を設置しています。
- 大阪大学²¹
礼拝室という部屋が存在します。「イスラム教学生の急増に伴い、大阪大学が2017年度に設置したもので、冷暖房完備の男性礼拝室、女性礼拝室および礼拝前に体を清める簡易設備、ハラルフードの冷蔵庫、礼拝用放送設備等を備えています」。
- 宮崎大学²²
「イスラム文化研究の拠点に 宮崎大に研究交流棟」「棟内には足洗い場も置き、礼拝が出来るように配慮。」
- MIT²³
MIT MSA (MIT Muslim Students' Association)という団体があり、学内のある礼拝所などで活動を行っています。
- ケンブリッジ大学
学内にキリスト教会とモスクのどちらもが存在しています²⁴。
ISOC PRAYER ROOM があります²⁵。

他にもいくつかの大学で礼拝する場所が設置されています²⁶。

²⁰ 京都大学「PrayerRoom」：

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/students2/campus/prayer_room

²¹ 大阪大学大学院 基礎工学研究科 物質創成専攻 機能物質化学領域 直田研究室 「2018年4月9日日本とインドネシアの理科高等教育に関する勉強会」：

<http://www.chem.es.osaka-u.ac.jp/soc/facility/recently.html>

²² 宮崎日日新聞「イスラム文化研究の拠点に 宮崎大に研究交流棟」：

http://www.the-miyanichi.co.jp/kennai/_6175.html

²³ MIT Muslim Students' Association：<http://msa.mit.edu/>

²⁴ Abu Bakr Siddiq Islamic Centre：<http://www.cambridgemosque.com/>

²⁵ Cambridge University Islamic Society, ISOC Prayer Room：<https://isoc.co.uk/life/isoc-prayer-room/>

²⁶ 総務省の調査結果「宗教的配慮を要する外国人の受入環境整備等に関する調査—ムスリムを中心として—の結果」：http://www.soumu.go.jp/main_content/000521418.pdf

学生の意見

- 食堂のメニューで増やしてほしいものに次の意見が寄せられました。
 - ハラルメニュー（同様意見 45 件）。
 - Vegan 料理（同様意見 6 件）。

現状分析

学勢調査 2016 では「ヘルシーメニュー等の充実」について提言しました。それに対する大学側の回答は以下の通りでした。

「ハラル推奨メニューは、東工大のムスリムの学生と約束事を決めてそれに従って提供をしております。（調理器具を含め、他の調理器具との併用はできないので）また、ハラル推奨メニューの提供に当たり調理のオペレーションが全く異なるために、単純にメニューの拡大は困難です。一方で、毎週メニューの変化を付けて提供しております。ムスリムでない学生も、既に多く利用しています」。

2019 年 12 月現在の生協食堂のメニューに、ハラルメニューは 2、3 皿しかありませんでした。また、Vegan 料理は取り扱っていませんでした。Vegan 料理とは、肉や魚に加え、卵・乳製品・はちみつといった動物性食品を一切使用しない料理のことで、他大学の学生食堂では提供がされています²⁷。生協食堂における野菜・サラダへの需要は高く（図 3-5.1）、Vegan 料理をメニューに取り入れることは難しくないと考えられます。

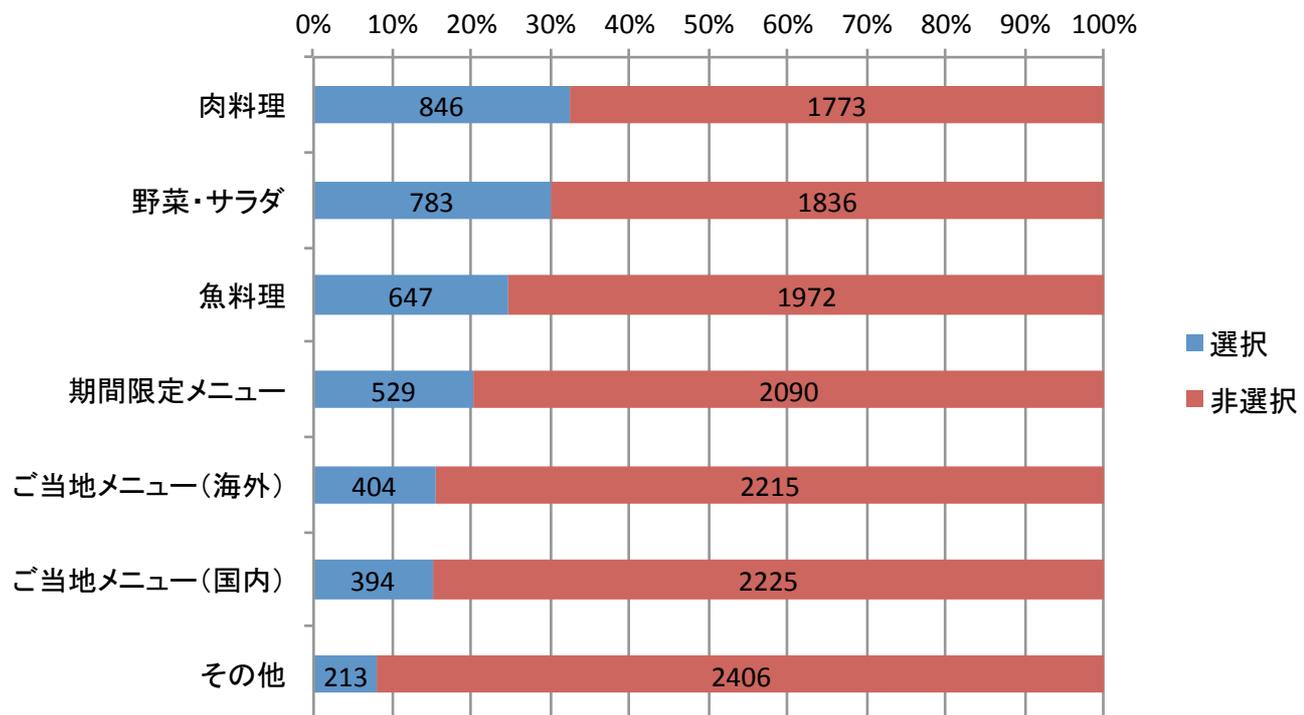


図 3-5.1 増やしてほしい生協食堂のメニュー

²⁷特定非営利活動法人ベジプロジェクトジャパン 2017 年 5 月 17 日の投稿：
https://www.vegeproject.org/sophia_uni/

これらの現状を踏まえ、大学生協の方とキャンパスミーティングを行い、以下の回答をいただきました。

Q1. ムスリムの学生とハラルメニューについて相談の場を設けることは可能ですか。

A1. ハラルメニューに関して、毎年の形で話し合いをさせていただこうと思っています。

Q2. ハラルメニューの調理はどうなっていますか。

A2. 調理について厳格に対応するのは難しいので、あくまで「ハラル推奨メニュー」という形でムスリムの方が口にしない食材を使ったメニューという形で提供しています。例えば、ハラルメニューを食べている人と相談し、調理器具は分けて使用していますが、洗浄する際はほかの皿と混ぜるといったある程度の妥協はしています。

提言

- 提言 3-1「キッチンカーの誘致」に沿う形で、ハラルメニューや Vegan 料理をキッチンカーによる弁当販売で対応することを提言します。
- また、ハラルメニューについては、今後ムスリムの学生と相談し、新メニューの検討することを提言します。

参考（他大学の事例）

ハラルメニューについては、大阪大学では大皿だけでなく、図 3-5.2 のようにサイドメニューを販売しています²⁸。また、上智大学では、ハラル弁当を専門業者にもってきていただき学内で販売していました²⁹。



図 3-5.2 大阪大学生協食堂部 ハラルメニューの例（左から唐揚げ，魚フライ，ローストチキン）

また、Vegan 料理に関しては、いくつかの大学でメニューが常設されているようです（図 3-5.3）³⁰。



図 3-5.3 京都大学の食堂における Vegan 料理の例

²⁸大阪大学生協生活協同組合「ハラルメニューについて」：<http://www.osaka-univ.coop/food/06.html>

²⁹一般社団法人ハラル・ジャパン協会「上智大学、学内にてハラル弁当の販売開始」：
<http://www.halal.or.jp/halalnews/halal/1879/>

³⁰東京ヴィーガンズ・クラブ「祝！東大に続いて京大がヴィーガンメニューを常設化！」：
http://vegan.japanteam.net/article_20150113.htm

学生の意見

- 附属図書館の空調について以下の意見があがりました。
 - ・ 空調をもう少し適当な温度に管理してほしい(同様意見 59 件。内、「暑い」等 40 件、「寒い」等 9 件)。
 - ・ 空気が悪い(換気が不十分) (同様意見 8 件)。

現状分析

「図書館の空調が強すぎる(弱すぎる)ので改善を要する」という提言は附属図書館が新しくなった後の学勢調査 2012, それに続く学勢調査 2014 においてなされました。そこでなされたキャンパスミーティングの重要と思われる内容をまとめます。

- 設計上は地下でも空気が循環するつくりになっている。
- 各階ごとの温度設定は可能だが、特に地上 2, 3 階は外気温に影響されるため自動での制御は困難。したがって人によるチェックや、扇風機の試験導入を行うことで改善を目指す。

2018 年の夏季には地上階において扇風機が導入されていましたが、学生からの空調についての意見数は学勢調査 2012 の 53 件、学勢調査 2014 の 71 件と大きく変わっていません。

また、附属図書館を週に 2, 3 日以上使用すると回答した人の男女比は図 3-6.1 のようになりました。

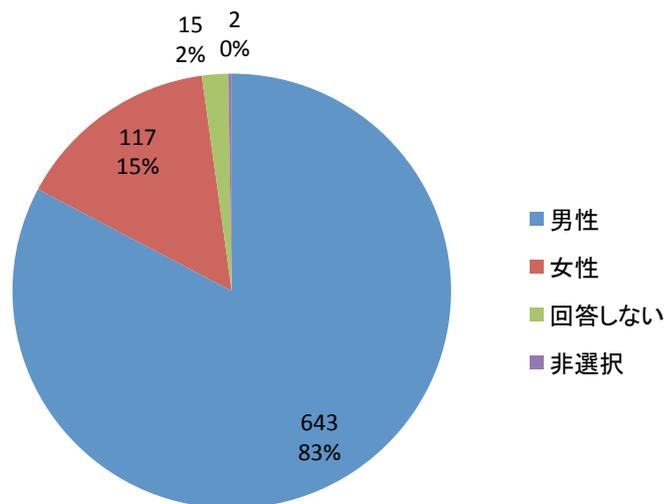


図 3-6.1 週 2, 3 日以上利用学生の男女比(回答総数 2619 名のうち 775 人)

男性利用者の比率が 83% ととても高いことがわかりますが、女性利用者も 15% 程度います。週 2, 3 日以上利用する学生の 6 人に 1 人は女性であり、基礎代謝の異なる男性と女性の双方が快適に図書館を使用できる空調とする必要があります。

さらに、今回の自由記述において体感温度についての記述は「暑い」40 件、「寒い」9 件となっています。これは今回の学勢調査 2018 の実施時期が 6 月 11 日から 7 月 11 日までと、気温・湿度の高かった時期であったためと考えられますが、冷房があまり効いていないと感じる人もいれば逆に寒すぎると感じる人もいるということも考えられます。

以上のことから、寒暖のムラを少なくするための対策が十分に機能しているとは言えず、附属図書館内の空気の循環が不十分であると考えられます。利用者の性別や個人の体感温度の違いを克服でき、附属図書館を学習環境としてより良いものとするような対応が求められます。

これらの現状を踏まえ、附属図書館とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 学勢調査 2014 のキャンパスミーティングにおいて「扇風機の導入を考えている」とのことで、実際に扇風機を導入されたようですが、同年に提言した断熱フィルムの使用についてはその後どう検討されましたか。

A1. 断熱フィルムに関しての議論は進んでいませんが、代わりに、今まで設置されていなかった場所へロールカーテンを増設しました。断熱フィルムについては費用対効果の大きさが不安です。

Q2. 館内の空気が淀んでいるように感じるという意見があったのですが、換気はいつもどのくらいの頻度で、どのように行っているのでしょうか。

A2. 換気は機械によって常時行っています。地下については自然換気口からも行っています。紙資料の性質（ほこりのたまりやすさ）も原因の一つと考えられます。

提言

1. 現状分析で述べた通り、館内の空調を適切な温度設定にしようとしてもどうしても場所による寒暖差が出てしまう問題があり、体感温度の個人差が原因であると考えられます。これを解決するために「ブランケットの貸し出し」を提言いたします。

国公立大学附属図書館等において無料でブランケットの貸し出しを行っている例としては、

- ・ 千葉大学附属図書館(図 3-6.2)
- ・ お茶の水女子大学附属図書館
- ・ 金沢大学附属図書館
- ・ 鹿児島大学附属図書館
- ・ 筑波大学大塚図書館
- ・ 京都大学理学部中央図書室
- ・ 愛媛県立医療技術大学図書館
- ・ 富山県立大学附属図書館



図 3-6.2 千葉大学附属図書館：ブランケット貸し出しの様子

などが挙げられます。女性が多く、膝掛けの需要が高いと考えられるお茶の水女子大学や、生徒数が本校を上回る金沢大学や鹿児島大学の附属図書館においてもこの取り組みがなされていることは注目に値します。また、ブランケットは当然ながら電気を必要としないので、節電に貢献できます。

さらに、効果的なブランケットの使用のために、季節ごとに空調設定と合わせた具体的対応策を提案いたします。冬季は空調の設定温度を低めに設定して消費電力を抑え、利用者にはブランケットで対応してもらいます。それにより換気を効率的に行えるようになります。また、地上階からの熱の発散が多くなりますので、地上と地下とで設定温度を分け、地上階の設定温度を高めに設定しておきます。一方、夏季は特に地上階と地下の温度差が激しくなりますし、太陽光が当たることによる体感温度の上昇が懸念されますので、地上階の設定温度を低く設定しておきます。エアコンの苦手な人にはブランケットで対応してもらうことができます。

利用者の体感温度は気温だけでなく、日当たり、湿度、その人の基礎代謝などで総合的に決まってくるものです。図書館が暑い・寒いといった感覚は個人によるところが大変大きいので、職員が実際に巡回をして適切だと判断した温度でも、学習に支障をきたすほどに寒い・暑いと感じている人が存在しているのが実情です。そこで、館内の空調を最適化するとともに、利用者個人が自分に合わせた対応ができる環境づくりの一環として以上のことを提言致します。

キャンパスミーティングにおいて、附属図書館側から

「衛生面に不安が残る。洗濯頻度をどうするか、男子が使用したひざ掛けを使いたくない女子もいるのではないか」

という意見をいただきました。

ブランケットは頻繁に洗濯を必要とするほど汚れやすいものでも、感染症の主原因となるような用途でもないことから、洗濯頻度は半年に1回程度で充分であると考えられます。また、女性利用者の懸念への対策は、一部のブランケットをカウンターで女性専用として管理・貸し出せば解決できると考えられます。

3. 施設関連

2. キャンパスミーティングにおいて、ブランケットの貸し出しを提案したところ、附属図書館側としては冬の寒さよりも、冷房機能で対応しきれないほどの夏場の気温の高さの方を問題視されていました。
そこで、暑さについても個人レベルでの対応を可能にするため、「団扇の貸し出し」を提言いたします。実際に上述の千葉大学附属図書館等では夏場には団扇の貸し出しを行っているそうです。空調設備を最大限使用してもまだ暑いという事が2018年の夏は多かったので、個人の体感温度に合わせて団扇を使用してもらうというのは費用面でも良い策だと考えられます。
3. 空気のだよみに関して、「観葉植物の増設」を提言いたします。現在の附属図書館は全体的に無機質な内装となっており、館内に本物の植物はほとんど存在していません。そこで、日当たりのよい窓際のスペース等に観葉植物を増設することによる館内の空気改善と、副次的効果として植物を見ることによる心理的ストレスの軽減が期待できます。

図書館についてのその他の意見

学勢調査2018では提言にすることを見送った、附属図書館に対する他の意見についてもまとめさせていただきます。

最も多く寄せられた、ごみ箱再設置の意見について説明します。

1. ごみ箱を再び設置してほしい（同様意見72件）。

2018年4月に男子トイレのごみ箱が撤去されてから調査まで日がなかったため、今回の学勢調査では図書館に対しての最も多い意見となりました。

ごみ箱撤去の主原因は、本来図書館で出るはずのない弁当や飲み物の空き容器を捨てる人が多く、ごみ箱があふれてしまったためでした。しかし、図書館を学習の場として活用する方々からは「消しかすを捨てたい」という声が多く上がりました。そこで、現状を改善するために、

- カウンターに消しかす用の小さいごみ箱を設置する
- 消しかすを入れておく用のコップを貸し出す（図3-6.3）

の2つを提案いたします。ごみのサイズを制限し、職員の目の届く場所で管理することにより、ごみ箱があふれてしまうことを防げますし、書籍を置くためのスペースが不足することはありません。

その他の意見として、以下のような意見が寄せられました。

2. 開館時間を延長してほしい（同様意見57件）。
3. 地上2階が騒がしい（同様意見34件）。
4. 椅子が固い（同様意見8件）。
5. 図書館にもプリンターがほしい（同様意見4件）。
6. 使用ルールが分かりにくい（同様意見3件）。
7. トイレの掲示が高圧的で不快（同様意見2件）。



図 3-6.3 千葉大学附属図書館における消しかす対策の例

4. サービス関連

学生の意見

- ペーパーレス化について以下の意見が寄せられました。
 - 大学院授業科目としての認定願（様式 8 号）をペーパーレス化してほしい（同様意見 5 件）。
 - 勤務報告書をペーパーレス化してほしい（同様意見 2 件）。
 - 海外大学への出願のために成績証明書が必要であり、現状だとスキャンをしなければいけない。

現状分析

近年の情報化社会の発展に伴い社会全体におけるペーパーレス化が拡大しています。これまでの学勢調査では本学における様々な書類に対してペーパーレス化を推し進める提言を行なってきました。その結果として履修申告や講義室予約など申請業務の WEB 化が実現されました。今回の提言では新たに 4 つのペーパーレス化（様式 8 号・成績証明書・卒業証書・勤務報告書）を提言します。

まず様式 8 号について説明します。様式 8 号とは、学部時代に受講した大学院科目の単位認定を申請する書類（図 4-1.1）のことです。様式 8 号では申請科目毎に書類を作成するため、一人当たり複数枚必要となることが予想されます。記入・署名の手間を考慮すると手続きの簡略化による効果は大きいと考えられます。

様式 8 号
Course Administration Form No.8

大学院授業科目としての認定願
A request to approve as a Graduate School Course

平成 年 月 日
Datajyy-mm-ddj

学院長 殿
To the Dean,

入学年度： 年度
Year of Admission

学 院：
School of

コース：
Graduate major in

学 籍 番 号：
Student ID No.
ふりがな

氏 名：
Name

田 Seal

私は本学 _____ 学院(学部) _____ 系(学科)在学中に「東京工業大学学士課程の学生が大学院授業科目を履修する場合の取扱い」に基づき、大学院授業科目を受講し試験に合格しましたので、大学院授業科目の単位として認めていただきたく申願いたします。
I hereby request for a permission to approve below Course as a Graduate School Course.

記

科目コード Course Number	授業科目名 Course Title	単 位 Number of Credit	担当教員 Instructor	受講年度・学期・クォーター Course attended Academic Year/Semester/Quarter	
				年 度 Year	学期・クォーター Semester/Quarter 1Q - 2Q - 3Q - 4Q

【提出時期：学習申告期間中に提出】
Submit within the Course Request Period.

図 4-1.1 様式 8 号(教務 WEB システムより)

4. サービス関連

続いて、成績証明書・卒業証書について説明します。海外の大学では証書を電子化する流れがあります。例えば、マサチューセッツ工科大学は2017年からBlockcertsというブロックチェーン技術を活用した国際規格のシステムを利用して卒業証書を電子化しました³¹。海外留学に向けた出願では電子化された成績証明書を提出する機会が多いため、本学学生は紙面の成績証明書をスキャンして電子化して提出しなければなりません。スキャンされた画像データは読み取りの手間が発生するため、出願先にも手間をかけさせることとなります。成績証明書のデジタル証明書化を行えば原本を送付する必要もなくなり手続きとしても大幅な効率化が見込まれます。

続いて、勤務報告書について説明します。勤務報告書とは学生アシスタントとして従事した事を報告するための書類です。この書類は月ごとに作成を行うため提出頻度が高くなります。経理的な書類であるため保管にかかるコストが発生します。

これらのペーパーレス化に伴う問題点は署名をどのように行うかという点です。上に述べた書類の多くは署名を必要とします。これらを解決する方法として手続きの簡略化とデジタル署名が考えられます。手続きの簡略化は書類の役割を考え慎重に行わなければなりません。様式8号について言えば署名による承認を必要としないため、WEB上で完結することが可能です。デジタル署名は機器を購入すれば電子的にサインすることが可能であり、印刷・スキャンの手間が削減できます。近年のペーパーレス化の流れを受け様々な専用機器が流通しており、これらを導入することは困難ではありません。

これらの現状を踏まえ、教務課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 様式8号の手続きをWEB上で完結することに対して問題点は考えられますか。

A1. 様式8号の電子化については前向きに検討させていただきます。

Q2. 成績証明書のペーパーレス化について問題点は考えられますか。

A2. どのような案件で電子的な成績証明書が必要となるのか把握出来ていないので、具体的にイメージすることが出来ません。

Q3. 特殊な案件ではありますが、海外大学への出願の際に必要なになります。この時、原本も送付する必要がなくなり多くの手間が削減できます。このような場合ではいかがでしょうか。

A3. 検討してみます。

また、人事課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 勤務報告書の手続きをWEB上で完結することに対して問題点は考えられますか。

A1. 2019年4月からの働き方改革を受けて教職員の勤務状況をしっかり把握しなければならなくなったこともあり、勤務報告の手続きをWEB上で行う手続きの検討を始めています。現在、他大学を視察し、他大学の動向も踏まえ検討している最中です。しかしながら、まずは教職員の方を先に導入することを考えていますので学生の方の導入は遅れることが予想されます。

提言

様式8号・成績証明書・卒業証書・勤務報告書の4つの書類についてペーパーレス化を提言します。

- ・ 様式8号の手続きを簡略化し、WEB上で作業を完結させる。
- ・ 成績証明書をデジタル証明書化しWEB上から入手できるようにする。
- ・ デジタル署名を行えるように機材を導入し、勤務報告書などの書類をペーパーレス化する。

³¹ MIT News 「Digital Diploma debuts at MIT」 :

<http://news.mit.edu/2017/mit-debuts-secure-digital-diploma-using-bitcoin-blockchain-technology-1017>

学生の意見

- ・ OCW-i にある未提出課題の非表示機能をつけてほしい（同様意見 4 件）。
- ・ OCW-i にある講義資料の名前が全部「添付資料」になっており紛らわしい（同様意見 8 件）。

現状分析

学勢調査 2018 における OCW-i に関する調査項目として、「東工大ポータル（メール、教務 Web、OCW-i、SSL-VPN、学修ポートフォリオなど）を良くするために意見があればご記入ください。（2000 字以内）」の自由記述（以下、東工大ポータル自由記述）について分析します。

まず、東工大ポータル自由記述の回答における単語の出現回数のグラフ（図 4-2.1）、および共起ネットワーク（図 4-2.2）を示します。

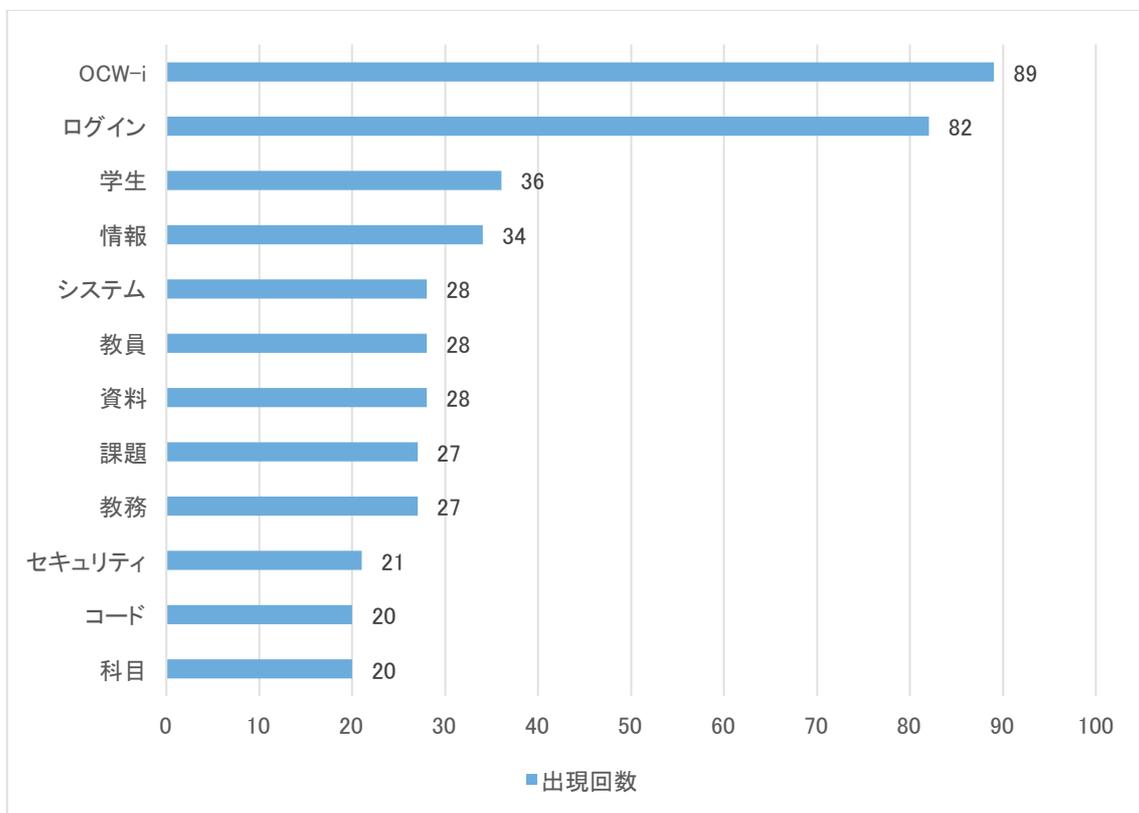


図 4-2.1 東工大ポータル改善の自由記述中に出現する単語の出現回数（20 回以上）

学生の意見

キャンパス無線 LAN の環境への意見として次の意見が寄せられました。

- ログイン画面にすぐに繋がらない（同様意見 28 件）。
 - ・ WEB にアクセスした際にすぐにはログイン画面には繋がらず、試行錯誤をしているうちに移行する。
 - ・ アドレスが「https」のものでは繋がらないが「http」のものは繋がる。
- 接続がすぐに切れる（同様意見 16 件）。
 - ・ 移動するとログアウトする。
 - ・ パソコンのログオフ時にログアウトする。

キャンパス無線 LAN が繋がりにくい場所として次の場所が指摘されました。

- 本館中庭講義室(H102・H103・H104)（同様意見 24 件）。
- 第 2 食堂（同様意見 10 件）。

現状分析

本学には TokyoTech と呼ばれるキャンパス無線 LAN が整備されています。このキャンパス無線 LAN は学生や教職員のアカウントでログインすれば無料で利用できるサービスです。本提言では学生が不便であると感じている、ログイン・セッションアウト・電波領域の改善について分析します。

まずログインについて説明します。キャンパス無線 LAN を利用する度にアカウントにログインする必要がありますが、そのログイン画面に「繋がりにくい」という声があがりました。原因としてサイトが重い可能性・移行の条件が問題である可能性が考えられます。サイトに関して言えばログイン画面は利用条件とログインのみ行えばよいことから画像をなくすなど読み込みデータ量を削減することが可能です。次に移行の条件に関して、「繋がりにくい」という意見の中には「WEB にアクセスした際にすぐにはログイン画面には繋がらず、試行錯誤をしているうちに移行する」との声や、「アドレスが『https』のものでは繋がらないが『http』のものは繋がる」との声がありました。詳細な原因は不明ですが移行の条件を見直すことによって改善する可能性があります。

次にセッションアウトについて説明します。セッションアウトはログインしてから長時間経つ・パソコンの無線 LAN 機能がオフになる等の操作によって自動でログアウトされる事を指します。今回、「接続がすぐに切れる」との意見がありました。これはセッションアウトによる現象であると考えられます。この問題は上で述べたログインの問題と直結する問題でもあります。この問題について様々なケースごとに原因を考えます。まず時間が経過するとセッションアウトする件はセッションタイムアウトの設定時間を延ばせば良くなります。具体的には講義時間の 90 分より長い時間に設定すれば良いと考えられます。次に「移動するとログアウトする」との意見があがりましたが、これは無線 LAN のルーターを切り替えた時にセッションアウトしたことが原因であると考えられます。この場合 2 つのルーターの電波領域に重なる場合、頻繁にセッションアウトする可能性があるため見直しが必要です。「パソコンのログオフ時にログアウトする」との声があがりましたが、これはパソコンの無線 LAN 機能がオフになった際のセッションアウトであると考えられます。この現象は講義中に良く起こると考えられます。講義を受講している間パソコンを操作しないため自動ログオフが発生し無線 LAN からセッションアウトされるためです。受講する際に支障を来すため改善が求められます。

次に電波領域の改善について説明します。キャンパス無線 LAN は多数のルーターから発せられる電波領域でキャンパスを覆うことによって広く利用できるようになっています。しかしながらルーターの個数には限りがあるためキャンパス全域を覆うことができません。そこで非常に多く不満の声が上がった本館の地階を重点的に拡充すれば良いと考えられます。具体的に言えば、H102・H103・H104・第 2 食堂です。H102・H103・H104 は本館の中庭部分にある講義室であり、寄せられた意見の中でも群を抜いて多く挙げられました。第 2 食堂は食事する場所であるがフリースペースとして活用する学生も多くなっています。そのため、無線 LAN 環境は重要となります。

4. サービス関連

これらの現状を踏まえ、情報基盤課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

- Q1. すぐにはログイン画面には繋がらず、試行錯誤をしているうちに移行するそうですが何か原因は考えられますか。
- A1. 2018年の無線は全体的に調子が良くはありませんでした。まずログイン画面に移行の条件を設定する際、「http」と「https」のポートを選択して設定を行いますが、昔は両方とも選択していました。しかし、2018年はOSの不具合により重くなってしまったので「https」の転送を止めました。そのため「http」に繋がるとログイン画面に移行します。ホームページ等で掲示³²を行っていますが認知は不十分なようです。次のメジャーアップデートで解決されると聞いています。
- Q2. セッションタイムアウトの時間はどのくらいありますか。
- A2. セッションタイムアウトの時間は4時間あります。よってセッションタイムアウトが講義に支障をきたすことはほとんどないと考えられます。
- Q3. 移動等でキャンパス無線LANのアカウントから頻繁にログアウトされることについて改善することはできないでしょうか。
- A3. 無線LANのアカウントからログアウトされる要因はアクセスポイントの切り替え等が考えられます。WEB認証しなくても裏で自動再ログインをする機能もあり考慮しています。懸念点として、現在の認証システムは情報が漏れないように何重にもセキュリティーをかけているため難しくなっています。認証システムを変更すると安全性を低下させてしまう恐れがあります。また学生が利用規約や注意勧告を見なくなってしまうのも問題点となります。
- Q4. ログイン画面を軽量化できないでしょうか。
- A4. 近年ネットワーク上の事件が大きな課題となっています。学生を巻き込まないためにも少し厳しめのルールを設定していますが、ルールを守らない学生がいるため利用規約・注意勧告を表示させておく必要があります。また、ネットワークの利用の倫理面に気づき日頃から意識を持って利用して頂くためにも利用規約・注意勧告は目につくようにするのが教育的であると考えています。
- Q5. 本館中庭の講義室や第2食堂の無線LAN改善に関する意見が多くなっていたことに関して原因は考えられますか。
- A5. 付近のアクセスポイントを調べて見ましたが特に混雑した様子は見られませんでした。しかしながら、実験装置や電子レンジなどの電磁波によって障害となっている場合があります。

提言

以上を踏まえて次のように提言します。

- ・ 自動ログインを導入し、定期的に利用規約・注意勧告のページを表示するようにする。
- ・ 電磁波を出す装置を調べ、電磁波を遮断するためのシールドを設置する。

³²東京工業大学 学術国際情報センター「TokyoTechの障害及びメンテナンスについて」：
<http://www.noc.titech.ac.jp/info/trouble/20181017.html>

学生の意見

履修申告制度の改善について次の意見が寄せられました。

- 2Q・4Qの履修申告は2Q・4Qの初めの時期に行うようにしてほしい(同様意見 85 件)。
 - 先の予定が分からない(同様意見 7 件)。
 - 授業を受けてから決めたい(同様意見 11 件)。
 - 追加申告や履修取り消しの手間がかかる(同様意見 18 件)。

現状分析

学勢調査 2018 において、履修申告制度の満足度は図 4-4.1 のようになりました。回答者の約 75%が履修申告制度に満足している一方で 25%が不満足に感じています。自由記述による回答には 2Q・4Qの履修申告制度に関する意見が多く寄せられました。特に多かった意見として「2Q・4Qの履修申告は2Q・4Qの初めの時期に行うようにしてほしい」との声がありました。学勢調査 2016 においても同様の意見が多数報告されました。学勢調査 2016 のキャンパスミーティングでは教務課から「1Q・3Qの履修申告と同様の操作が2Q・4Qの履修申告においても可能である」との回答が得られました。そのため前回の調査から今回の調査まで履修申告制度の大幅な変更は行われませんでした。さらに、1Q・3Qの履修申告と2Q・4Qの履修申告を分けて行う場合、手間が増えたと感じる学生も存在する可能性があり、約 75%の学生が満足している履修申告制度の変更には慎重な対応が求められます。そのため今回の調査ではより詳細な分析をもとに提言を行います。

「2Q・4Qの履修申告は2Q・4Qの初めの時期に行うようにしてほしい」との意見には「先の予定が分からない」、「授業を受けてから決めたい」、「追加申告や履修取り消しの手間がかかる」との理由が併せて記されていました。まず「先の予定が分からない」、「授業を受けてから決めたい」については追加申告・履修取り消しによって解決できるように思えます。次に「追加申告や履修取り消しの手間がかかる」に関しては、履修申告を分けても手間は増えることを考慮すれば、単純に1Q・3Qの履修申告に比べて追加申告・履修取り消しの操作が複雑であることが根本的な問題であると考えられます。そのため1Q・3Qの履修申告と同様の操作が2Q・4Qの履修申告においても可能なのであれば同様のユーザーインターフェースで操作することが可能であり、そのように変更すればこの問題は解消されと考えられます。1Q・3Qの履修申告の初めに2Q・4Qの履修申告をまとめて行い、2Q・4Qの履修申告については「更新」との形で同様のユーザーインターフェースで操作出来るようにすれば、追加申告・履修取り消しをまとめて行うことが可能になり、時間割形式で講義の配置を確認できることから予定の調整も行いやすくなります。1Q・3Qの履修申告の初めに2Q・4Qの履修申告をまとめて行いたいと考える学生の手間も増えません。

また別の意見として、「2Q・4Qには仮登録制度がない」との声も寄せられました。仮登録制度とは授業を予め組み本登録まで保存出来る制度です。仮登録を行えば本登録しなくても講義資料などを受け取ることが出来ます。現在の制度では追加申告に仮登録制度がなく、授業予定を組み試行した後に本登録することも、本登録まで講義資料など受け取ることも出来ません。このことは2Q・4Qの履修申告において1Q・3Qと同様の操作が出来ない一つの事例となっています。こちらの問題についても上で述べた「更新」の制度に仮登録制度を追加すれば解決可能です。

4. サービス関連

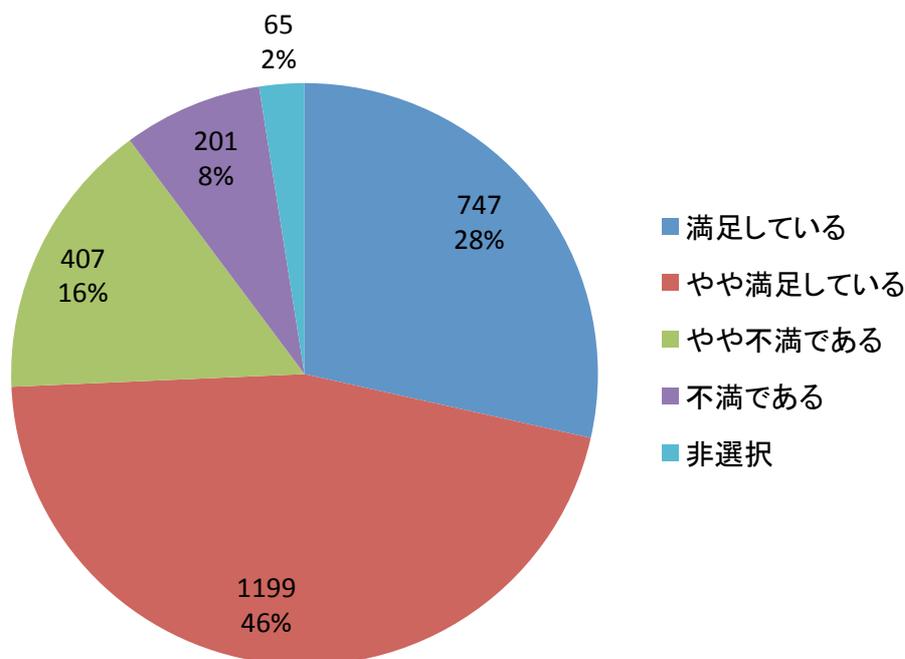


図 4-4.1 履修申告制度の満足度

これらの現状を踏まえ、教務課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 学勢調査 2016 では「更新」システムを提言しましたが、実現しなかった理由を教えてください。

A1. 2Q, 4Q の履修に関して「更新」のシステムですと全ての科目をまとめて操作しなければなりません。現在のシステムではそれぞれの科目に対して変更を決意した時に随時変更を行うことが出来ます。まとめて変更する場合は一度に全ての科目に対して考慮しないといけないため難しくなることが考えられます。

Q2. 2Q, 4Q の更新に対しても 1Q, 3Q の履修登録の際と同様に「仮登録」システムを採用すれば良いのではないのでしょうか。履修の変更を検討している際に仮登録し、その計画で活動し問題ないと判断した際に「本更新」を行えるようにすれば難しくないと考えます。

A2. 1Q, 3Q の履修登録でも同じですが、一時保存をしても本登録をしないと反映されません。リマインドを送っているのですが忘れてしまう学生もいます。その点を考慮すれば 2Q, 4Q の更新はシンプルにした方が学生にとっても運用がしやすいと考えています。また一時保存をして本登録が出来なかった学生が現れた際の処理についても難しくなります。

Q3. 2Q・4Q には「仮登録」システムがなく、講義資料を OCW-i から受け取れないという学生がいます。追加申告を考える際に受講している学生と不平等であるのは判断の妨げになると考えられます。受講していない学生が資料を受け取ることに問題点はありますか。

A3. 授業を執る教員方の対応が難しくなることがありと考えられます。

提言

2Q, 4Q の履修変更の際に、追加申告を考えている学生と元々受講している学生に情報の格差が生じている現在のシステムは問題があります。追加申告を考えている学生にも OCW-i から講義資料を配布するために「仮登録」システムを導入し、元々受講している学生と同じ環境で学習出来るようにすることを提言します。また、これが実現すれば追加申告を考えている学生も初回の授業に OCW-i からレポートを提出することが可能になります。

続いて 2Q, 4Q の履修変更について、科目ごとに履修を随時変更する方法では全体を俯瞰しながら履修計画をするという意識が低下してしまいます。全体を俯瞰しながら予め履修計画を試行したり、まとめて履修登録を変更したりすることが出来た方が便利であると考えられます。一時保存をして本登録が出来なかった学生が発生することも考えられますが、1Q, 3Q の履修登録と同様の追加申告・履修取り消しの手続きを導入すれば個別に対処できると考えられます。これらを踏まえて「更新」システムの導入を提言します。

学生の意見

- (学士課程学生から) どのように防災訓練に臨めばいいのかよくわからなかった (同様意見 10 件)。
- 防災訓練後、個人の行動に関してフィードバックが必要ではないか。
- より詳しい災害マニュアルがほしい (同様意見 10 件)。
- 近隣住民の避難も考慮した訓練も行うべき (同様意見 2 件)。
- 系ごとにリスクについて考える機会を設けるべき。

現状分析

地域の消防署から消防車の出勤を依頼して災害救助訓練を行ったり、数年にわたり学生ボランティアグループも実施協力していたりいるなど、本学での一年に一度の防災訓練については改良がみられますが、より洗練された訓練を望むような声が寄せられました。一方で、教職員の防災意識がまだまだ低い、学勢調査 2016 でも指摘を受けた点が改善されていない、参加学生が回答者の約半分と少ないなど未だ問題点も見られます。学士課程学生の参加をより促す一方、学生ボランティアグループや教職員、研究室との密な連携を行いながら、来る災害に備える必要があると考えられます。

これらの現状を踏まえ、安全企画室とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

- Q1. 避難訓練中も学士課程の授業が平然と行われている教室がある、また研究室の学生を誘導するために教員が早く授業を終わらせ、学士課程の学生はどう行動すればいいのか指示がないため避難訓練にうまく参加できないなど、学生から不満の声が上がっています。教員の防災意識の低さが伺われます。学士課程の学生の誘導も含め避難訓練を行うべきと考えますが、何か対策はありますか。
- A1. 事前準備として、キャンパスマネジメント本部総合安全管理部門主催の防災訓練実施ワーキンググループを開いています。防災訓練当日に授業を担当する教職員の方々には、受講している学生の誘導を行うよう、例年前もって協力を依頼しています。学生に対しても事前に防災訓練の日時を大学のホームページや東工大メールニュース、学内のポスターや電子掲示板等で連絡しているので、先生方の指示を仰ぐだけでなく、積極的に参加、行動していただきたいと考えています。
- Q2. 入学時に「大地震対応マニュアル」「健康・安全手帳」「緊急連絡・大地震時 安否確認票」が配られるとのことですが、目を通していない学生がほとんどというのが現実の様です。そのような中で避難経路を記載してある詳しい災害マニュアルを望む声が見受けられます。このような詳細な災害マニュアルは存在するのでしょうか？
- A2. 入学時に配布している資料に加え、有事の際に参考にしていただくための避難経路図を各教室に提示していますが、あまり学生の目についていないのが現状と思われます。各避難場所は主として各建物等の自衛防災地区隊で検討し防災訓練実施ワーキングで決定、周知されていますが、どの避難場所に避難していただいても構いません。有事の際はあらかじめ指定された避難経路が使えない可能性もあるため、どの避難場所にどの経路を通るかは、避難する人自身が臨機応変に対応する部分もあると考えています。
- 地震対応マニュアルの詳細な冊子は東工大ホームページの教職員向けページ (学内 LAN からなら学生もアクセス可能) で公開されていますが、学生用に特化した内容にはなっていません。まずは簡易版のマニュアルに積極的に目を通して頂き、その後、講義室等の避難経路の図面確認や、研究室内でどのように避難するか等を話し合うなどして頂けると幸いです。
- Q3. 避難経路はどのように決められているのでしょうか？
- A3. 講義室からの避難経路については、教務課職員が実際に構内を歩き、出口に人がたまりすぎないように考え、より適切と思われる避難経路を検討したものです。各建物・避難場所への経路については、各学院や建物等の自衛防災地区隊で検討頂いています。
- Q4. 避難経路が危険な場所を通っている、研究室ごとのリスク評価も公開してほしいという声が見受けられます。避難経路を決定する際、研究室との打ち合わせはあるのでしょうか？

4. サービス関連

- A4. 各建物内の避難、防災に関しては各建物等の自衛防災隊を中心に対策を講じてもらっていますが、研究室ごとの打ち合わせを行っているところについて安全企画室で詳細は把握していません。実験内容や薬品、器具の危険性については、実験する方々が一番わかっていると考えています。各研究室でリスク管理をお願いすると共に、指導教員ともよく相談し、各自が自分の実験、行動に責任を持ってほしいと考えています。
- Q5. 近隣住民の避難や帰宅困難になった場合の体育館の間仕切り設置なども考慮した訓練を望む声が見受けられます。このような避難後の災害マニュアルは存在するのでしょうか？
- A5. 東日本大震災の際は避難されてきた地域住民の方に使用可能な会議室を避難所として開放する、備蓄品を提供するなど行った経験があり、近隣住民の避難も考慮した対策を準備しています。
- Q6. 防災訓練に対する個人用のフィードバックシートの作成を望む声が見られます。今後フィードバックシートを作成、配布することはできますでしょうか。
- A6. 盛り込む内容を含め、今後の防災訓練から検討したいと思います。

提言

災害に備え、綿密な対策を考えることは重要でありながら、災害マニュアルに記載されている避難経路が使用できない場合や、マニュアルに忠実に従えば逆に危険である場合も有事の際は考えられます。学生側から詳細な災害マニュアルを求める声がある一方、大学側からは避難経路や有事の際の行動指針を一律に決めつけることは難しいという、認識の違いが見受けられました。

いざ災害が起こったときは、自分の身をまず守るため、そして周りへの影響も考慮し被害を最小限に抑えるため学生自身の臨機応変な対応が重要です。各自が改めて緊急時の行動を見直す重要な機会として、防災訓練に臨む学生を増やすとともに、各人が自主的な行動をとれるよう、大学側、そして学生側双方からの働きかけが重要と考えられます。

各学生は自身が使用する実験器具や所属する研究室全体のリスク管理について責任を持ちつつ、自身の身を守るために避難場所・避難経路について認識しておくことが必要です。学内で掲示されている情報には注意してみることを心掛け、互いに情報共有することが大切です。そして防災訓練の時だけでなく、日ごろから安全対策について考える必要があります。

また研究室に所属していない学士課程学生の、防災訓練に参加しづらいという現状も大きな問題です。大学側には以下の項目について提言します。

- ・ 防災訓練当日授業を受け持つ教員には、受講している学士課程学生の引率を優先する。各研究室では教員が不在の時を想定し、自主的に避難できるよう引率者をあらかじめ、決めておくことを義務付ける。
- ・ 日ごろから各自の安全管理を喚起する情報を流す。
- ・ 防災訓練後に各自が行動を振り返ることができるフィードバックシートを作成・配布する。
- ・ 現在連携をとっている地域の消防署と協力し、学生に有事の際の行動について考える機会を設ける。特に学士課程学生にとって避難訓練と合わせた自分の身の安全を考える機会を提供することは重要と考えます。

5. 調査資料集

本章では、2018年6月11日から同年7月11日にかけて行われた学勢調査2018アンケートの集計結果を掲載します。ここに掲載する集計結果は、自由記述の調査項目以外の結果全てです。集計結果のグラフや表中の数字は該当選択肢への回答者数です。今回の総回答者数は2619名です。一部の調査項目は表記の都合上、実際の質問文とは表現が異なる場合があります。

5.1. 基本情報

(1) 現在あなたの所属している課程を教えてください。

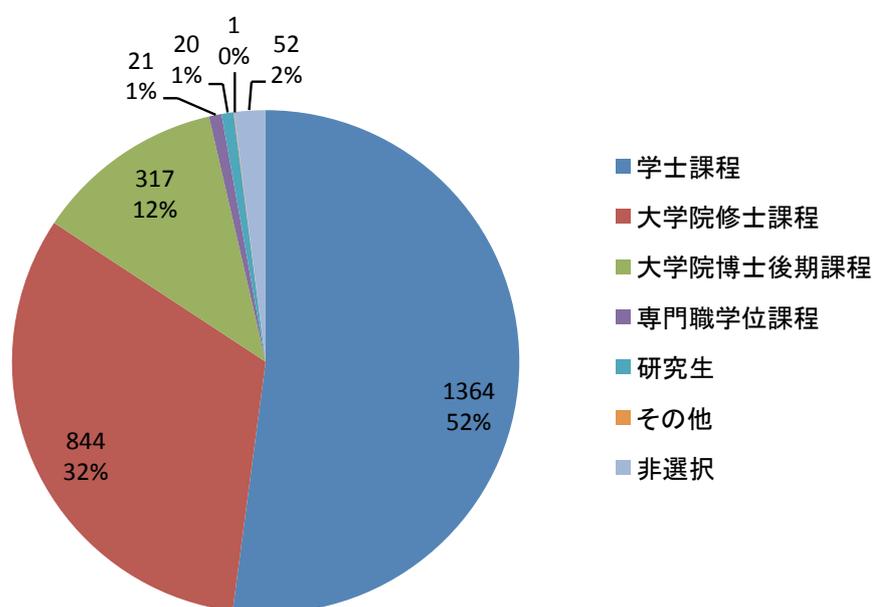


図 5.1.1 回答数

(2) 現課程への入学年度。

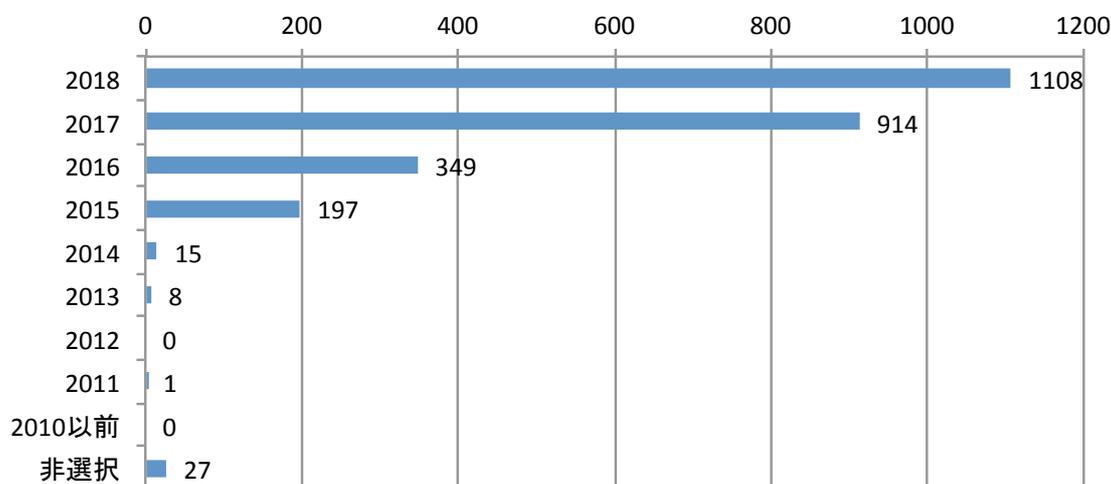


図 5.1.2 入学年度

5. 調査資料集

(3) 高専や他大学に在籍していたことがある。

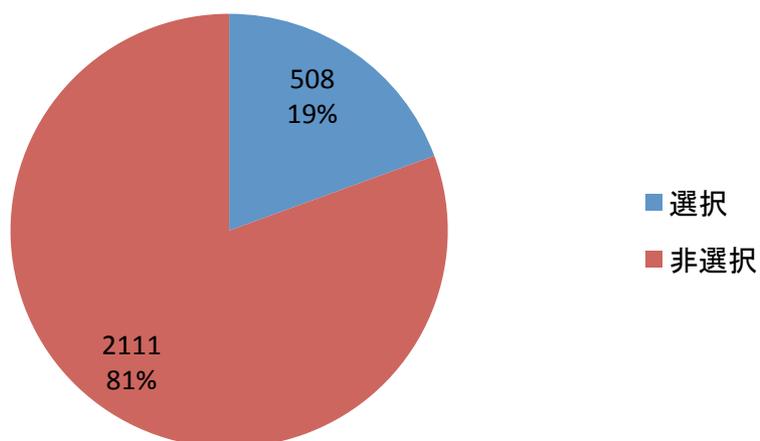


図 5.1.3 高専や他大学に在籍していたことがあるか

(4) 留学生である。

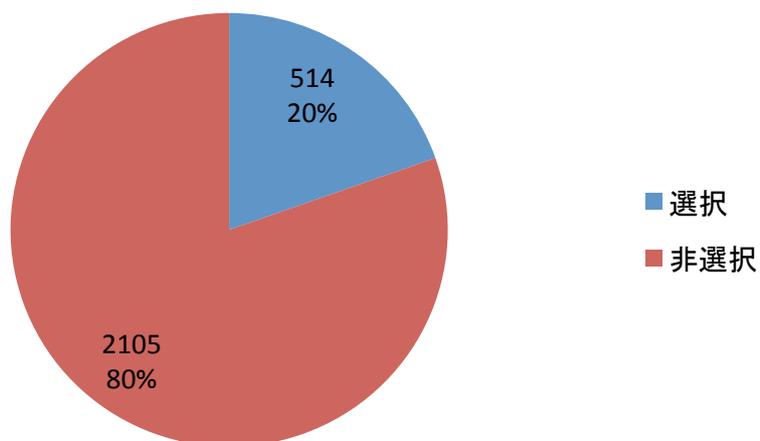


図 5.1.4 留学生であるか

(5) 性別

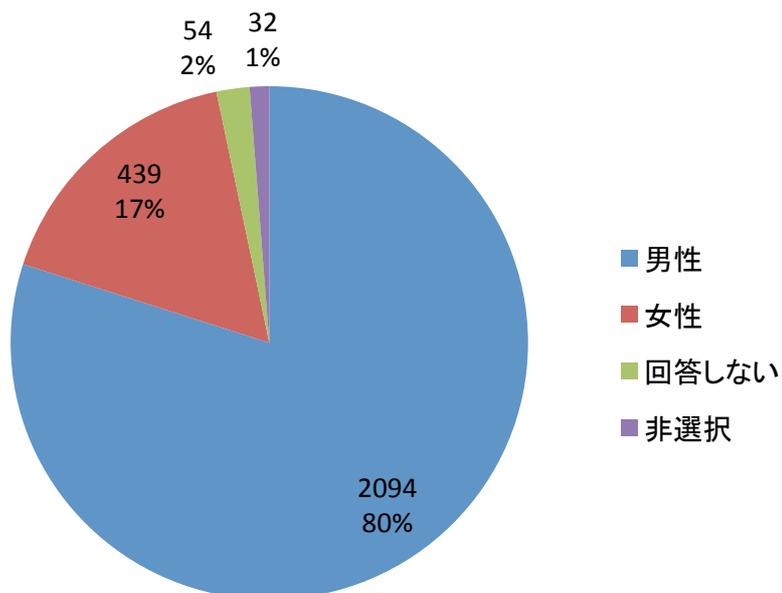


図 5.1.5 性別

(6) キャンパス内の主な活動場所。

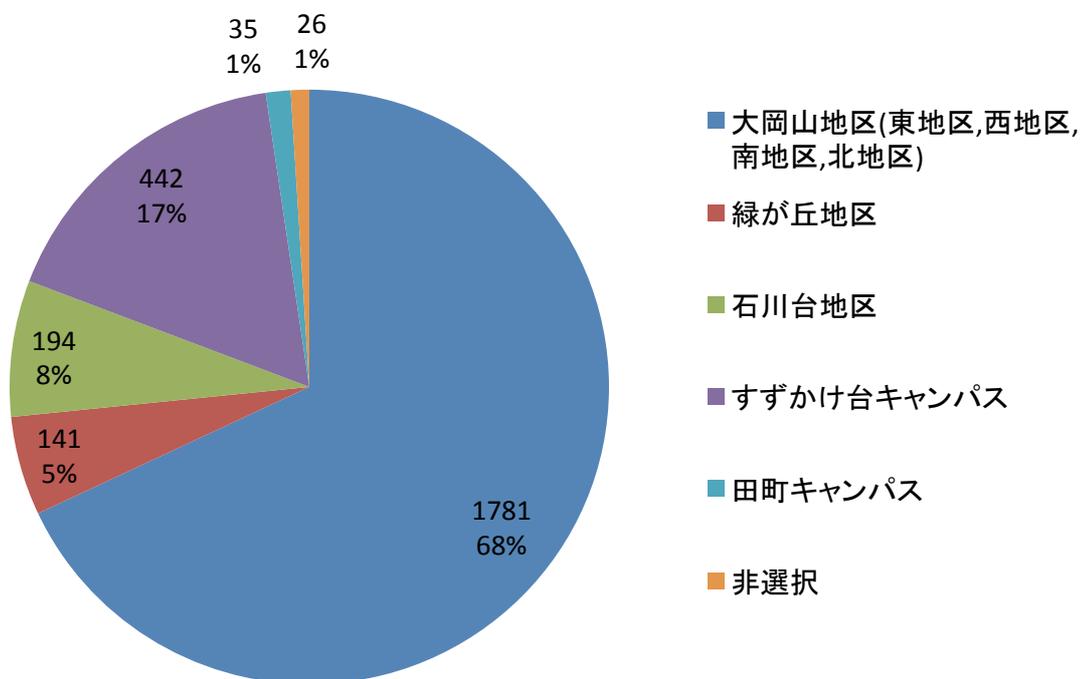


図 5.1.6 主に活動しているキャンパス

5. 調査資料集

(7) 平日の平均的な時間の使い方を教えてください。

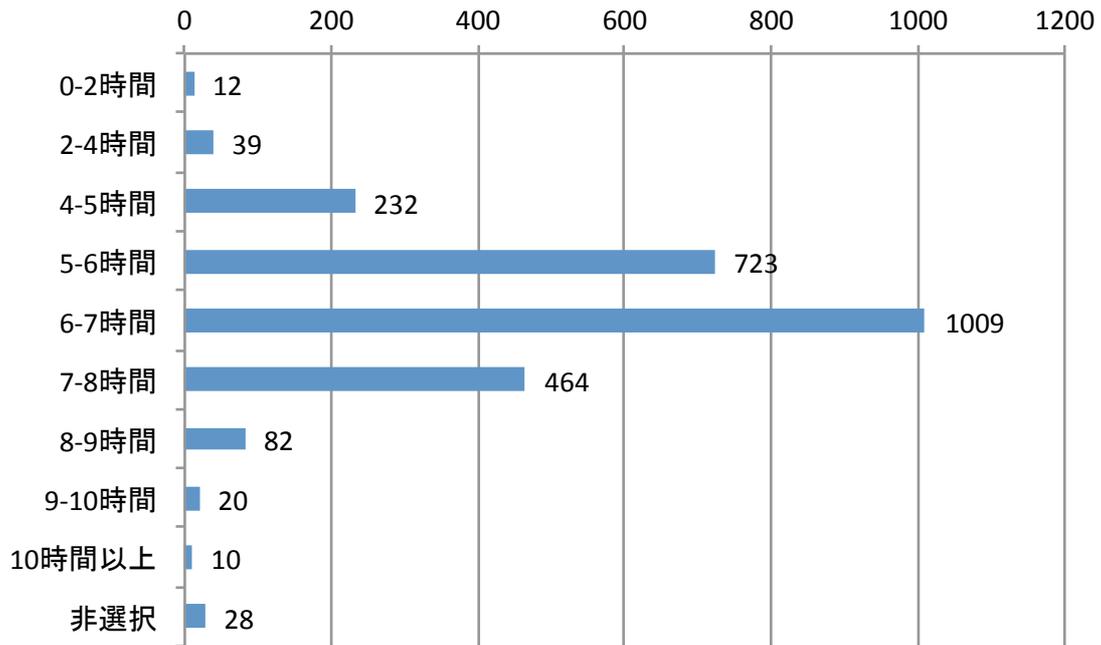


図 5.1.7 睡眠時間

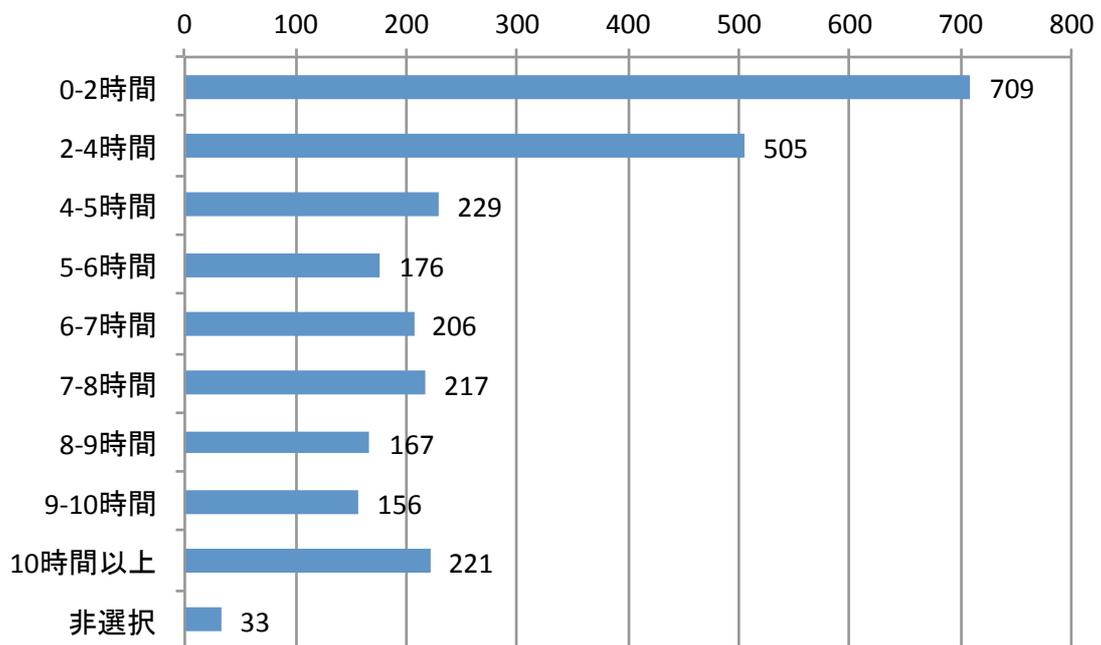


図 5.1.8 勉強時間・研究時間（大学にいる時間を含む，授業時間を含まない）

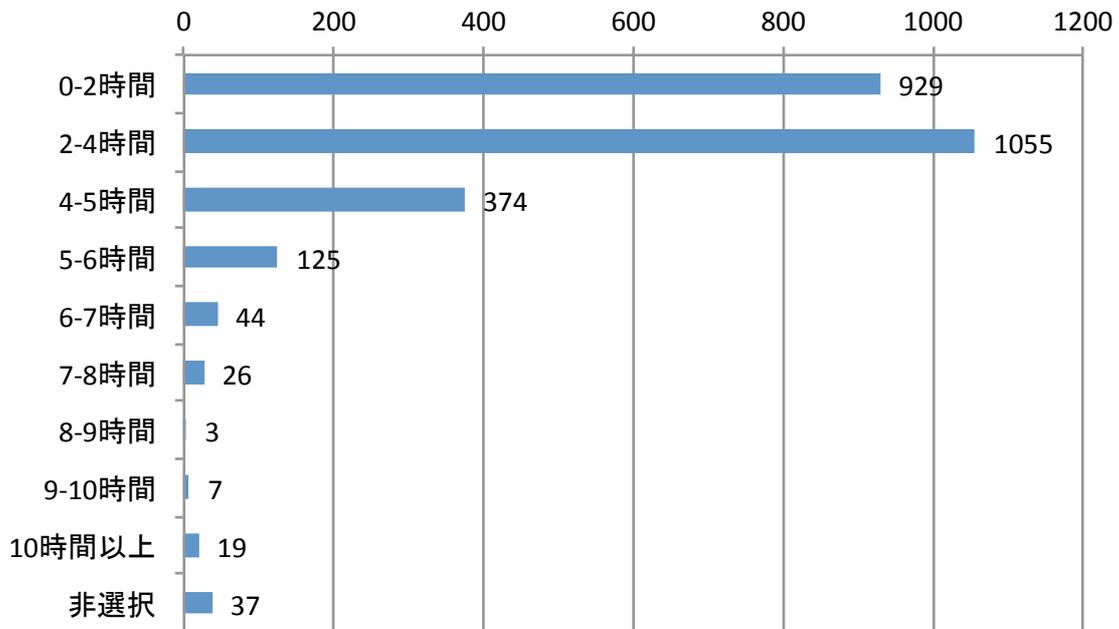


図 5.1.9 娯楽に使う時間

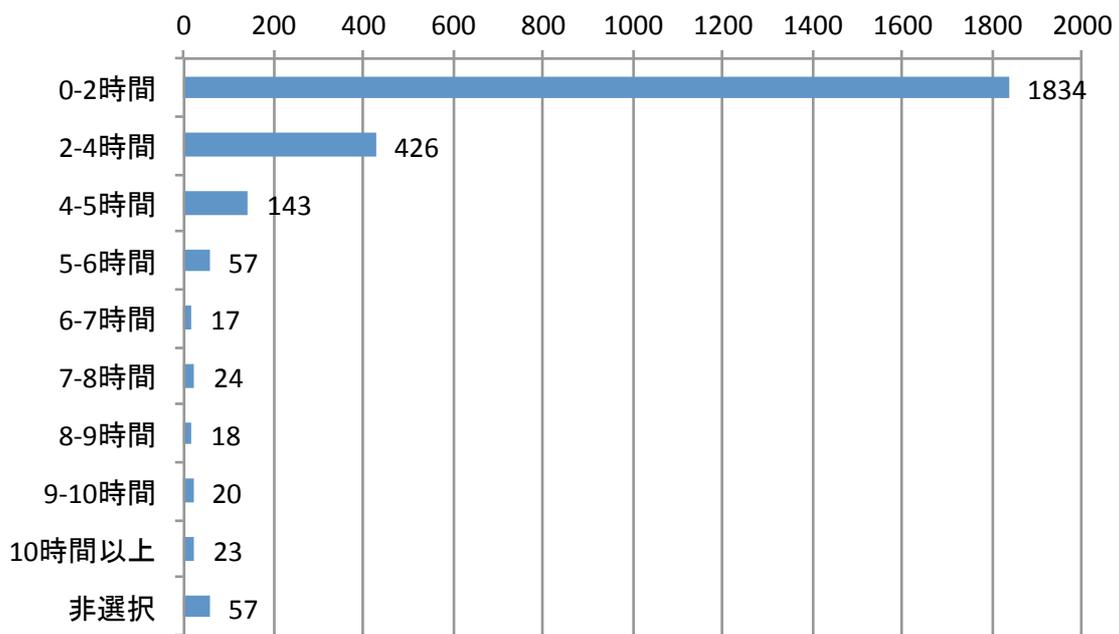


図 5.1.10 仕事・アルバイトに使う時間

5.2. 大学関連

(1) あなたが思う東工大の人材育成における進むべき方向性を教えてください。

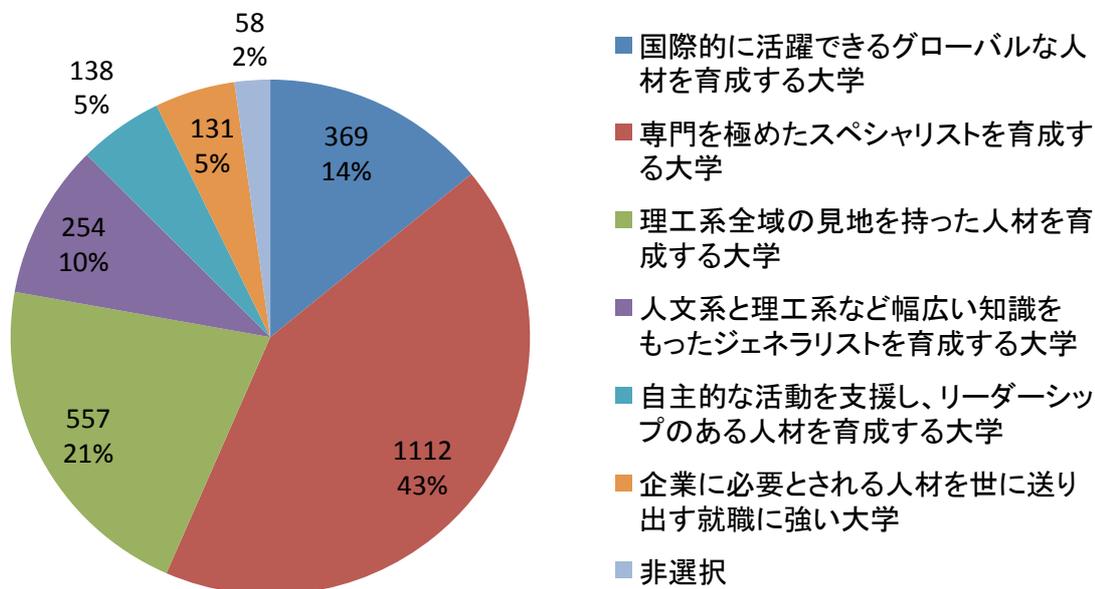


図 5.2.1 東工大の人材育成における進むべき方向性

(2) 本学で学ぶべき(やりたい)目標をはっきり持っていますか。

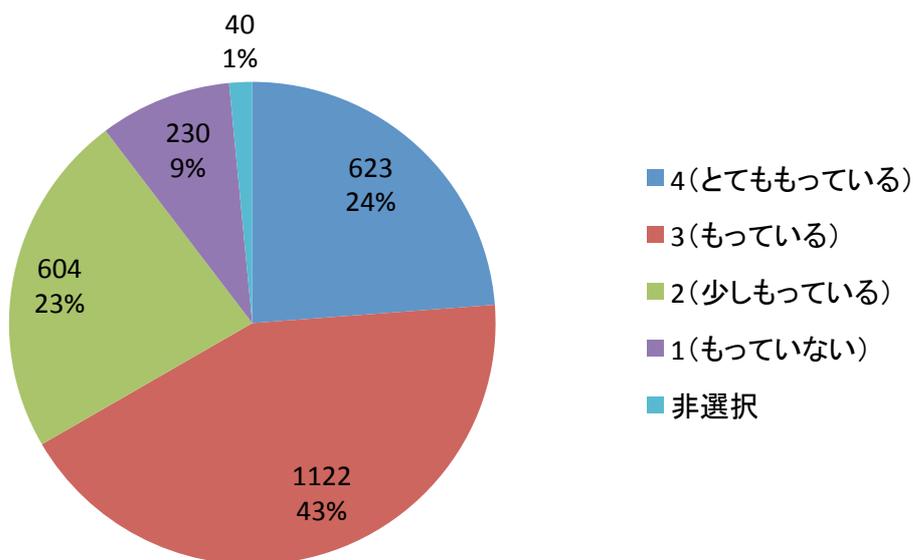


図 5.2.2 本学で学ぶべき(やりたい)目標を持っているか

(3) 大学に進学した理由を教えてください（複数選択可）。

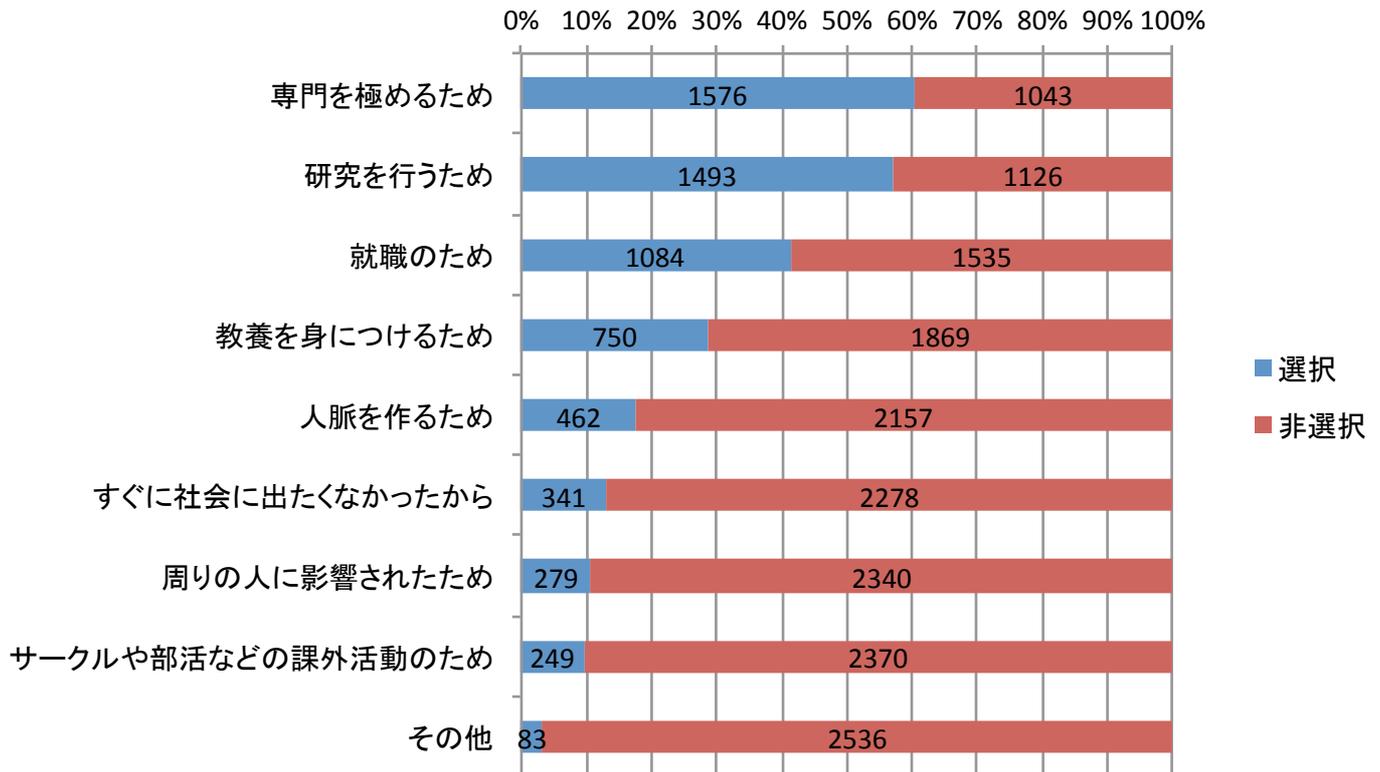


図 5.2.3 大学に進学した理由

(4) 現在在籍している系・コース（学科・専攻）等に不満がある場合、該当するものにマークしてください（複数選択可）。

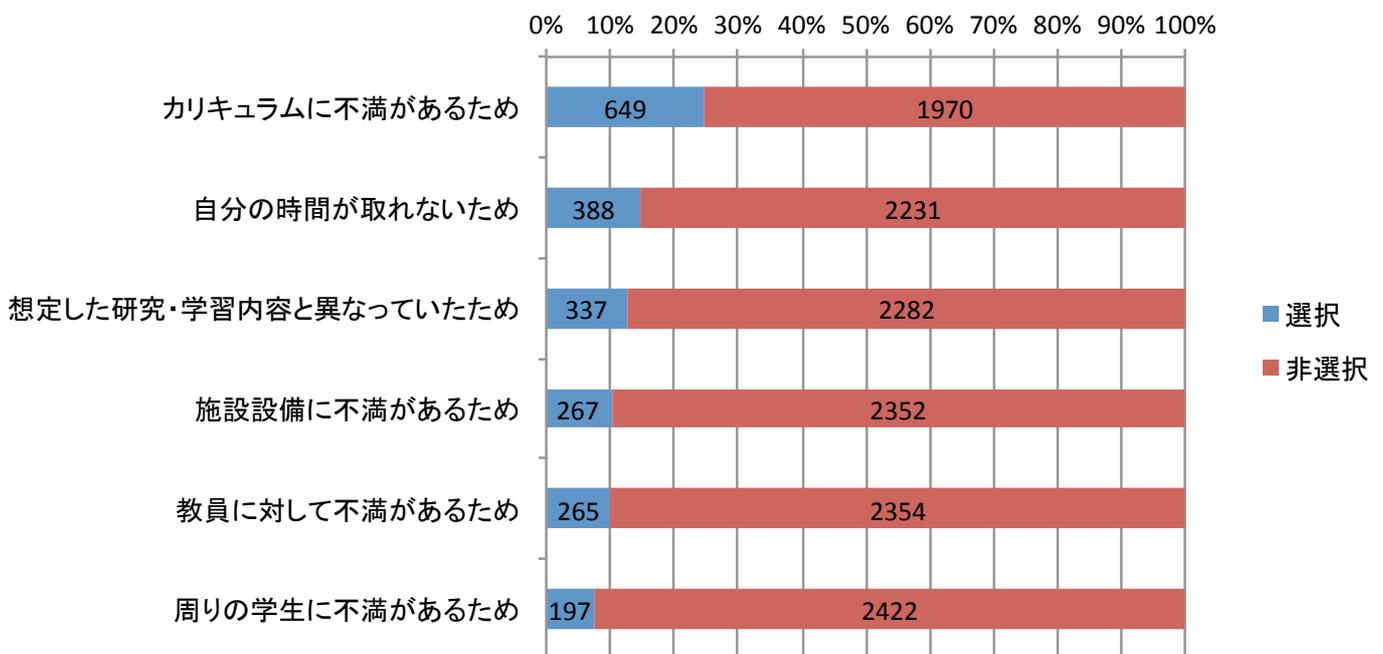


図 5.2.4 系・コース（学科・専攻）等への不満

5.3. 学習関連

(1) 次の項目の中から学習意欲向上に有効と思われるものにマークしてください（複数選択可）。

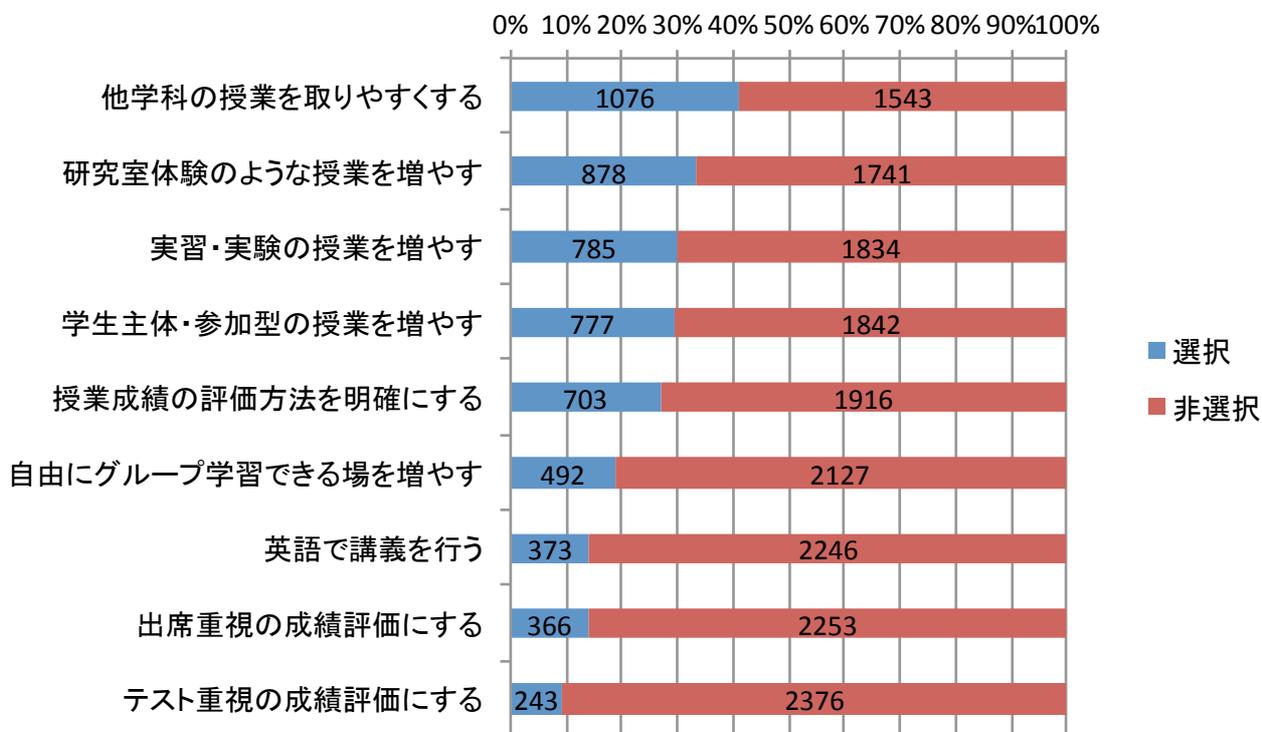


図 5.3.1 学習意欲向上に有効と思われるもの

(2) 授業を受ける科目についてシラバスを確認していますか。

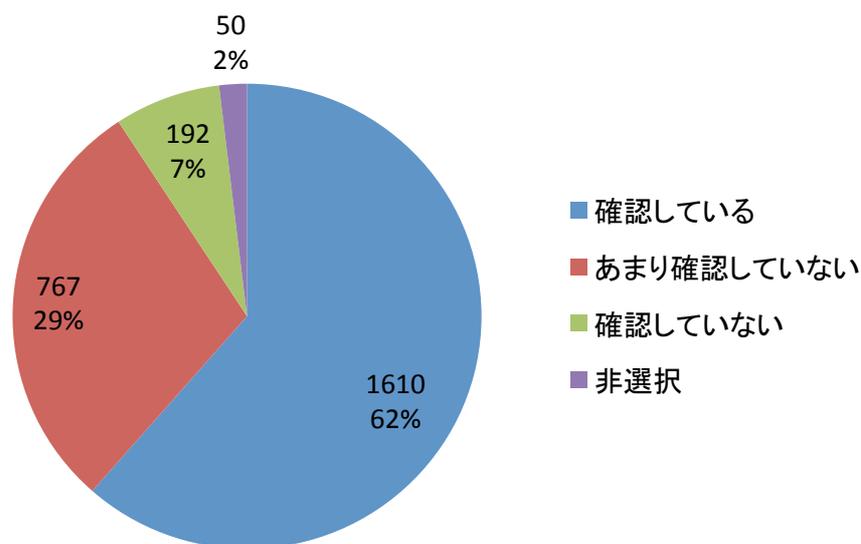


図 5.3.2 シラバスを確認していますか

(3) シラバスについて改善してほしい点を選択してください（複数選択可）。

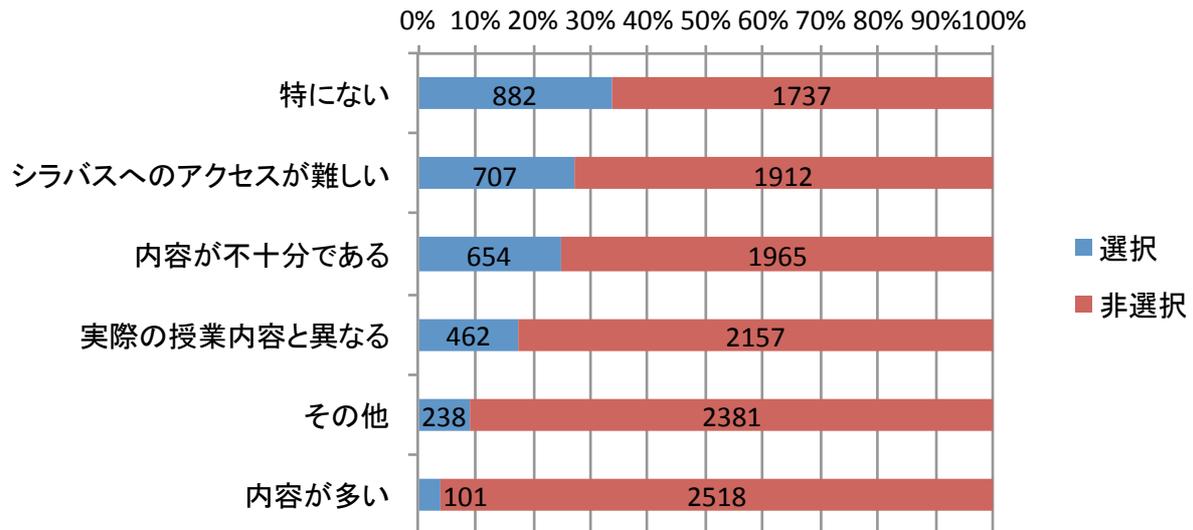


図 5.3.3 シラバスについて改善して欲しい点

(4) シラバスで充実してほしい項目を選択してください（複数選択可）。

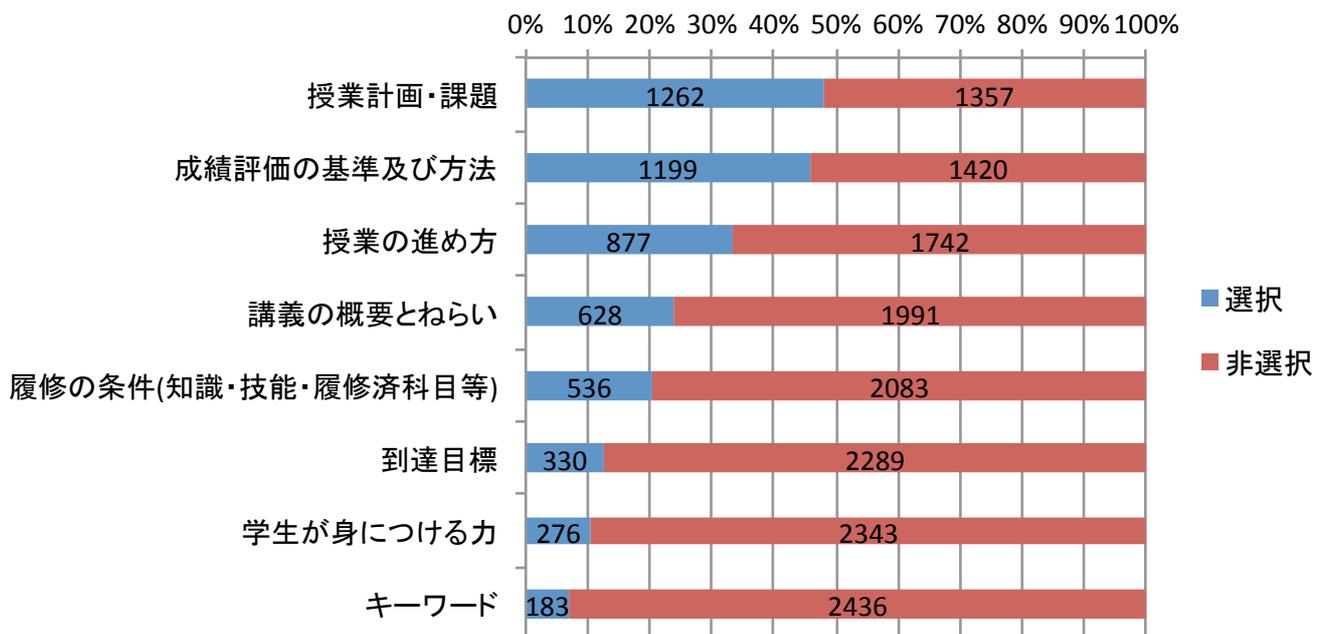


図 5.3.4 シラバスで充実してほしい項目

5. 調査資料集

(5) 現在の履修申告の制度に関して満足していますか。

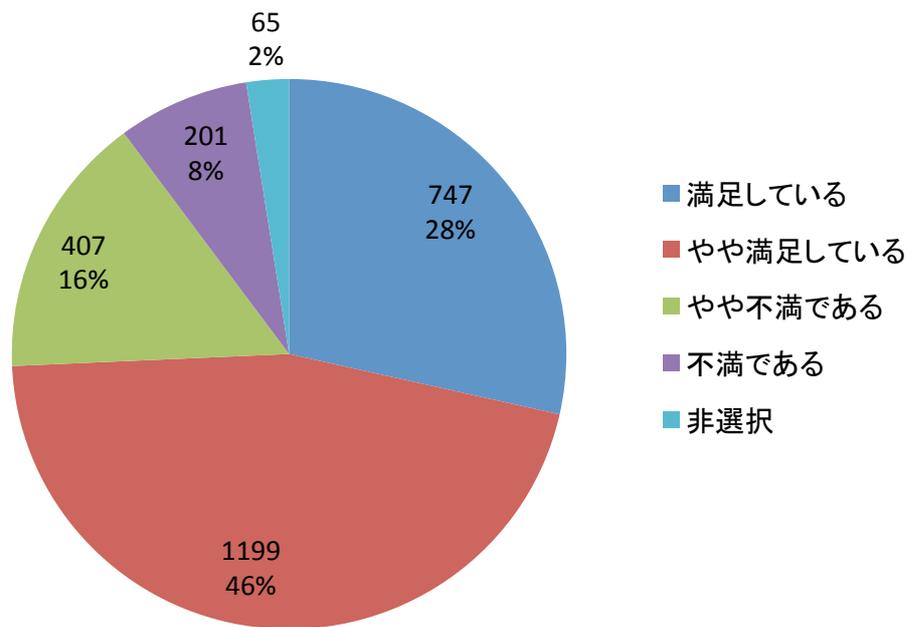


図 5.3.5 履修申告制度の満足度

(6) 英語で講義を受けることについて抵抗はありますか。

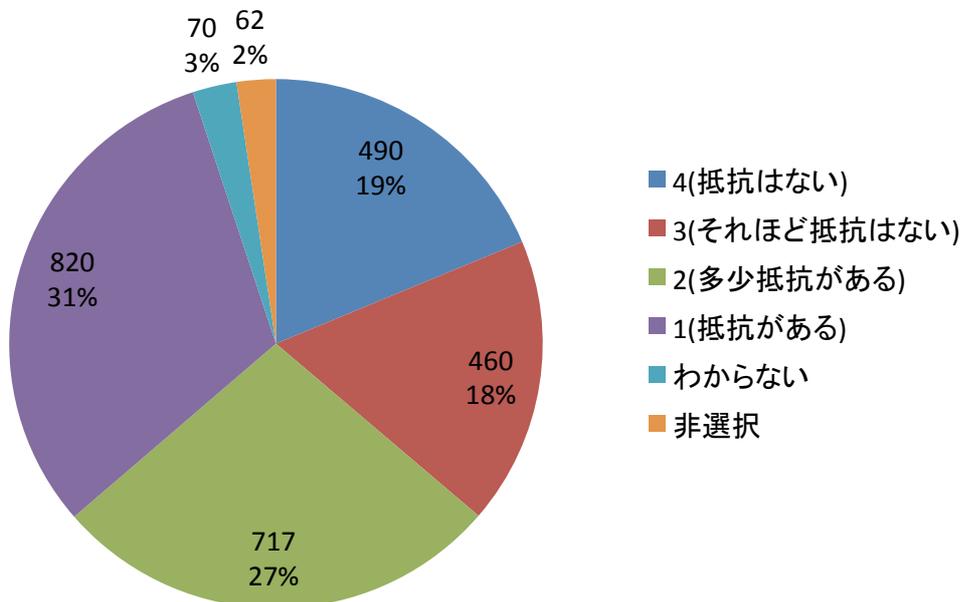


図 5.3.6 英語で講義を受けることについての抵抗感

(7) 英語での講義について、どのような印象を持っていますか（複数選択可）。

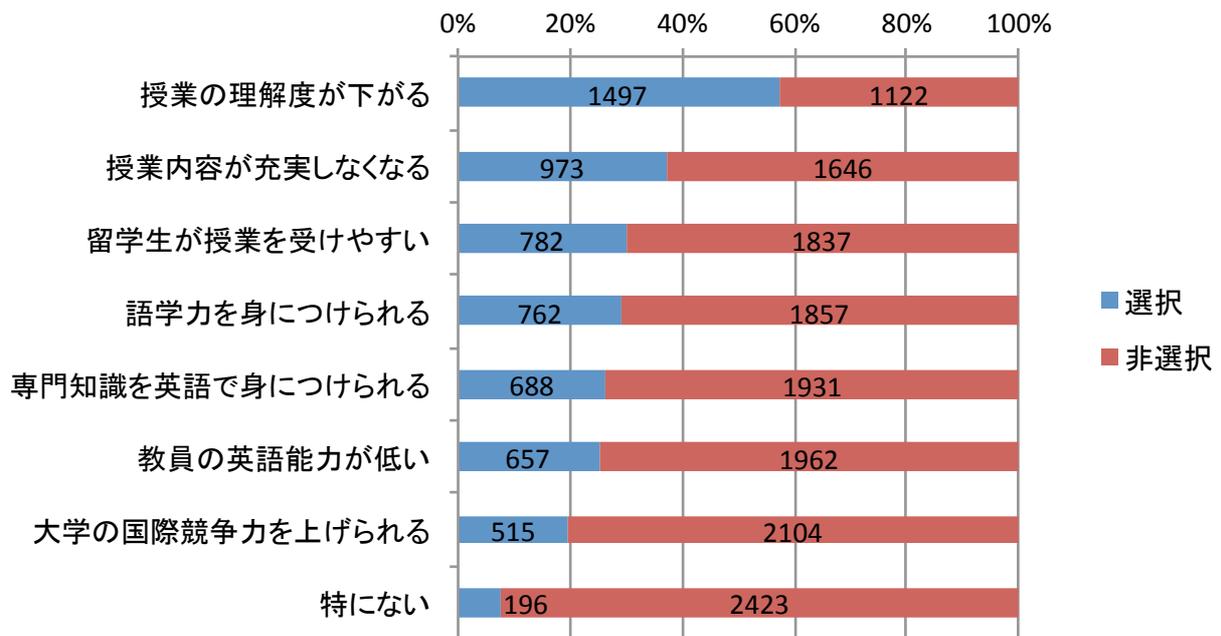


図 5.3.7 英語での講義についての印象

(8) 修士・博士後期課程への進学予定はありますか。

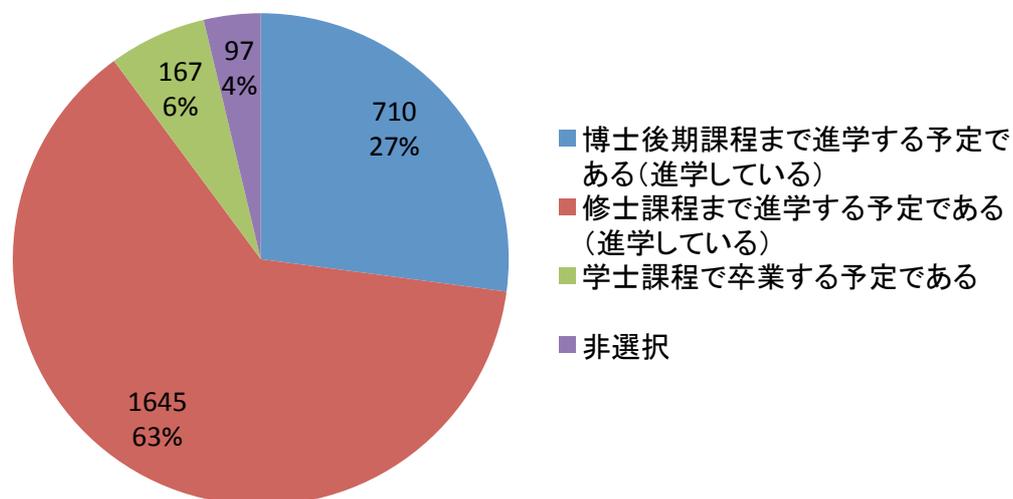


図 5.3.8 修士・博士後期課程への進学予定

5. 調査資料集

(9) 本学での修士課程進学を選択しないのはなぜですか（複数選択可）。

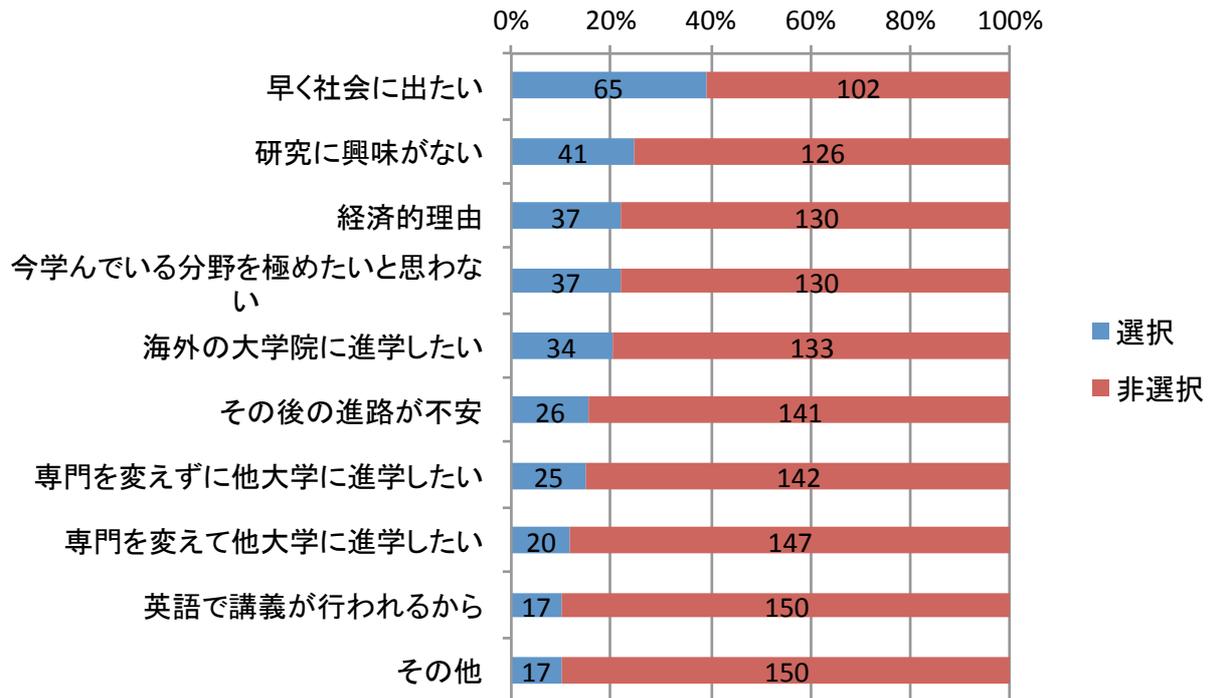


図 5.3.9 本学での修士課程進学を選択しない理由

(10) 本学での博士後期課程進学を選択しないのはなぜですか（複数選択可）。

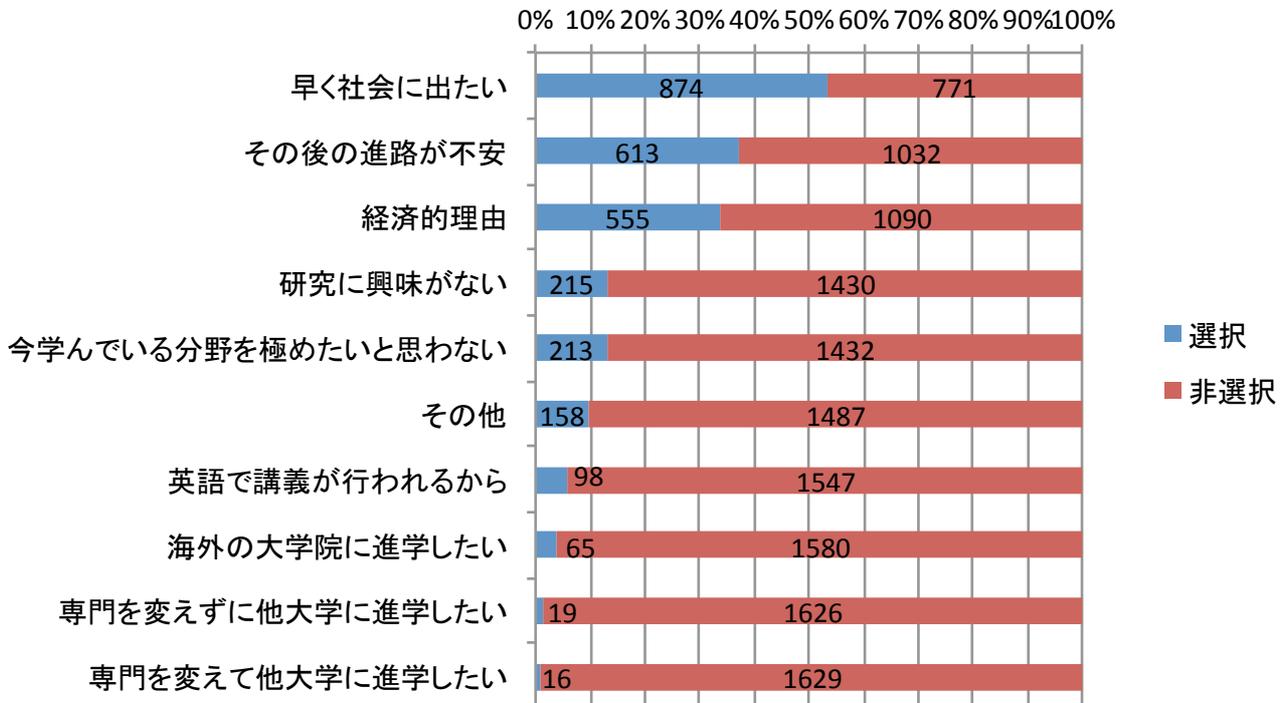


図 5.3.10 本学での博士後期課程進学を選択しない理由

(11) あなたの考える学士課程における研究室配属の適切な時期を教えてください。

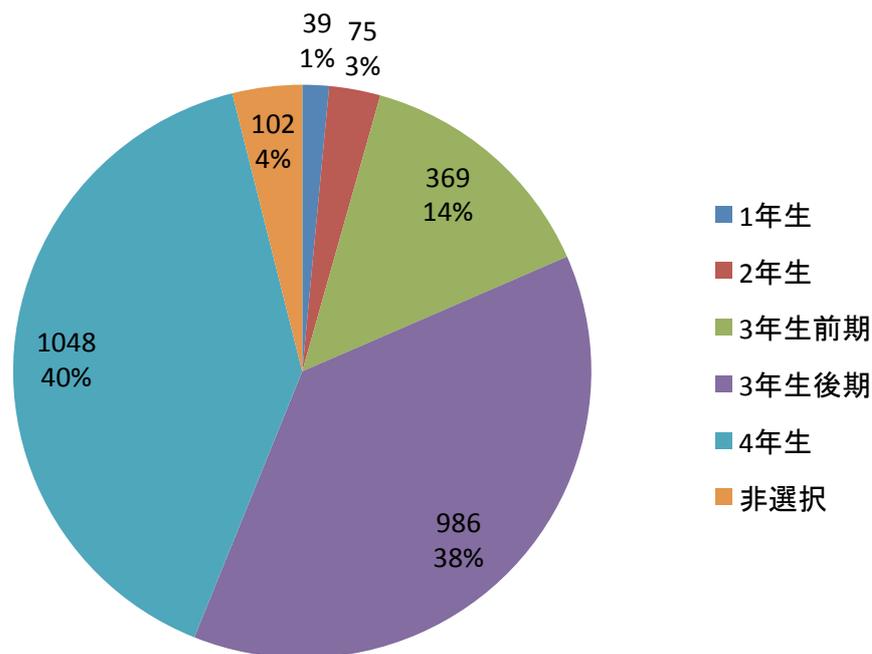


図 5.3.11 自分の考える学士課程における研究室所属の適切な時期

(12) あなたは留学したことがありますか。

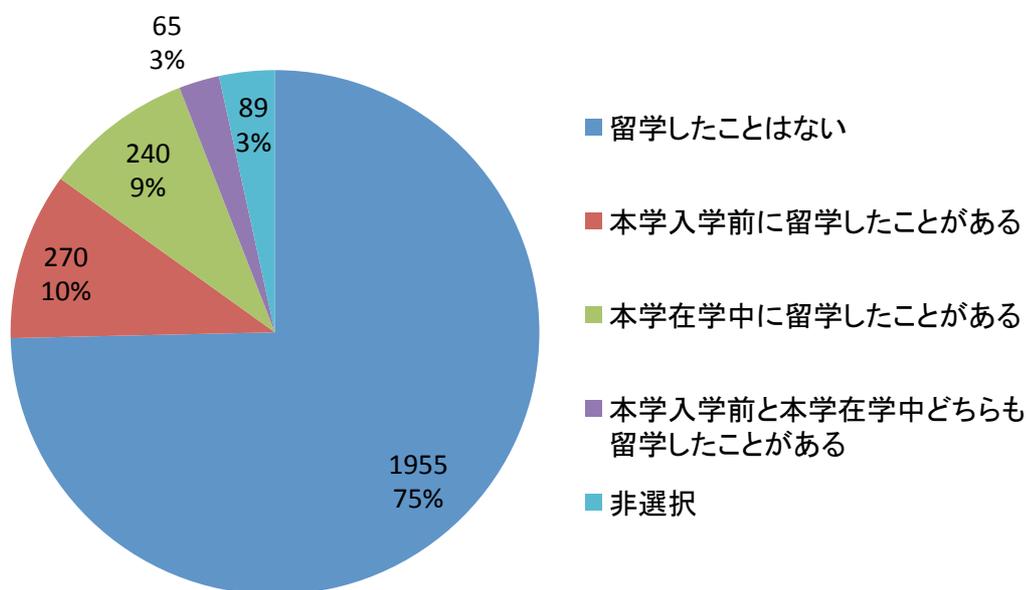


図 5.3.12 留学の経験

5. 調査資料集

(13) 留学をしたきっかけを教えてください（複数選択可）。

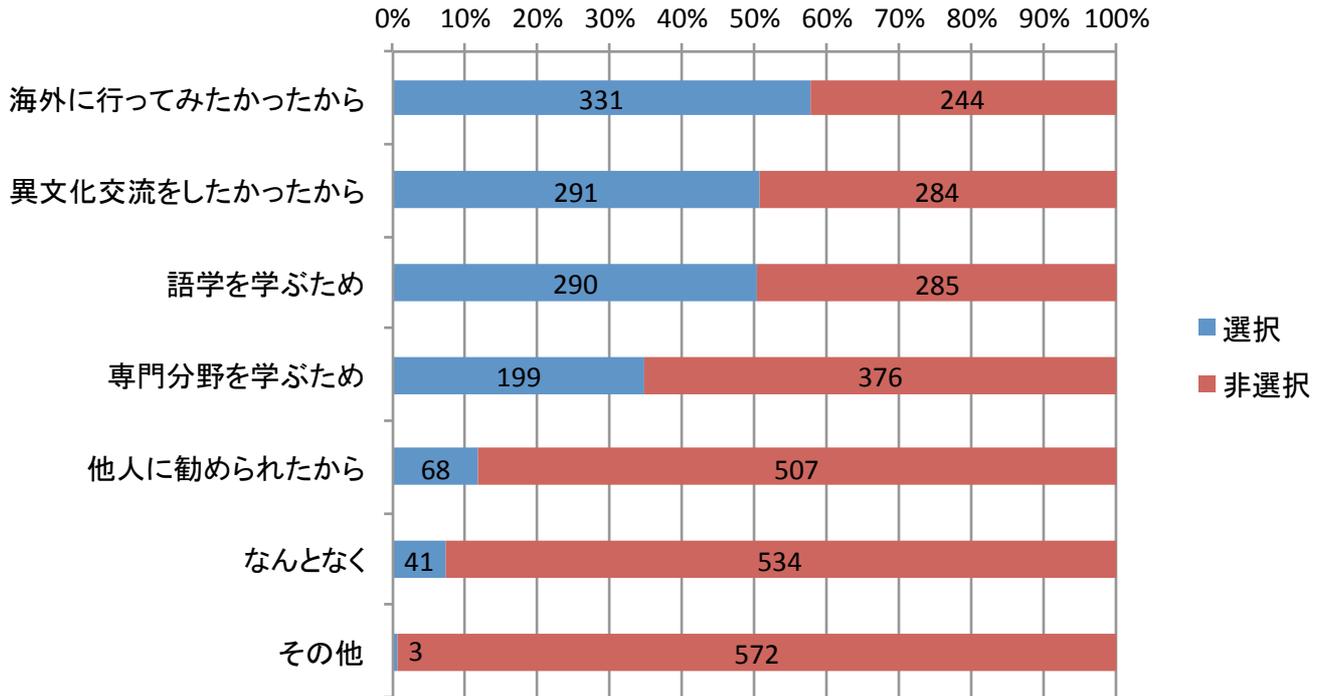


図 5.3.13 留学をしたきっかけ（留学をした経験のある 575 人中）

(14) どのくらいの期間留学していましたか（複数選択可）。

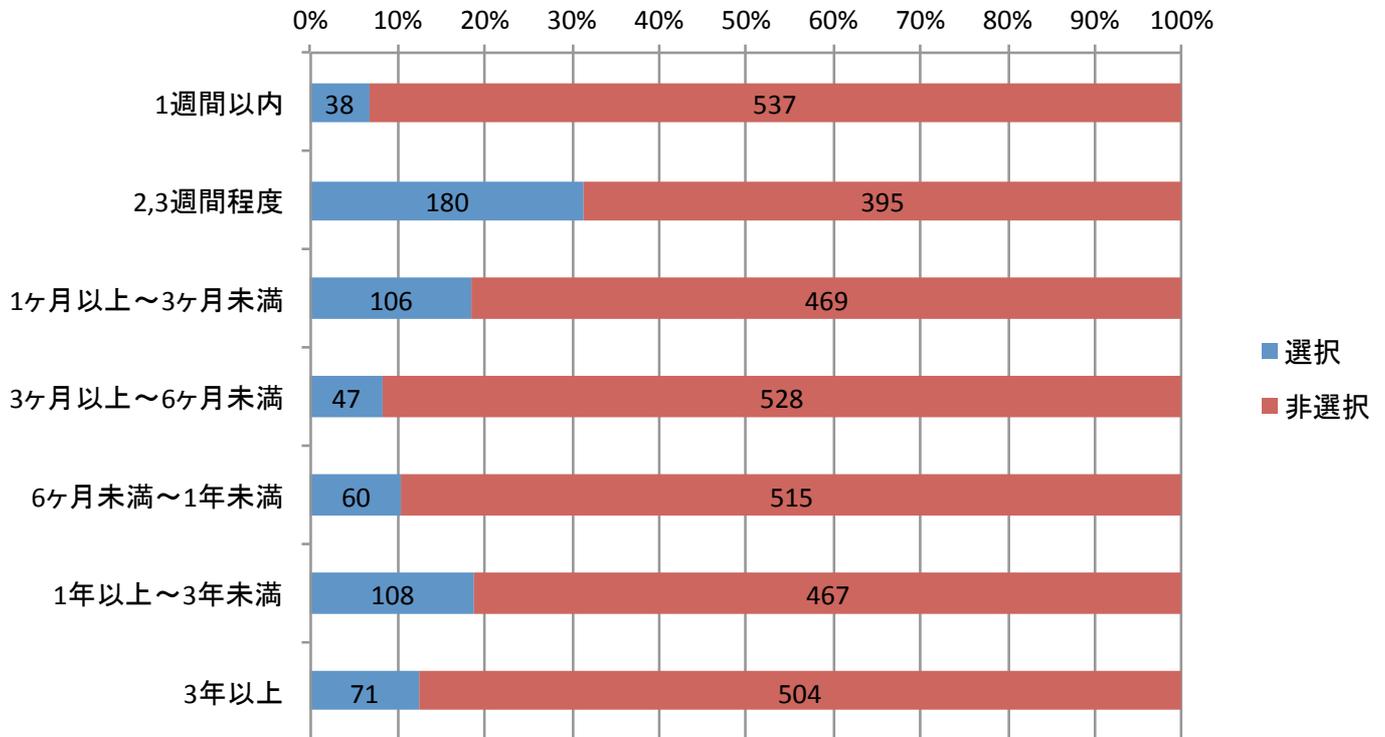


図 5.3.14 留学期間（留学をした経験のある 575 人中）

(15) 留学をしたいと思いますか。

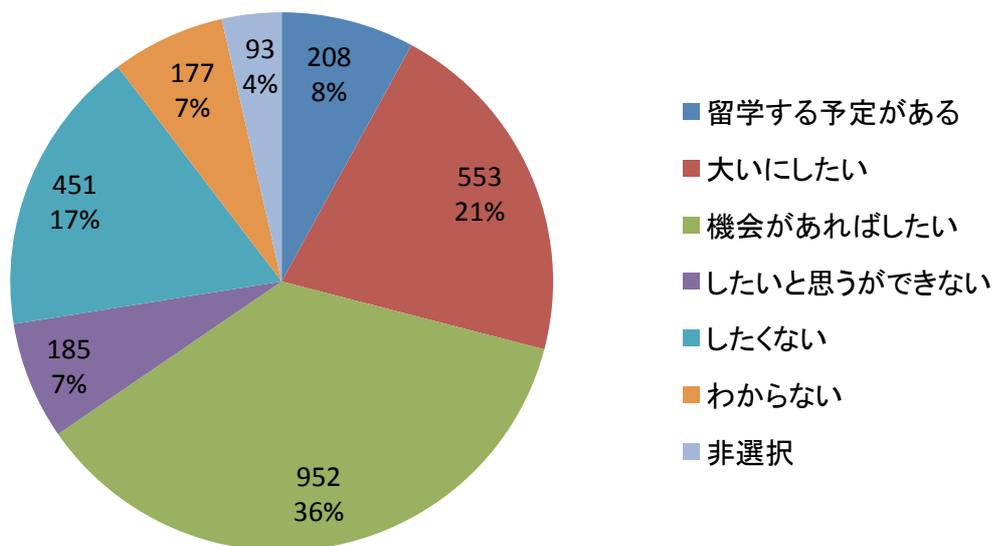


図 5.3.15 留学をしたいと思うか

(16) 留学を考える上で何か障害はありますか（複数選択可）。

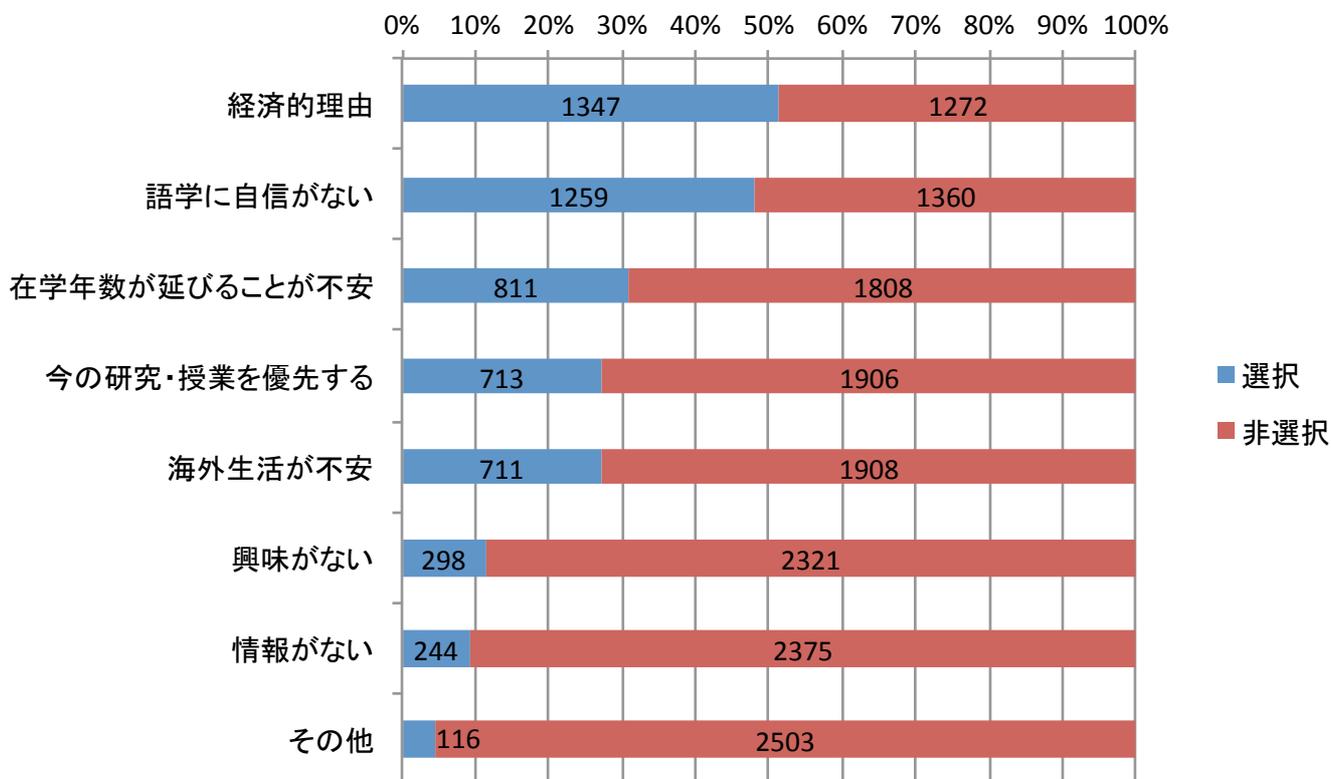


図 5.3.16 留学を考える上での障害

5. 調査資料集

(17) 東工大主催の留学イベントに参加したことがありますか。

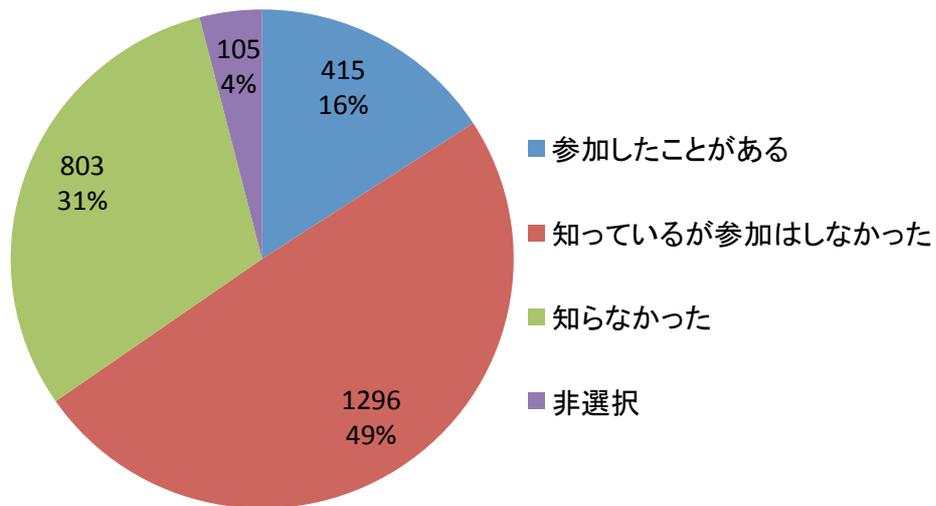


図 5.3.17 東工大主催の留学イベントへの参加経験

(18) T2R2（東京工業大学リサーチレポジトリ）を知っていますか。

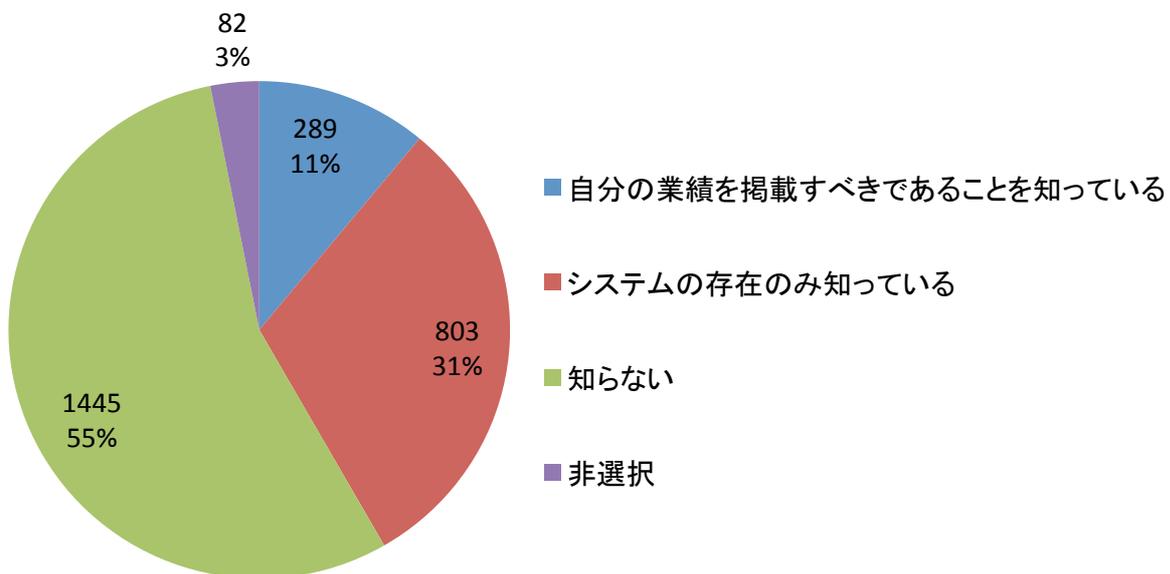


図 5.3.18 T2R2 を知っているか

(19) 普段使用しているウェブブラウザを選んでください（複数選択可）。

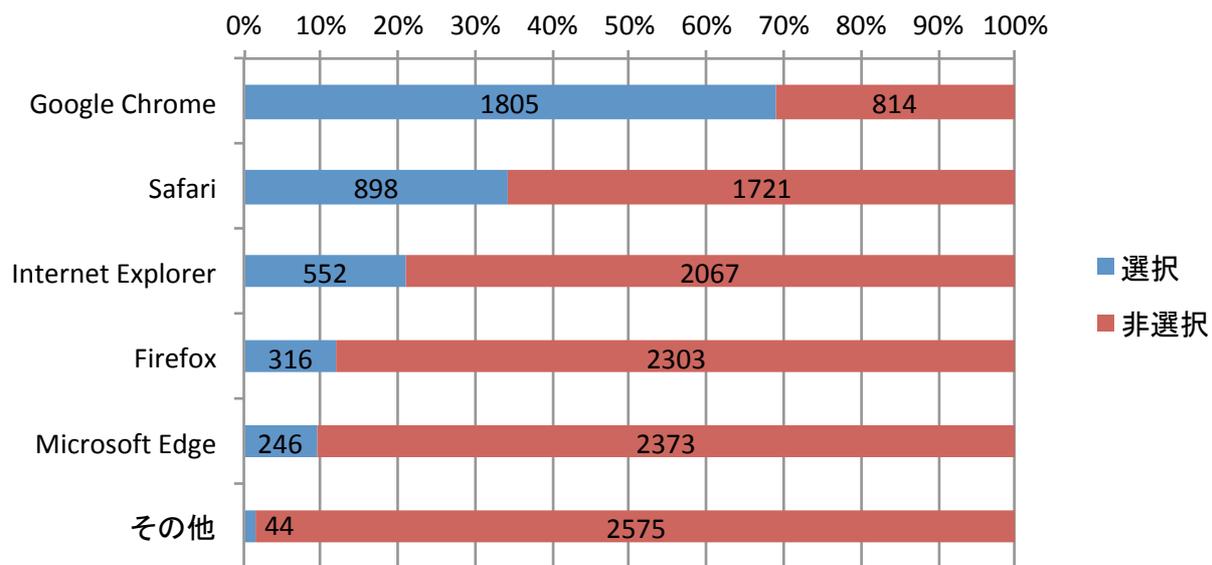


図 5.3.19 普段使用しているウェブブラウザ

5.4. 施設関連

(1) 附属図書館をどの程度利用していますか。

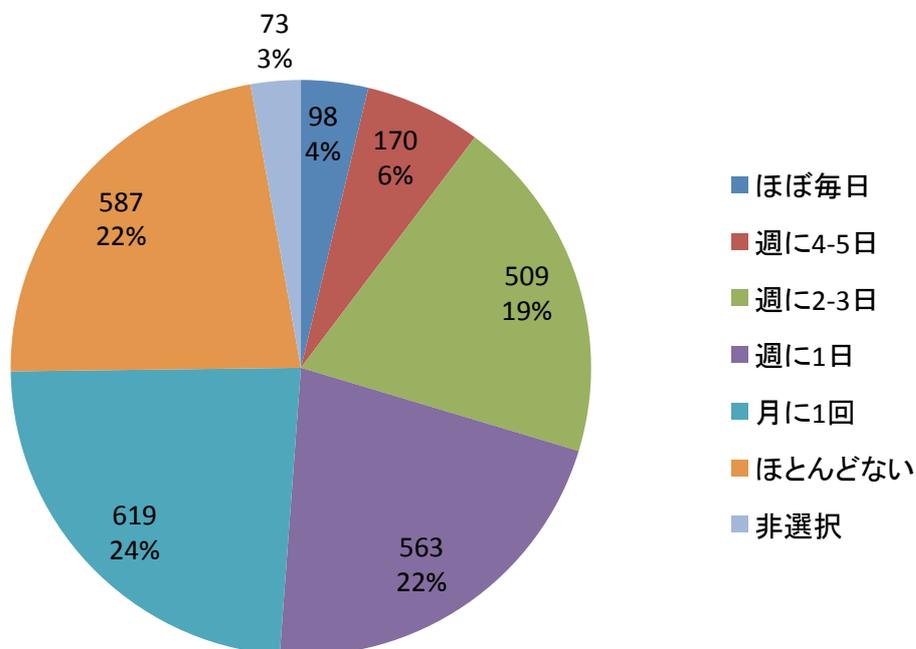


図 5.4.1 附属図書館の利用頻度

(2) 平日の昼食は主にどこを利用していますか。

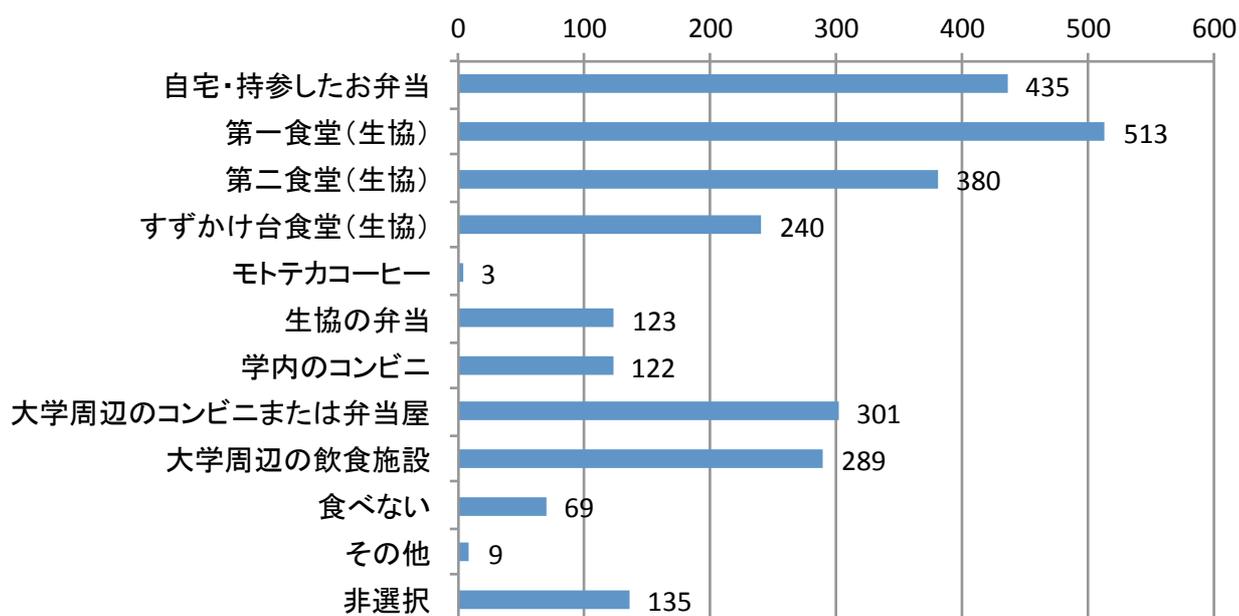


図 5.4.2 平日の昼食は主にどこを利用しているか

(3) 生協食堂をどれくらいの頻度で利用しますか。

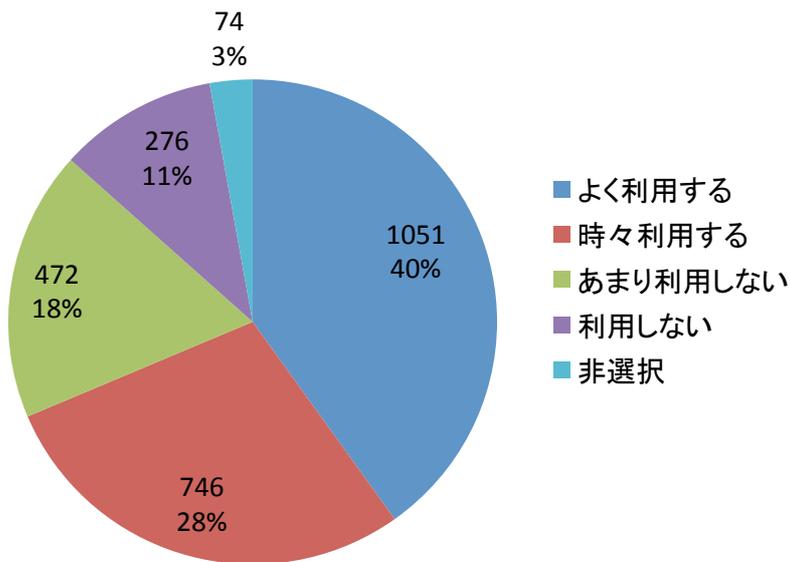


図 5.4.3 生協食堂の利用頻度

(4) 生協食堂が提供する食事の価格はいかがですか。

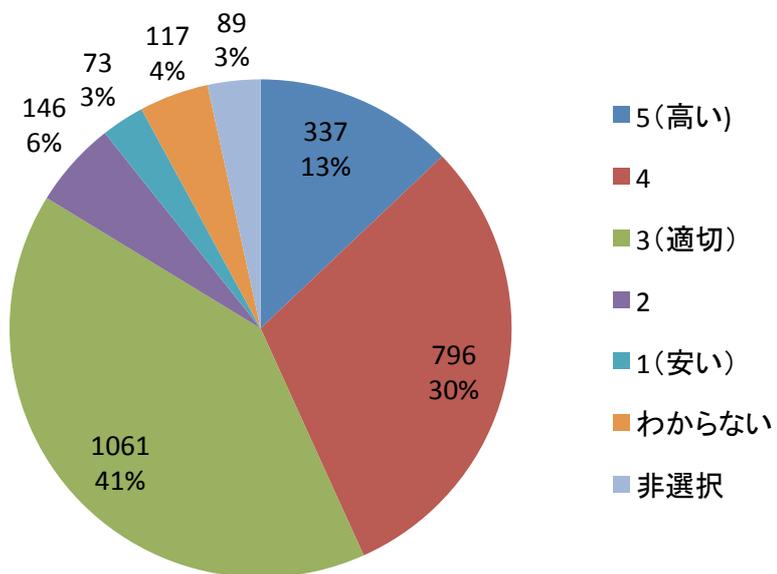


図 5.4.4 生協食堂の価格への印象

5. 調査資料集

(5) 生協食堂が提供する食事の質はいかがですか。

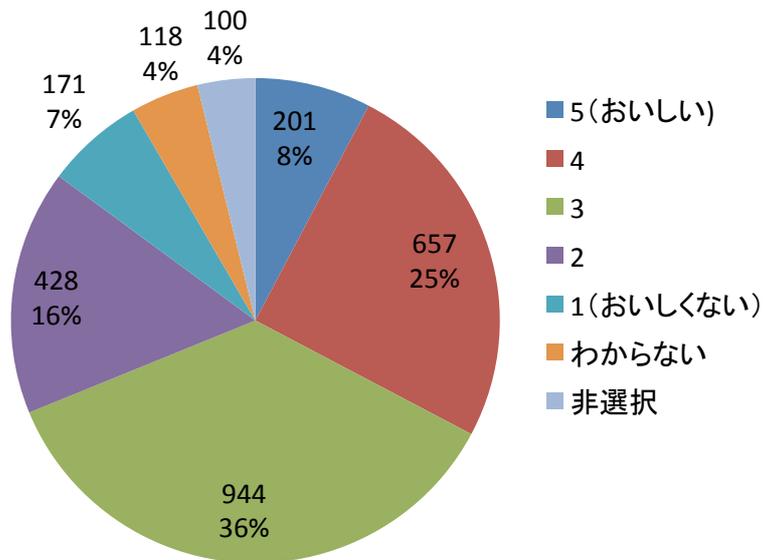


図 5.4.5 生協食堂の質への印象

(6) 学食のメニューで増やしてほしいものを選んでください（複数選択可）。

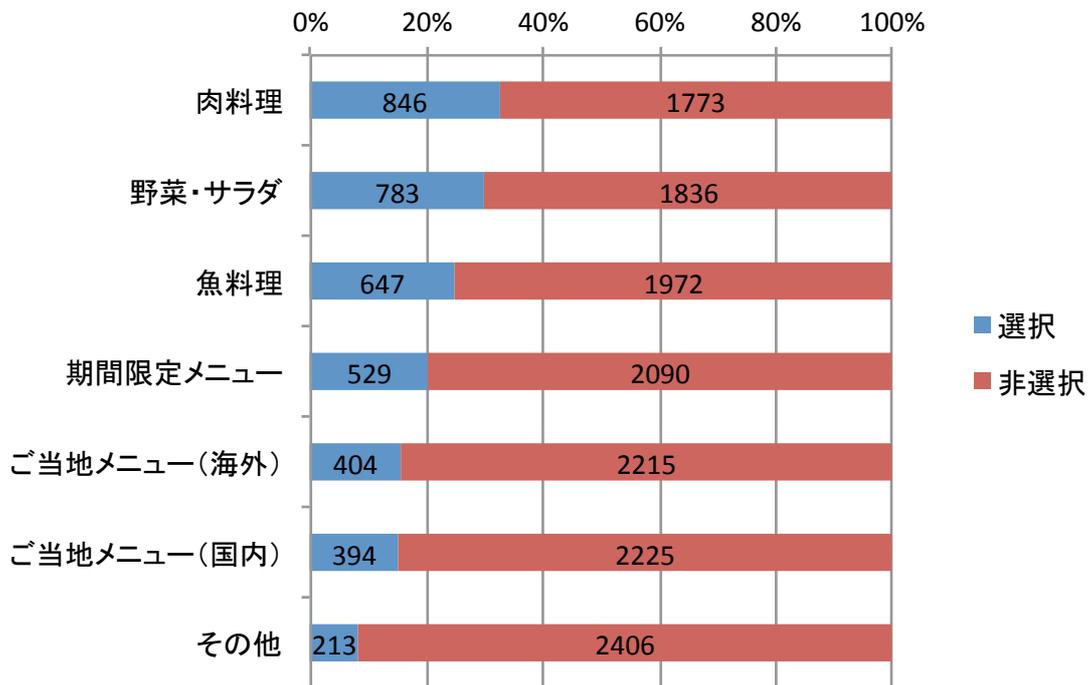


図 5.4.6 学食で増やして欲しいメニュー

(7) 学内の弁当販売について、どれくらいの頻度で弁当を購入しますか。

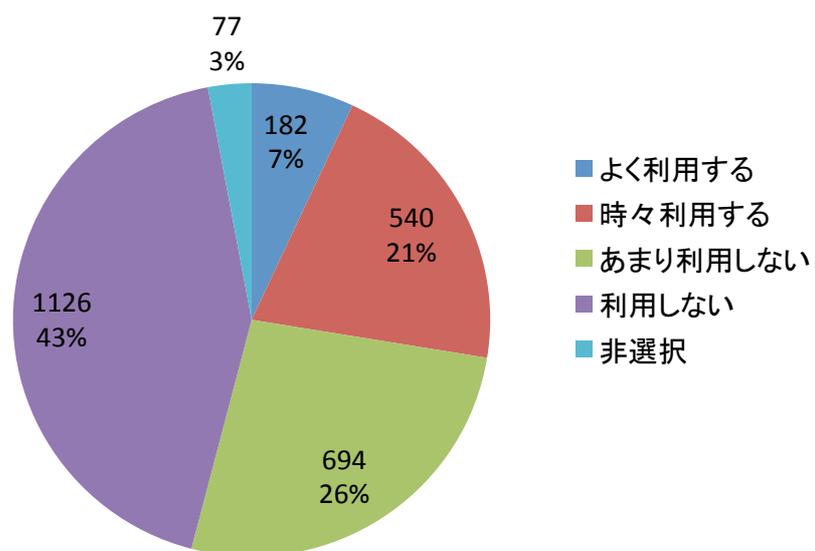


図 5.4.7 学内弁当販売を利用する頻度

(8) 学内の弁当販売の価格はいかがですか。

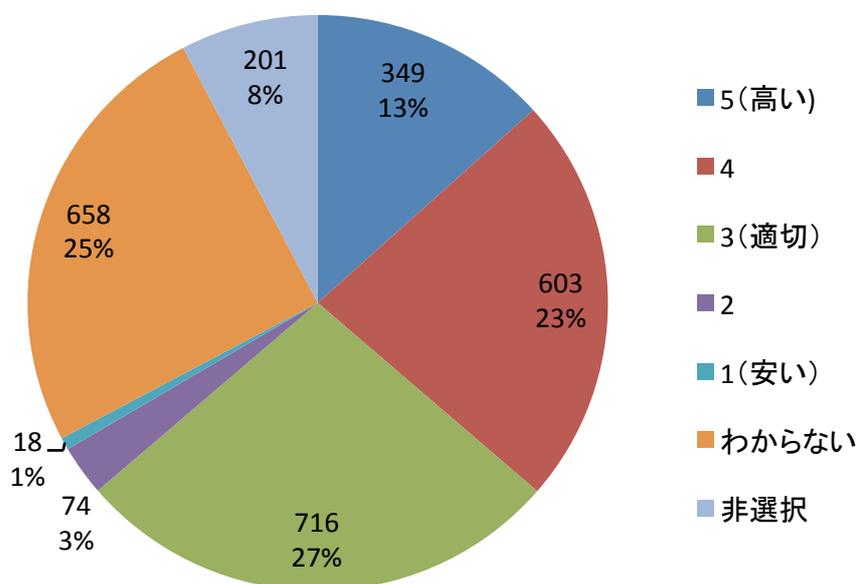


図 5.4.8 学内弁当販売の価格への印象

5. 調査資料集

(9) 学内販売の弁当の質はいかがですか。

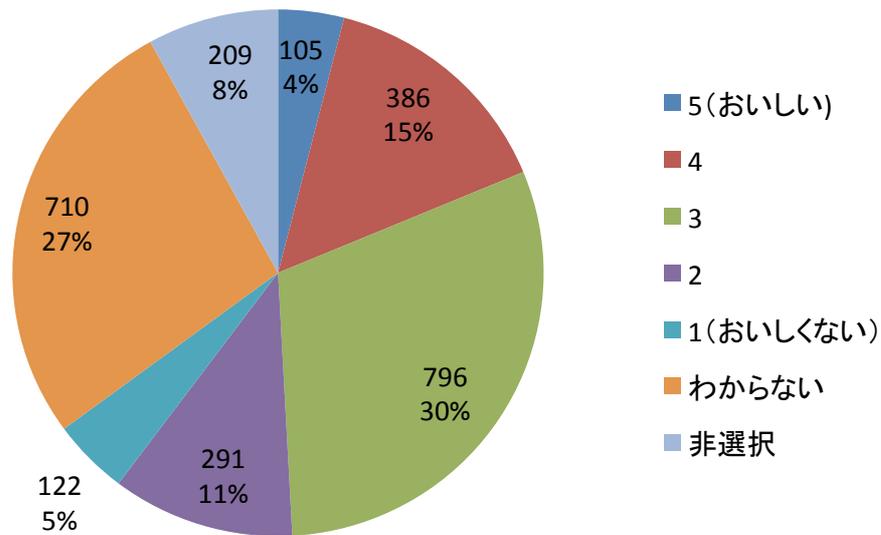


図 5. 4. 9 学内弁当販売の弁当の質への印象

(10) 学内の弁当販売のメニューで増やしてほしいものを選んでください（複数選択可）。

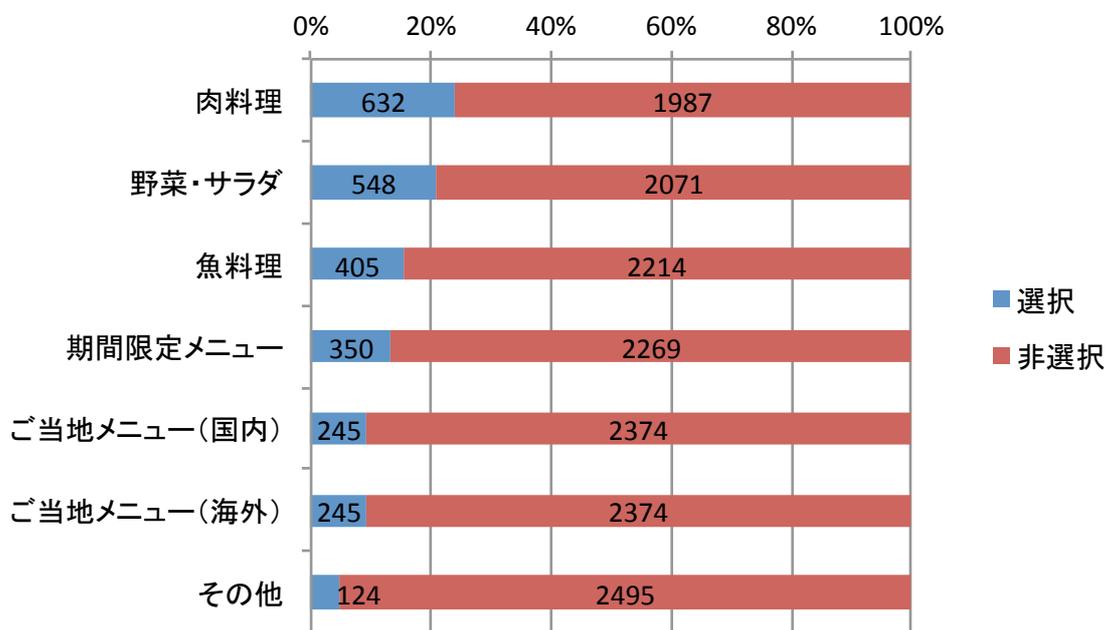


図 5. 4. 10 学内弁当販売の弁当に増やして欲しいメニュー

(11) 学内の喫煙所を利用しますか。

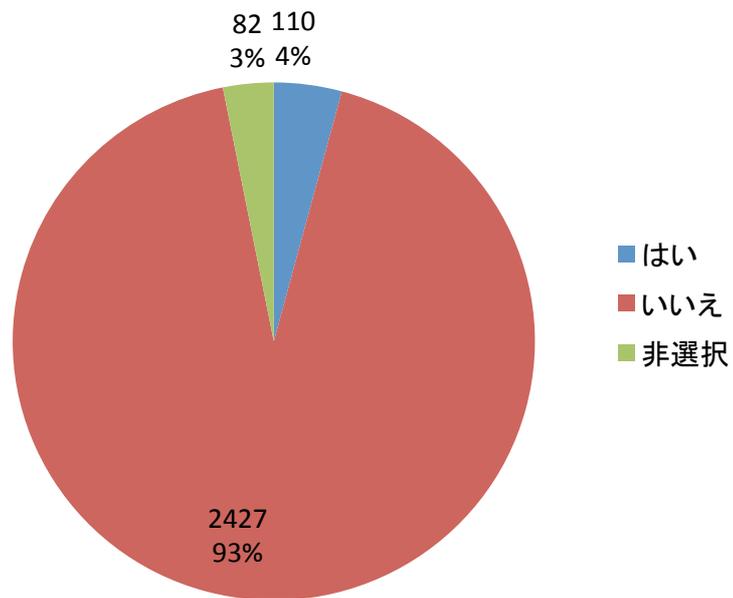


図 5.4.11 学内喫煙所の利用率

(12) 喫煙所の位置は適当と思いますか。

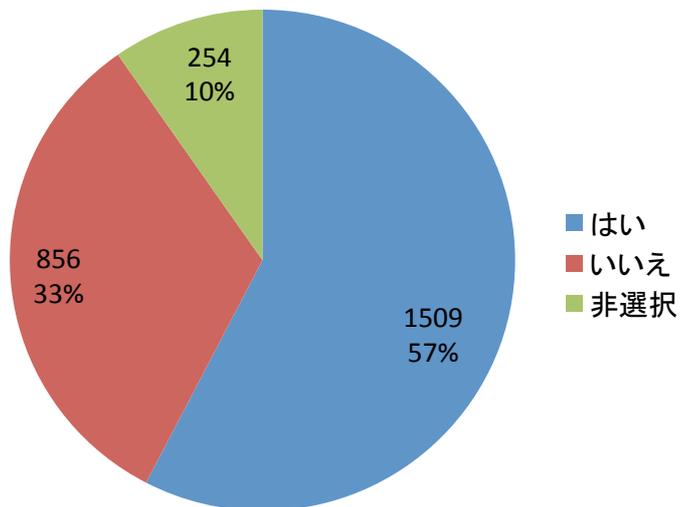


図 5.4.12 喫煙所の位置を適当と思うか

5. 調査資料集

(13) 次の大学の施設の中で充実してほしい施設があればお選び下さい（複数選択可）。

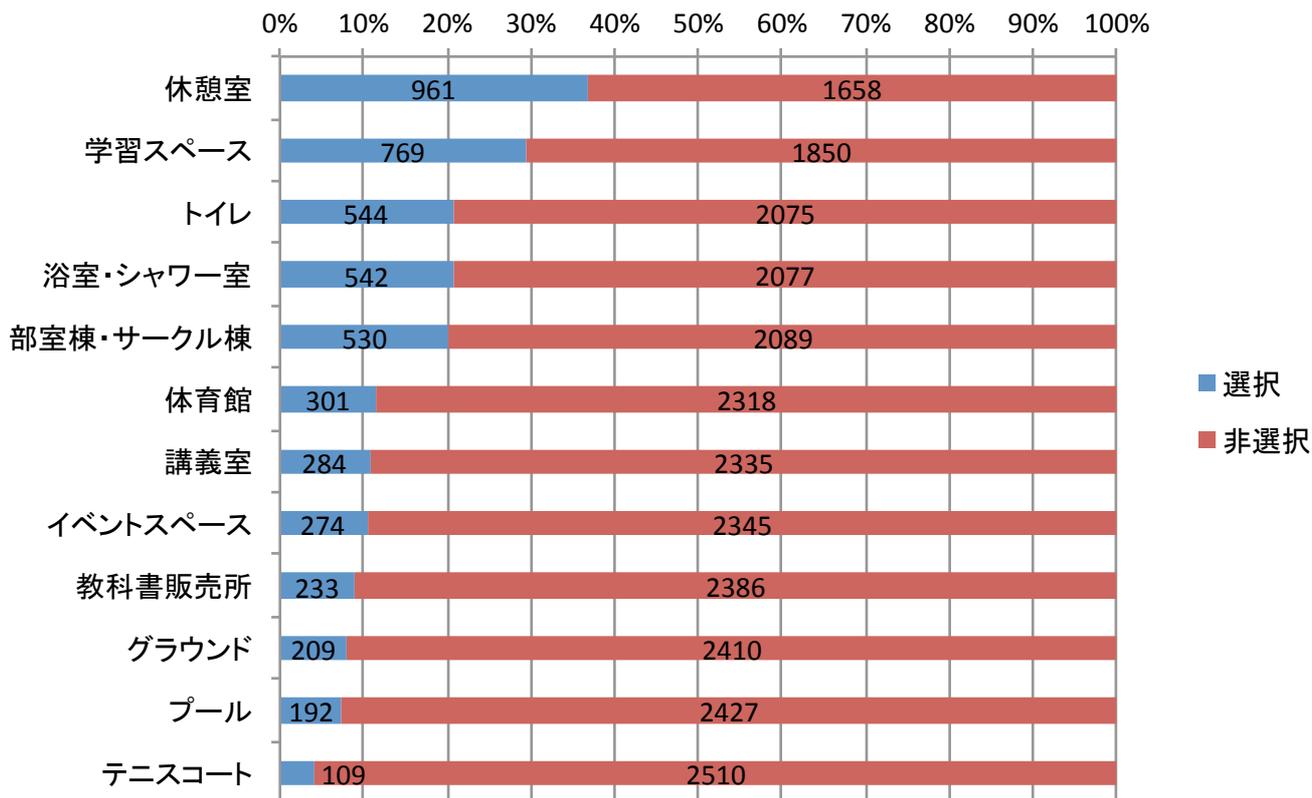


図 5.4.13 充実して欲しい大学の施設

(14) 次の施設の中で誘致してほしい施設があればお選び下さい（複数選択可）。

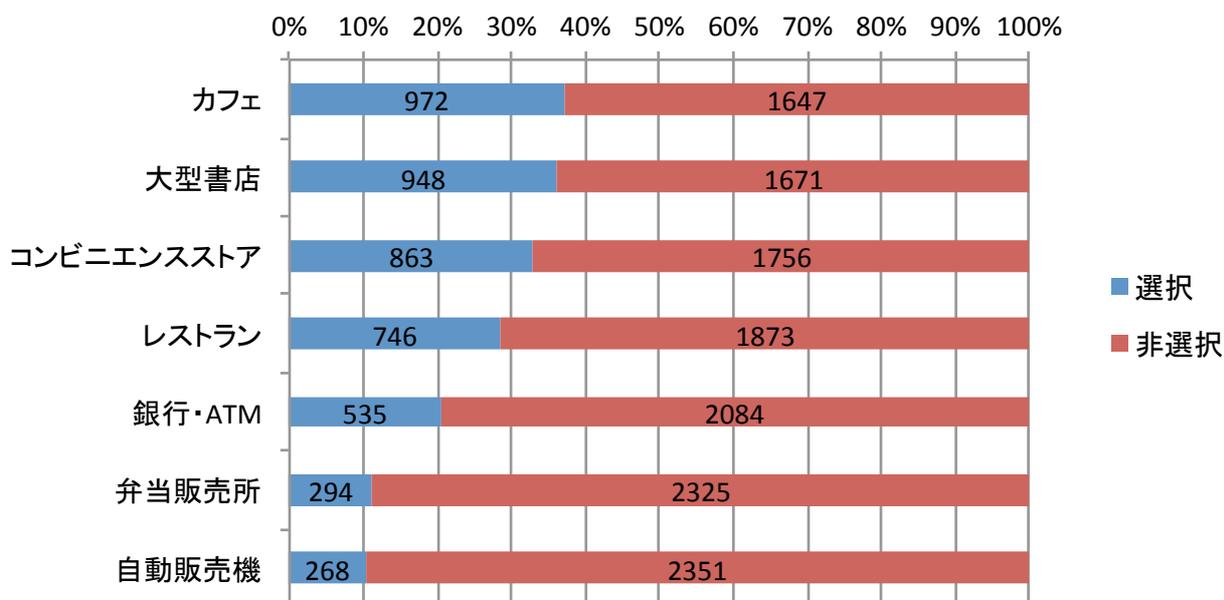


図 5.4.14 誘致して欲しい大学の施設

5.5. サービス関連

(1) 授業や学内行事など大学の発信する情報を得るために主に利用するものを選択してください（複数選択可）。

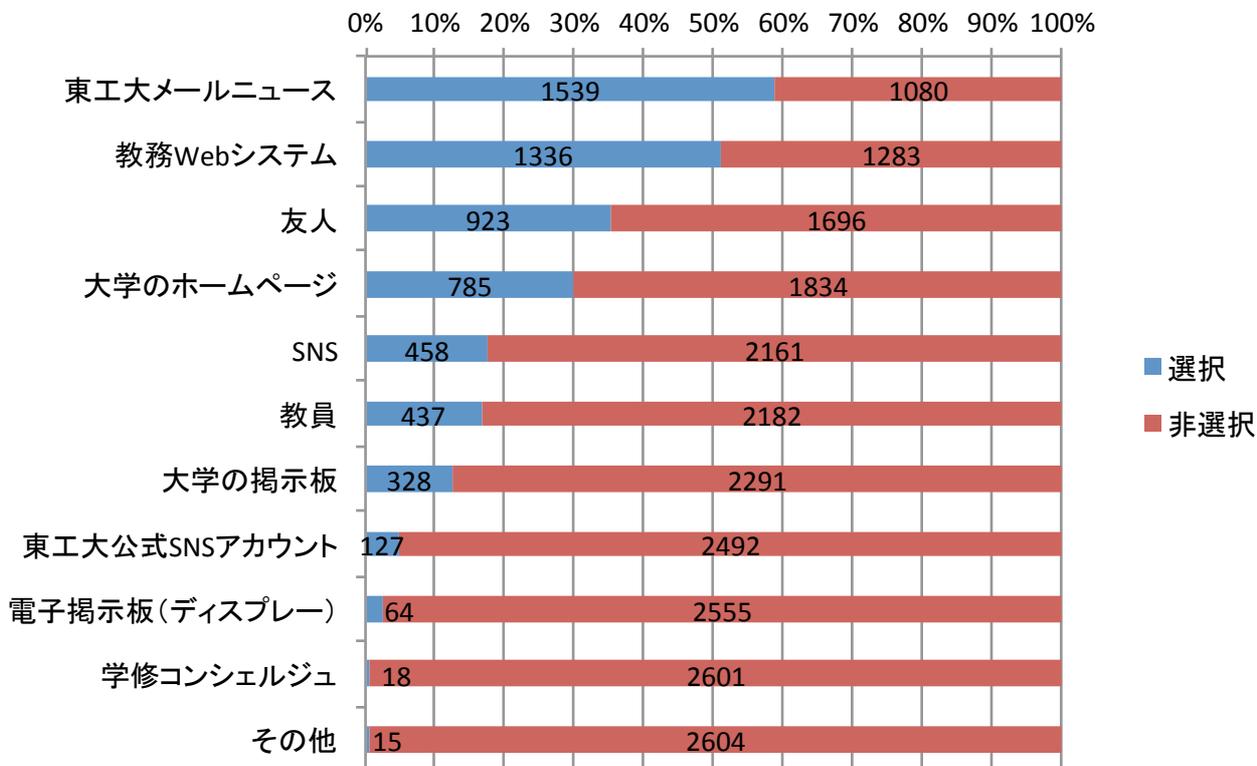


図 5.5.1 大学の発信する情報を得るための手段

(2) 留学生の方にお聞きします。系・コース（学科・専攻）のメールは英語併記になっていますか。

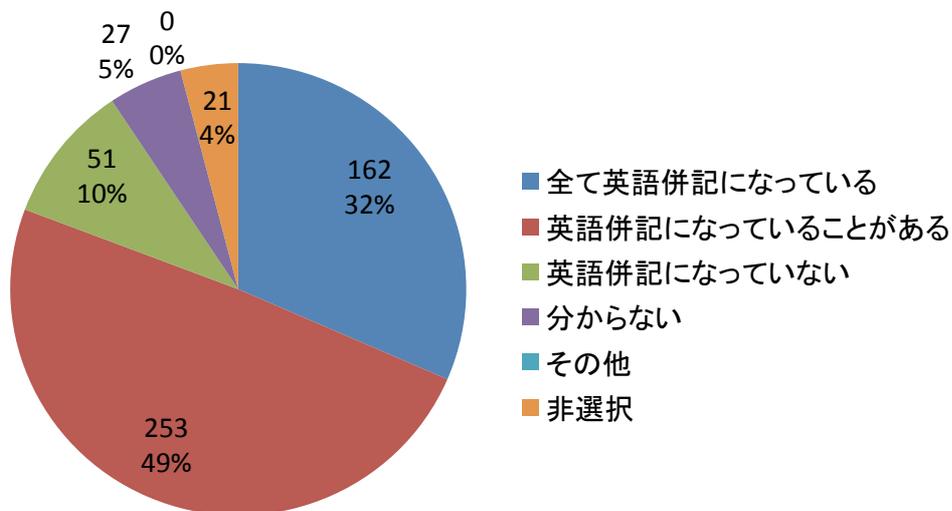


図 5.5.2 系・コース（学科・専攻）からのメールの英語表記（留学生 514 人中）

5. 調査資料集

(3) 現在、就職活動に関心はありますか。

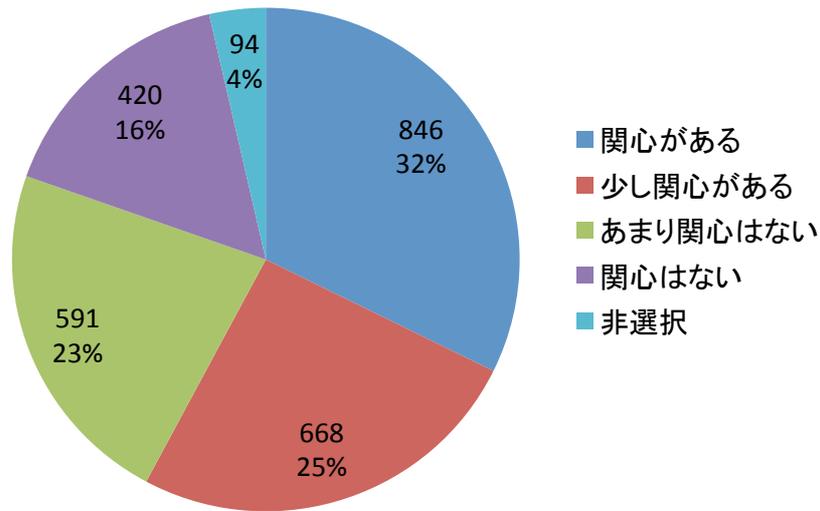


図 5.5.3 就職活動への関心

(4) 東工大・蔵前工業会の就職活動イベントに参加したことがありますか。

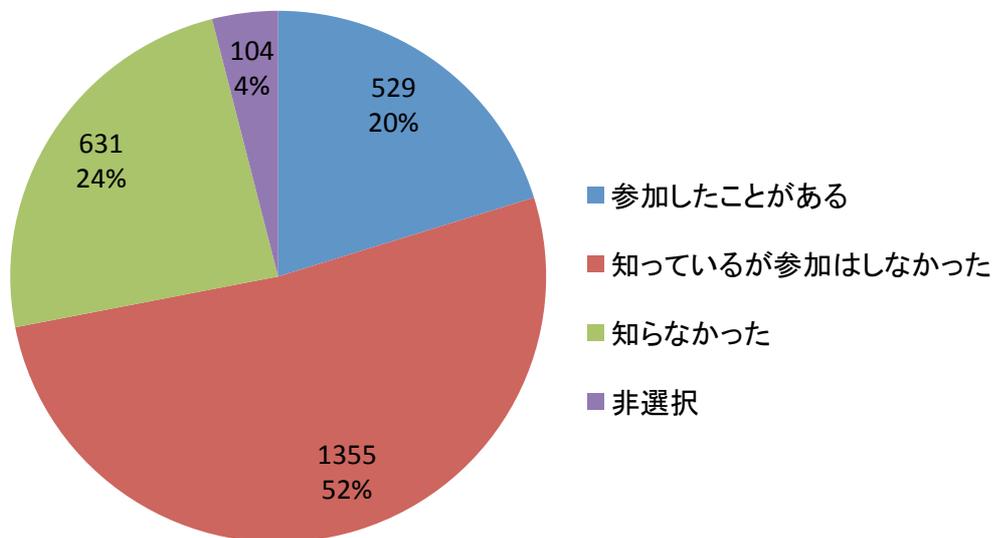


図 5.5.4 東工大・蔵前工業会が実施する就活イベントへの参加

(5) 学外での活動（サークル活動・学会発表等）を行う際に学外（実習・行事等）活動届を提出していますか。

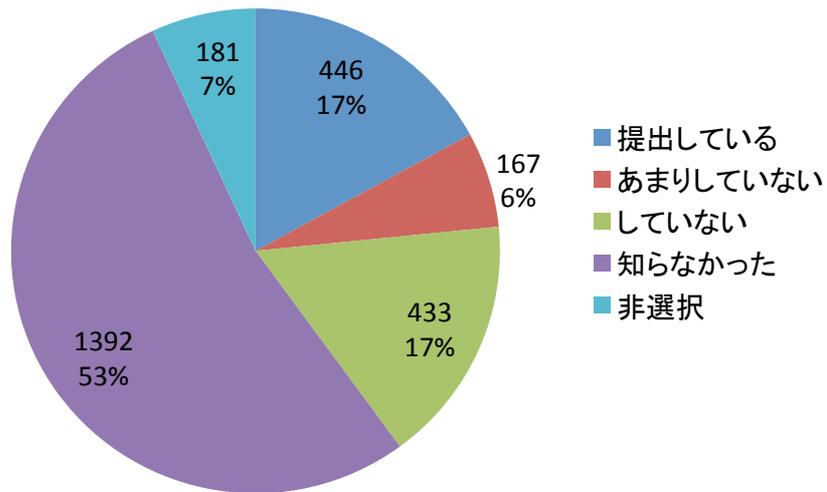


図 5.5.5 学外（実習・行事等）活動届の提出経験

(6) 教員の対応は適切ですか。

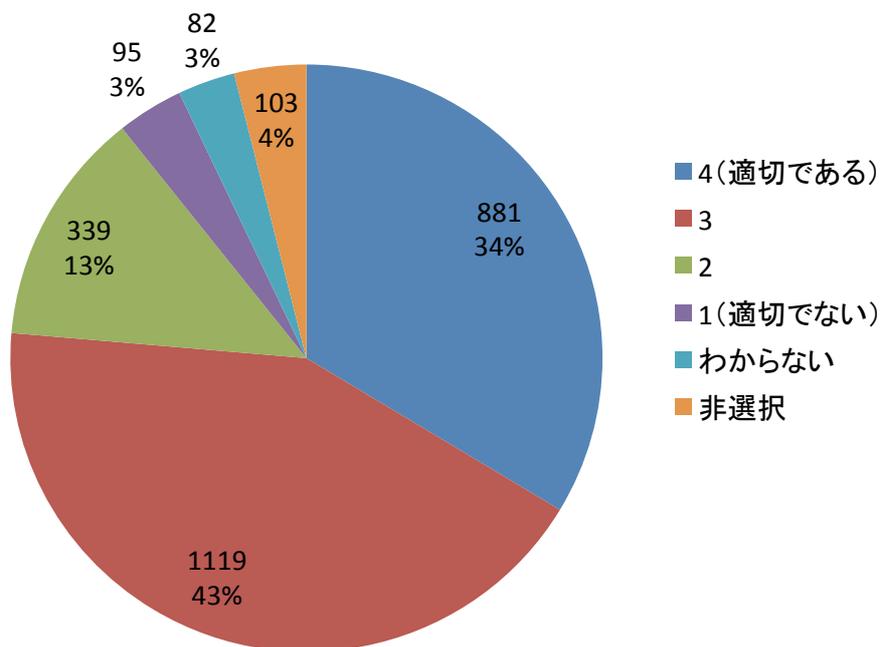


図 5.5.6 教員の対応への評価

5. 調査資料集

(7) 事務職員の対応は適切ですか。

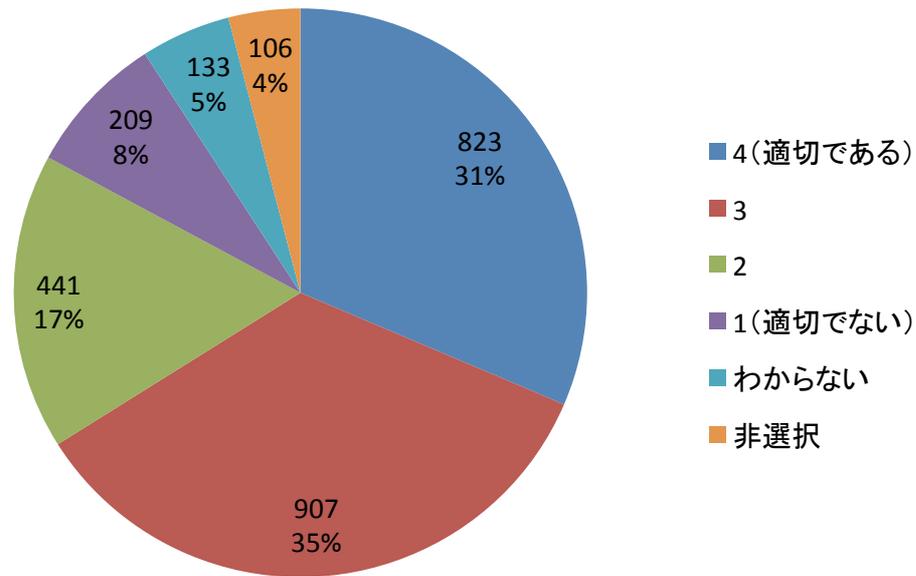


図 5.5.7 事務職員の対応への評価

(8) ハラスメント（アルコール・セクシャル・アカデミック・パワーハラスメント・その他のハラスメント）を見聞きしたことがありますか。

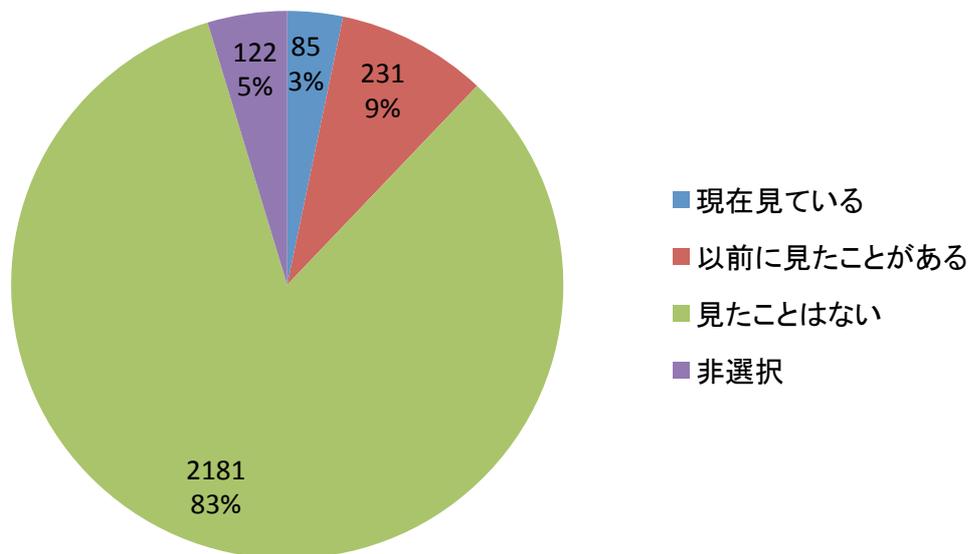


図 5.5.8 ハラスメントを見聞きした経験

(9) どのようなハラスメントを見聞きしたことがありますか（複数選択可）。

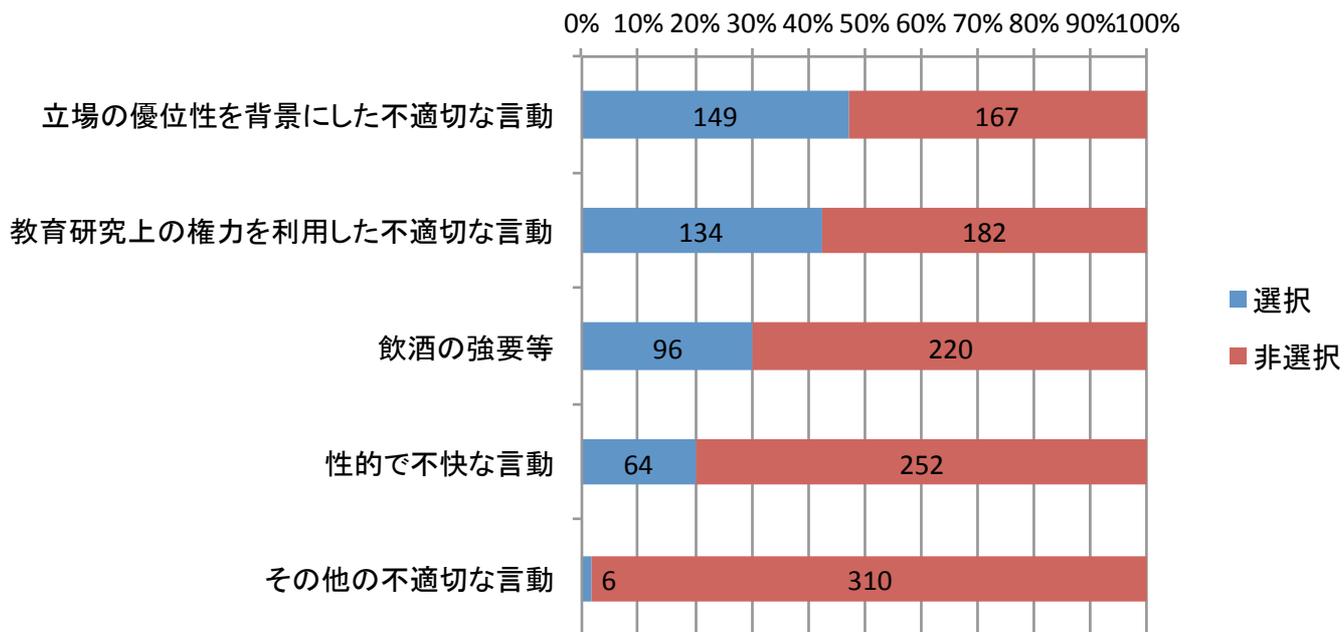


図 5.5.9 見聞きしたハラスメントの種類（ハラスメントを見聞きした経験のある 316 人中）

(10) 昨年の学内の防災訓練に参加しましたか。

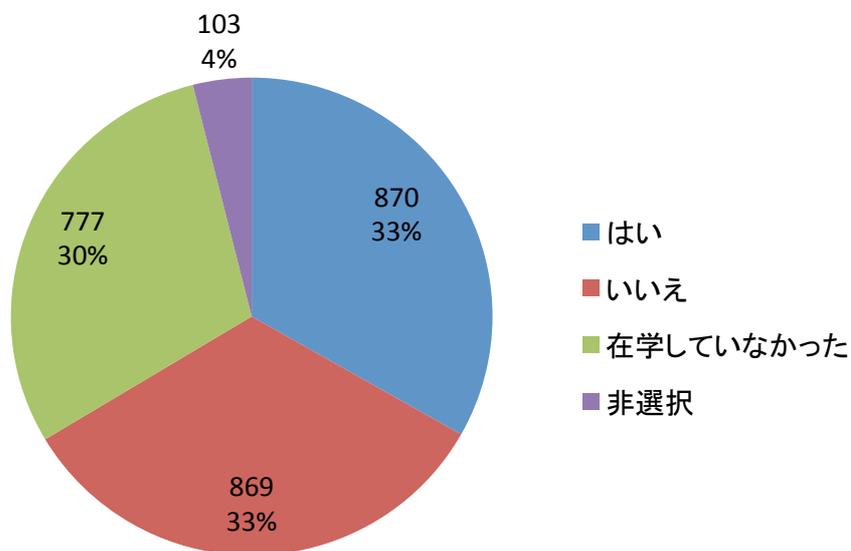


図 5.5.10 学内の防災訓練への参加率

5.6. 設問一覧

○：ラジオボタン □：チェックボックス
【】：ドロップダウンリストの設問(◇は選択肢)

I. 基本情報（必須）

1 現在あなたの所属している課程を教えてください。

○学士課程 ○大学院修士課程 ○大学院博士後期課程 ○専門職学位課程 ○研究生 ○その他

【2 現課程への入学年度】

◇2018 ◇2017 ◇2016 ◇2015 ◇2014 ◇2013 ◇2012 ◇2011 ◇2011 以前

3 以下に該当する方はチェックを入れてください。（複数選択可）

□高専や他大学に在籍していたことがある □留学生である

4 性別

○男性 ○女性 ○回答しない

5 キャンパス内の主な活動場所はどこですか。

○大岡山地区(東地区, 西地区, 南地区, 北地区) ○緑が丘地区 ○石川台地区 ○すずかけ台キャンパス
○田町キャンパス

II. 生活

1 平日の平均的な時間の使い方を教えてください。

【a 睡眠】

◇0-2 時間 ◇2-4 時間 ◇4-5 時間 ◇5-6 時間 ◇6-7 時間 ◇7-8 時間 ◇8-9 時間 ◇9-10 時間
◇10 時間以上

【b 勉強・研究（大学にいる時間を含む，授業時間は含まない）】

◇0-2 時間 ◇2-4 時間 ◇4-5 時間 ◇5-6 時間 ◇6-7 時間 ◇7-8 時間 ◇8-9 時間 ◇9-10 時間
◇10 時間以上

【c 娯楽】

◇0-2 時間 ◇2-4 時間 ◇4-5 時間 ◇5-6 時間 ◇6-7 時間 ◇7-8 時間 ◇8-9 時間 ◇9-10 時間
◇10 時間以上

【d 仕事・アルバイト】

◇0-2 時間 ◇2-4 時間 ◇4-5 時間 ◇5-6 時間 ◇6-7 時間 ◇7-8 時間 ◇8-9 時間 ◇9-10 時間
◇10 時間以上

III. 学習

1 大学教育についてお聞きします。

a あなたが思う東工大の人材育成における進むべき方向性を教えてください。

○国際的に活躍できるグローバルな人材を育成する大学 ○専門を極めたスペシャリストを育成する大学

- 理工系全域の見地を持った人材を育成する大学
- 人文系と理工系など幅広い知識をもったジェネラリストを育成する大学
- 自主的な活動を支援し、リーダーシップのある人材を育成する大学
- 企業に必要とされる人材を世に送り出す就職に強い大学

【b 本学で学ぶべき(やりたい)目標をはっきり持っていますか。】

◇4 (とてももっている) ◇3 (もっている) ◇2 (少しもっている) ◇1 (もっていない)

c 大学に進学した理由を教えてください。(複数選択可)

- 研究を行うため 専門を極めるため 教養を身につけるため 就職のため
- 人脈を作るため サークルや部活などの課外活動のため すぐに社会に出たくなかったから
- 周りの人に影響されたため その他

d 現在在籍している系・コース(学科・専攻)等に不満がある場合、該当するものにマークしてください。(複数選択可)

- 想定した研究・学習内容と異なっていたため カリキュラムに不満があるため
- 教員に対して不満があるため 施設設備に不満があるため 周りの学生に不満があるため
- 自分の時間が取れないため

e 大学や系・コース(学科・専攻)に意見がある場合は記入してください。(2000字以内)

f 次の項目の中から学習意欲向上に有効と思われるものにマークしてください。(複数選択可)

- 学生主体・参加型の授業を増やす 研究室体験のような授業を増やす 実習・実験の授業を増やす
- 他学科の授業を取りやすくする 自由にグループ学習できる場を増やす
- 授業成績の評価方法を明確にする 出席重視の成績評価にする テスト重視の成績評価にする
- 英語で講義を行う

2 シラバスについてお聞きします。

【a 授業を受ける科目についてシラバスを確認していますか。】

◇確認している ◇あまり確認していない ◇確認していない

b シラバスについて改善してほしい点を選択してください。(複数選択可)

- 内容が不十分である 内容が多い 実際の授業内容と異なる シラバスへのアクセスが難しい
- 特にない その他

c シラバスで充実してほしい項目を選択してください。(複数選択可)

- 講義の概要とねらい 到達目標 キーワード 学生が身につける力 授業の進め方 授業計画・課題
- 成績評価の基準及び方法 履修の条件(知識・技能・履修済科目等)

3 履修申告についてお聞きします。

a 現在の履修申告の制度に関して満足していますか。

満足している やや満足している やや不満である 不満である

b 履修申告の制度に満足していない方は、その理由を教えてください。(2000字以内)

4 英語での講義についてお聞きします。

【a 英語で講義を受けることについて抵抗はありますか。】

◇4 (抵抗はない) ◇3 (それほど抵抗はない) ◇2 (多少抵抗がある) ◇1 (抵抗がある) ◇わからない

b 英語での講義について、どのような印象を持っていますか。(複数選択可)

- 専門知識を英語で身につけられる 語学力を身につけられる 留学生が授業を受けやすい
- 大学の国際競争力を上げられる 授業の理解度が下がる 教員の英語能力が低い
- 授業内容が充実しなくなる 特にない

5 本学での進学についてお聞きします。

a 以下のうちあてはまるものにマークしてください。

博士後期課程まで進学する予定である(進学している) 修士課程まで進学する予定である(進学している)

5. 調査資料集

○学士課程で卒業する予定である

b 本学での修士課程進学を選択しないのはなぜですか。（複数選択可）

経済的理由 早く社会に出たい 今学んでいる分野を極めたいと思わない

専門を変えて他大学に進学したい 専門を変えずに他大学に進学したい 海外の大学院に進学したい

研究に興味がない その後の進路が不安 英語で講義が行われるから その他

c 本学での博士後期課程進学を選択しないのはなぜですか。（複数選択可）

経済的理由 早く社会に出たい 今学んでいる分野を極めたいと思わない

専門を変えて他大学に進学したい 専門を変えずに他大学に進学したい 海外の大学院に進学したい

研究に興味がない その後の進路が不安 英語で講義が行われるから その他

d あなたの考える学士課程における研究室配属の適切な時期を教えてください。

1年生 2年生 3年生前期 3年生後期 4年生

6 本学の学習カリキュラムについて意見がある場合は記入してください。（2000字以内）

IV. 学習サービス

1 留学についてお聞きします。

a あなたは留学したことがありますか。

留学したことはない 本学入学前に留学したことがある 本学在学中に留学したことがある

本学入学前と本学在学中どちらも留学したことがある

b 留学をしたきっかけを教えてください。（複数選択可）

語学を学ぶため 専門分野を学ぶため 海外に行ってみたかったから 他人に勧められたから

異文化交流をしたかったから なんとなく その他

c どのくらいの期間留学していましたか。（複数選択可）

1週間以内 2,3週間程度 1ヶ月以上～3ヶ月未満 3ヶ月以上～6ヶ月未満

6ヶ月未満～1年未満 1年以上～3年未満 3年以上

d 留学をしたいと思いませんか。

留学する予定がある 大いにしたい 機会があればしたい したいと思うができない したくない

わからない

e 留学を考える上で何か障害はありますか？（複数選択可）

経済的理由 語学に自信がない 今の研究・授業を優先する 在学年数が延びることが不安

海外生活が不安 興味がない 情報がない その他

f 東工大主催の留学イベントに参加したことがありますか

参加したことがある 知っているが参加はしなかった 知らなかった

g 東工大の留学制度について意見がある場合は記入してください。（2000字以内）

2 東工大のWEBサービスについてお聞きします。

a T2R2（東京工業大学リサーチレポジトリ）を知っていますか。

自分の業績を掲載すべきであることを知っている システムの存在のみ知っている 知らない

b 普段使用しているウェブブラウザを選んでください。（複数選択可）

Internet Explorer Google Chrome Firefox Safari Microsoft Edge その他

c 東工大ポータル（メール、教務Web、OCW-i、SSL-VPN、学修ポートフォリオなど）を良くするために意見があればご記入ください。（2000字以内）

V. 施設

1 附属図書館についてお聞きします。

a 附属図書館をどの程度利用していますか。

ほぼ毎日 週に4-5日 週に2-3日 週に1日 月に1回 ほとんどない

b 附属図書館に対する要望を自由に記入してください。(2000字以内)

2 平日の昼食は主にどこを利用していますか。

自宅・持参したお弁当 第一食堂(生協) 第二食堂(生協) すずかけ台食堂(生協)

モトテカコーヒー 生協の弁当 学内のコンビニ 大学周辺のコンビニまたは弁当屋

大学周辺の飲食施設 食べない その他

3 生協食堂についてお聞きします。

a 生協食堂をどれくらいの頻度で利用しますか。

よく利用する 時々利用する あまり利用しない 利用しない

【b 価格はいかがですか。】

5(高い) 4 3(適切) 2 1(安い) わからない

【c 質はいかがですか。】

5(おいしい) 4 3 2 1(おいしくない) わからない

d 学食のメニューで増やしてほしいものを選んでください。(複数選択可)

肉料理 魚料理 野菜・サラダ 期間限定メニュー ご当地メニュー(国内) ご当地メニュー(海外)

その他

e 食堂について要望があれば自由にお書き下さい。(2000字以内)

4 学内の弁当販売についてお聞きします。

a どれくらいの頻度で弁当を購入しますか。

よく利用する 時々利用する あまり利用しない 利用しない

【b 価格はいかがですか。】

5(高い) 4 3(適切) 2 1(安い) わからない

【c 質はいかがですか。】

5(おいしい) 4 3 2 1(おいしくない) わからない

d 学内の弁当販売のメニューで増やしてほしいものを選んでください。(複数選択可)

肉料理 魚料理 野菜・サラダ 期間限定メニュー ご当地メニュー(国内) ご当地メニュー(海外)

その他

e 学内の弁当販売について要望があれば自由にお書き下さい。(2000字以内)

5 喫煙所についてお聞きします。

a 学内の喫煙所を利用しますか。

はい いいえ

b 喫煙所の位置は適当と思いますか。

はい いいえ

c 喫煙所の位置について適当と思わない理由をお書き下さい。(2000字以内)

6 大学のその他施設についてお聞きします。

a 学内無線LAN(Tokyo Tech)のつながりにくい場所や状況があれば教えてください。(2000字以内)

b 次の大学の施設の中で充実してほしい施設があればお選び下さい。(複数選択可)

イベントスペース 休憩室 トイレ 講義室 学習スペース 部室棟・サークル棟 グラウンド

5. 調査資料集

体育館 テニスコート プール 浴室・シャワー室 教科書販売所

c 次の施設の中で誘致をしてほしい施設があればお選び下さい。（複数選択可）

コンビニエンスストア レストラン カフェ 自動販売機 弁当販売所 大型書店 銀行・ATM

7 学内の施設に関するご意見をご自由にお書きください。（2000字以内）

VI. 大学

1 大学が発信する情報についてお聞きします。

a 授業や学内行事など大学の発信する情報を得るために主に利用するものを選択してください。（複数選択可）

東工大メールニュース 大学のホームページ 大学の掲示板 教務 Web システム

電子掲示板（ディスプレイ） 学修コンシェルジュ 東工大公式 SNS アカウント SNS 友人 教員

その他

b 留学生の方にお聞きします。系・コース（学科・専攻）のメールは英語併記になっていますか。

全て英語併記になっている 英語併記になっていることがある 英語併記になっていない 分からない

その他

c 現在、就職活動に関心はありますか。

関心がある 少し関心がある あまり関心はない 関心はない

d 東工大・蔵前工業会の就職活動イベントに参加したことがありますか。

参加したことがある 知っているが参加はしなかった 知らなかった

e 学外での活動（サークル活動・学会発表等）を行う際に学外（実習・行事等）活動届を提出していますか。

提出している あまりしていない あまりしていない 知らなかった

f 学生生活サービス（就職活動・奨学金・保険・サークル活動への支援など）について意見があればお書きください。（2000字以内）

2 教員・職員の対応についてお聞きします。

【a 教員の対応は適切ですか】

4（適切である） 3 2 1（適切でない） わからない

【b 事務職員の対応は適切ですか】

4（適切である） 3 2 1（適切でない） わからない

c 教員・職員の対応に関して意見があれば記入してください。（2000字以内）

3 ハラスメント（アルコール・セクシャル・アカデミック・パワーハラスメント・その他のハラスメント）についてお聞きします。

a ハラスメント（アルコール・セクシャル・アカデミック・パワーハラスメント・その他のハラスメント）を見聞きしたことがありますか。

現在見ている 以前に見たことがある 見たことはない

b どのようなハラスメントを見聞きしたことがありますか。（複数選択可）

飲酒の強要等 性的で不快な言動 教育研究上の権力を利用した不適切な言動

立場の優位性を背景にした不適切な言動 その他の不適切な言動

c その時の自身を含めた周囲の対応についてご存知であればお教えてください。（2000字以内）

d ハラスメント防止策について意見があれば記入してください。（2000字以内）

4 防災についてお聞きします。

a 昨年の学内の防災訓練に参加しましたか。

○はい ○いいえ ○在学していなかった

b 防災・避難訓練に関して大学に求めることがあれば記入してください。(2000字以内)

5 全体を通してお聞きします。

a 最後に全体を通して意見があればお書きください。(2000字以内)

5.7. Questions of Student Survey 2018 (English)

: radio button : check box
【 】 : drop down list (◇ are choices)

I. About yourself (Required)

1 Undergraduate / Graduated

- Undergraduate Master's program Doctor's program Professional master's program
 Research student Other

【2 Enrollment year to the present program】

- ◇ 2018 ◇ 2017 ◇ 2016 ◇ 2015 ◇ 2014 ◇ 2013 ◇ 2012 ◇ 2011 ◇ before 2010

3 Please check the boxes below which apply to you.

- Have attended to other universities or technical college Oversea student

4 Gender

- Male Female No answer

5 In which area do you spend time the most?

- Ookayama area (East, West, North or South area) Midorigaoka area Ishikawadai area
 Suzukakedai campus Tamachi campus

II. Your life

1 On average, how much time do you spend on the following activities in weekdays?

【a Sleep】

- ◇ 0-2 hours ◇ 2-4 hours ◇ 4-5 hours ◇ 5-6hours ◇ 6-7hours
◇ 7-8 hours ◇ 8-9 hours ◇ 9-10 hours ◇ More than 10 hours

【b Studying or conducting researches (Include time spent on campus. Exclude time attending classes / courses)】

- ◇ 0-2 hours ◇ 2-4 hours ◇ 4-5 hours ◇ 5-6hours ◇ 6-7hours
◇ 7-8 hours ◇ 8-9 hours ◇ 9-10 hours ◇ More than 10 hours

【c Leisure】

- ◇ 0-2 hours ◇ 2-4 hours ◇ 4-5 hours ◇ 5-6hours ◇ 6-7hours
◇ 7-8 hours ◇ 8-9 hours ◇ 9-10 hours ◇ More than 10 hours

【d Job / part time job】

- ◇ 0-2 hours ◇ 2-4 hours ◇ 4-5 hours ◇ 5-6hours ◇ 6-7hours
◇ 7-8 hours ◇ 8-9 hours ◇ 9-10 hours ◇ More than 10 hours

III. Learning

1 About education in Tokyo Tech

a Please choose the direction which you think Tokyo Tech should take in human resources development.

- Institute which nurture human resource who can do great globally
 Institute which nurture specialists
 Institute which nurture human resource who has wide perspective on science and engineering
 Institute which nurture generalist who has wide knowledge on humanities and science
 Institute which nurture human resource who has leadership by supporting student centered activities
 Institute which is good at creating workforce which is required by companies

【b Do you have a concrete goal in this institute which you want to accomplish or learn?】

- ◇ 4 (definitely have) ◇ 3 (have) ◇ 2(a little) ◇ 1 (no)

c Why you decided to enter Tokyo Tech? (multiple answers)

- To conduct research
- To deepen specialties
- To acquire culture
- To get jobs
- To make human networks
- To do extra-curricular activities such as circle or clubs
- Didn't want to go out into the world
- Affected by other people
- Other

d If you have something to complain about your current course, check the boxes below which apply to you.

- Course content is different from what is expected
- curriculum is unsatisfactory
- Have complaints about faculty staffs
- Have complaints about facilities
- Have complaints about other students
- Cannot take time for myself

e If you have something to say on Tokyo Tech or your course, please write down within 2000 characters.

f Check the boxes below which you think is effective for motivate students to learn more.

- Increase the number of interactive courses or student centered courses
- Increase the number of classes which involves research lab experience
- Increase the number of experiment and training
- Make other facilities' classes easy to take
- Enrich the place where students can learn freely in groups
- Clarify the class grade evaluation process
- Put importance on attending
- Put importance on exams
- Do classes in English

2 About syllabus

【a Do you confirm syllabi of your courses?】

- Yes
- Not so often
- No

b Choose what you want to be improved about syllabus.

- Content is unsatisfactory
- Too much information
- Differ from actual class
- Difficult to gain access to syllabi
- No improvement is needed
- Other

c Choose what you want to be enriched in syllabus.

- Course description and aims
- Student learning outcomes
- Keywords
- Competences that will be developed
- Course flow
- Course schedule/Required learning
- Assessment criteria and methods
- Prerequisites (i. e., required knowledge, skills, courses, etc.)

3 About course application

a Are you satisfied with current application system?

- Satisfied
- Somehow satisfied
- Somehow unsatisfied
- Unsatisfied

b If you are unsatisfied with current course application system, can you write the reason within 2000 characters.

4 About courses in English

【a Do you have mental resistance against lecture in English?】

- 4 (No at all)
- 3 (Not so much)
- 2(Yes, a bit)
- 1 (Yes)
- Do not know

b What kind of impression do you have toward lecture in English? (multiple choices)

- We can gain special knowledge in English
- We can gain language ability
- Oversea students will be able to take courses easily
- We can improve international competitiveness of Tokyo Tech
- Decrease the degree of understanding on lecture
- Teachers' ability for using English is low
- Content of lecture is impaired
- Nothing

5 About your study plan in Tokyo Tech

a Please check one which is most similar to your idea.

- Go on to post-doctoral program (Currently in course)
- Go on to master program (Currently in course)
- Not going on to graduate school

b Why you don't want to go on to master program? (multiple choices)

- Economical reason
- Want to go into the world quickly
- I don't want to master my specialty
- I want to change my specialty in different university
- I want to change university but not my specialty
- I want to study abroad in graduate school

5. 調査資料集

- I don't have interest in research
 - Have anxiety for future career
 - Since lectures are in English
 - Other
- c Why you don't want to go on to the doctoral program? (multiple choices)
- Economical reason
 - Want to go into the world quickly
 - I don't want to master my specialty
 - I want to change my specialty in different university
 - I want to change university but not my specialty
 - I want to study abroad in graduate school.
 - I don't have interest in research
 - Have anxiety for future career
 - Since lectures are in English
 - Other
- d When do you think is the most suited period for laboratory assignment?
- 1st year
 - 2nd year
 - 3rd year (first half)
 - 3rd year (latter half)
 - 4th year
- 6 If you have some comments on learning curriculum of Tokyo Tech, please write within 2000 characters

IV. Learning services

1 About studying abroad

- a Have you ever studied abroad?
- No, I have not
 - Yes, before enrolling at Tokyo Tech
 - Yes, while in Tokyo Tech
 - Yes, both before and after enrolling at Tokyo Tech
- b Why you decided to study abroad? (multiple choices)
- To study linguistics
 - To study specialty
 - Since I wanted to go foreign country
 - Since others recommended me
 - I wanted to do cross-cultural exchange
 - No specific reason
 - Others
- c How long have you studied abroad? (multiple choices)
- Less than 1 week
 - 2-3 weeks
 - 1-3 months
 - 3-6 months
 - 6-12 months
 - 1-3 years
 - More than 3 years
- d Do you want to study abroad?
- I have a plan to study abroad
 - Yes, I really want to
 - Yes, only if I have a chance
 - Yes I want but I cannot
 - No, I don't want to
 - No idea
- e Do you have some obstacles to study abroad? (multiple choices)
- Economical reasons
 - Don't have confidence in language
 - Current research and classes are more important than studying abroad
 - Anxiety for staying longer in Tokyo Tech
 - Anxiety for life in foreign country
 - Have no interest
 - Lack of information
 - Others
- f Have you ever participated in the events held by Tokyo Tech?
- Yes
 - I know there are such events but never participated
 - No
- g Please write any comments on studying abroad system in Tokyo Tech within 2000 characters.

2 About WEB services in Tokyo Tech

- a Do you know about T2R2 (Tokyo Tech Research Repository) ?
- I know that I should post my works
 - I just know the existence of the system
 - I don't know at all
- b Please choose WEB browsers which you use usually. (multiple choices)
- Internet Explorer
 - Google Chrome
 - Firefox
 - Safari
 - Microsoft Edge
 - Other
- c Please write anything which you think can improve Tokyo Tech portal (mail, Web system for S&F, OCW-I, SSL-VPN, TokyoTechPortfolio etc.) within 2000 characters.

V. Facilities

1 About library

- a How often do you use Tokyo Institute of Technology Library?
- Almost every day
 - 4-5 days per week
 - 2-3 days per week
 - Once a week
 - Once a month
 - Rarely
- b Please write any requests for the library within 2000 characters.

2 In weekdays, which is mainly used for your lunch?

- At your own house or bento
- First Cafeteria
- Second Cafeteria
- Suzukakedai Cafeteria

- Mototeca coffee ○ Bento in Co-op ○ Convenience store inside the campus
- Convenience store or bento-shop around the campus ○ Restaurants around the campus
- Do not eat lunch ○ Other

3 About Co-op Cafeterias

a How often do you use Co-op Cafeterias?

- Often ○ Sometimes ○ Seldom ○ Never

【b How do you think about prices ?】

- ◇ 5 (expensive) ◇ 4 ◇ 3 (adequate) ◇ 2 ◇ 1 (cheap) ◇ No idea

【c How do you think about quality ?】

- ◇ 5 (good) ◇ 4 ◇ 3 ◇ 2 ◇ 1 (bad) ◇ No idea

d Which menu should be added to current menu? (multiple choices)

- Meat dish Fish dish Vegetable dish and salad Limited time menu Regional menu (Japan)
- Regional menu (other than Japan) Other

e Please write any requests for Co-op Cafeterias within 2000 characters.

4 About bento selling inside campus

a How often do you buy bento inside campus?

- Often ○ Sometimes ○ Seldom ○ Never

【b How do you think about prices ?】

- ◇ 5 (expensive) ◇ 4 ◇ 3 (adequate) ◇ 2 ◇ 1 (cheap) ◇ No idea

【c How do you think about quality ?】

- ◇ 5 (good) ◇ 4 ◇ 3 ◇ 2 ◇ 1 (bad) ◇ No idea

d Which menu should be added to current bento menu? (multiple choices)

- Meat dish Fish dish Vegetable dish and salad Limited time menu Regional menu (Japan)
- Regional menu (other than Japan) Other

e Please write any requests for bento-shops within 2000 characters.

5 About smoking area

a Do you use smoking area inside campus?

- Yes ○ No

b Do you think that current position of smoking area is adequate?

- Yes ○ No

c Please write the reason why you don't think that the current position of smoking area is adequate within 2000 characters.

6 About other facilities

a Please write any place or situation where Tokyo Tech Wireless LAN is difficult to be connected within 2000 characters.

b Which facility should be enriched? (multiple choices)

- Space of holding events Rest room Lavatory Lecture room Learning space Club building

- Ground Gym Tennis court Pool Bath/Shower room Textbooks sale office

c Which facility should be introduced to Tokyo Tech? (multiple choices)

- Convenience store Restaurant Cafe Vending machine Bento-shop Big book store
- Bank/ATM

7 Please write freely any opinions for facilities within 2000 characters.

VI. Tokyo Tech

1 About information sent by Tokyo Tech

a Which do you usually use to get information about classes or school events? (multiple choices)

- Tokyo Tech mail news Web page of Tokyo Tech Bulletin board Web system for S&F
- Electronic bulletin board Student life coaches Tokyo Tech official SNS accounts SNS
- Friends Teachers Other

5. 調査資料集

b (For oversea students only) Are mails from courses you belong also written in English?

- Every mail has English version Sometimes English version is attached Only Japanese version
 No idea Other

c Are you interested in job hunting now?

- I am interested in A bit of interest Not so interested No interest at all

d Have you ever participated in job hunting events held by Tokyo Tech/Tokyo Tech Alumni Association?

- Yes I know the existence but have not participated No

e Do you usually submit off-campus activity report when you do activity outside Tokyo Tech (club activity or conference presentation etc.)

- Yes Not so often No

f Please provide any comments you may have about student life services (e.g., support in areas such as job hunting, scholarships, insurance, student clubs). (Your comment should be less than 2000 letters long.)

2 Please answer the following questions about the staff and faculty.

【a Do you feel that the faculty are helpful and treat you fairly?】

- 4 (Yes) 3 2 1 (No) I don't know

【b Do you feel that the administrative staff are helpful and treat you fairly?】

- 4 (Yes) 3 2 1 (No) I don't know

c Please provide any comments you may have regarding the services provided by faculty and administrative staff (maximum 2000 letters).

3 Please answer the following questions about harassment.

a Have you ever witnessed any form of harassment at the Institute (sexual, academic, power, alcohol-related, etc.)?

- Yes, currently there is a case(s) of harassment to which I have been witness. Yes, I have in the past. No, I have not

b What kinds of harassment have you heard of or witnessed? (Select all that apply.)

- People being pressured to drink. Sexual harassment, through speech, emails, or actions Abuse of power by a person of authority in education or research
 Enabling of one's inappropriate behavior due to his/her position of superiority. Other inappropriate behavior.

c To the best of your knowledge, how did everyone involved deal with the situation when harassment occurred? Was anything done about it? (Your comment should be less than 2000 letters long.)

d Please write any opinions for harassment prevention measures within 2000 characters.

4 About disaster prevention

a Did you participate in the disaster prevention drill last year?

- Yes No I was not in Tokyo Tech at that time.

b Please write any requests for disaster prevention/evacuation drill within 2000 characters.

5 About entire life in Tokyo Tech

a Please write any opinions for entire life in Tokyo Tech and for this survey within 2000 characters.

謝辞

学勢調査2018アンケートの実施および本提言書作成に際し、多くの皆様にご協力を頂きましたので、ここで感謝の意を表したいと思います。

まず、学勢調査2018のアンケート調査にご参加頂き、最後まで回答していただいた2619名の本学学生の皆様に厚くお礼申し上げます。皆様に頂いた声はすでに東工大執行部をはじめ、多くの教職員にフィードバックされ、今後の改善の参考にさせて頂いています。多数の貴重なご意見をありがとうございました。

次に、キャンパスミーティングなどを通じて多くの意見交換をさせて頂き、本提案書の作成に多大なご協力を頂いた、本学教員の皆様、職員の皆様、生協の皆様に深く感謝いたします。皆様のご協力なしには、本提案書の完成はありませんでした。ありがとうございました。

2019年3月
学勢調査 2018 学生スタッフ一同

学勢調査2018 に協力して頂いた本学学生の皆様

教養科目群（生命科学）実施委員会委員長， 教養科目群教育協議会委員長 本郷裕一先生

事務局（下記の部署）の皆様

総務部人事課

学務部教務課

学務部学生支援課

研究推進部情報図書館課

研究推進部情報基盤課

施設運営部安全企画室

東京工業大学生協本部の皆様

学勢調査 2018 学生スタッフ

代表	理学院	物理学系物理学コース	修士課程 1 年	児島 佑樹
副代表	第 1 類		学士課程 1 年	吉田 拓暉
副代表	第 6 類		学士課程 1 年	伊藤 龍寿

学習班

班 長	第 1 類		学士課程 1 年	吉田 拓暉
班 員	理学院	物理学系物理学コース	修士課程 2 年	渡邊 正理
班 員	工学部	情報工学科	学士課程 4 年	諸岡 大輝
班 員	生命理工学院	生命理工学コース	修士課程 1 年	長谷川 葉月

サービス班

班 長	理学院	物理学系物理学コース	修士課程 1 年	児島 佑樹
班 員	工学院	経営工学系	博士後期課程 1 年	浅見 貴則
班 員	物質理工学院	材料系	学士課程 3 年	SEUDO DIMO MARLYSE VANESSA
班 員	物質理工学院	材料コース	修士課程 1 年	石曾根 香菜

施設班

班 長	第 6 類		学士課程 1 年	伊藤 龍寿
班 員	環境・社会理工学院	建築学系	学士課程 3 年	市村 知輝
班 員	第 4 類		学士課程 1 年	栃林 捷太

学勢調査 2018 WG 教職員スタッフ

科学技術創成研究院	未来産業技術研究所	准教授	沖野 晃俊 (主査)
工学院	機械系	教授	岩附 信行
工学院	機械系	教授	岡村 哲至
科学技術創成研究院	先導原子力研究所	准教授	長谷川 純
科学技術創成研究院	先導原子力研究所	准教授	吉田 克己
保健管理センター		教授	齋藤 憲司
学生支援センター	自律支援部門	特任准教授	山田 恵美子
学生支援センター	自律支援部門	事務支援員	川端 有紀
学生支援課		課長	内田 康司
学生支援課	支援企画グループ	グループ長	笹川 祐輔
学生支援課	支援企画グループ	スタッフ	伊藤 由美
工学院		特任教授	西原 明法
教育・国際連携本部	アドミッション部門	コーディネーター	篠崎 和夫